

飯田市
子ども・子育て支援事業に関する
ニーズ調査結果報告書

令和6年3月
長野県 飯田市

目 次

第1章 調査実施の概要	3
1 調査の目的	3
2 調査の設計	3
3 調査票の配布と回収状況	3
4 報告書の見方について	4
(1) 年齢の定義	4
(2) 電算処理の注意点	4
(3) グラフの見方について	4
5 調査対象者の属性、家族状況	5
(1) 居住地域の状況	5
(2) 就学前児童の属性	6
(3) 小学生の属性	6
(4) 理想の子どもの数について	7
(5) 調査回答者の状況と配偶者の有無	8
6 調査結果からみた課題等	9
第2章 子育て家庭を取り巻く環境	17
1 子育ての環境について	17
(1) 主な保育者と親族等協力者の状況	17
(2) 子育てに関する相談者の状況	21
2 保護者の就労状況	24
(1) 母親の就労状況	24
(2) 父親の就労状況	30
第3章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望	37
1 就学前児童の平日の定期的な教育・保育事業の現状と 今後の利用希望	37
(1) 平日の定期的な教育・保育事業	37
(2) 定期的な教育・保育事業の利用理由と未利用の理由	41
2 就学前児童の休日の定期的な教育・保育事業の利用希望	47
(1) 土曜日と日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望	47
(3) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望	50
3 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ	52
(1) 病気やケガで通常の事業が利用できない時の対処について	52
(2) 病児・病後児の保育施設の利用希望	56
4 不定期の一時保育の利用について	59

(1) 就学前児童が不定期的に利用している教育・保育事業の状況	59
(2) 宿泊を伴う一時保育の利用状況	66
5 放課後の過ごし方について	68
(1) 平日の放課後に過ごさせたい場所	68
(2) 土曜日、日曜日、祝日・長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望	77
6 地域の子育て支援事業の状況と今後の利用希望	83
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況	83
(2) 今後の利用意向	85
(3) 子育て支援事業の認知度、利用状況と今後の利用意向について	87
第4章 育児休業制度の利用状況	91
1 育児と仕事の両立支援制度について	91
(1) 両立支援制度の認知状況	91
(2) 育児休業制度の利用状況	92
(3) 職場復帰の状況	94
(4) 短時間勤務制度の利用状況	97
(5) 育児休業取得期間の希望	98
第5章 子育て支援の充実	101
1 子育てについて	101
(1) 子育て中の働き方について	101
(2) 子育てのことについて	102
(3) 子育てに関する悩みや不安	104
(4) 子育て家庭の暮らし向きについて	106
(5) 子育て環境や支援の満足度	109
資 料 編	113
1 就学前児童保護者の調査票	113
2 小学生保護者の調査票	120

第1章

調査実施の概要

第1章 調査実施の概要

1 調査の目的

本市では「子ども・子育て支援法」に基づき、全ての子どもや子育て家庭が健やかに成長することができる社会の実現を目指して、令和2年3月に「第2期飯田市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、様々な子育て支援事業に取り組んでいます。

令和7年からの第3期（令和7～11年度）計画を策定するにあたり、必要な情報を得るため、子育て家庭のニーズの動向分析等を行い、本市の現状と今後の子ども・子育て支援における課題の整理を目的としたアンケート形式によるニーズ調査を実施しました。

2 調査の設計

調査票は調査対象者別に作成しており、各調査の件数及び調査期間、方法は、以下のとおりです。

■ 調査票の種類と調査対象者及び調査の実施方法

①調査票「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査【就学前児童保護者用】」	
調査対象者	飯田市に居住する就学前児童の保護者から無作為抽出
調査票配布数	2,000人
調査期間	令和6年3月12日～令和6年3月25日
調査方法	郵送配布後、郵送回収又はWeb回答
②調査票「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査【小学生保護者用】」	
調査対象者	飯田市に居住する小学生の保護者から無作為抽出
調査票配布数	2,000人
調査期間	令和6年3月12日～令和6年3月25日
調査方法	郵送配布後、郵送回収又はWeb回答

3 調査票の配布と回収状況

調査によるそれぞれの配布、回収状況は、以下のとおりです。

■ 調査票の配布、回収状況

調査対象者	配布数(人)	回収数(人)	回収率(%)
就学前児童の保護者	2,000	695	34.8
小学生の保護者	2,000	742	37.1



4 報告書の見方について

(1) 年齢の定義

就学前児童の年齢は、アンケート調査において誕生日の年月を回答しているため、下表による年齢区分により集計を行いました。

年齢区分	該当する生年月	1号認定の年齢区分	2号3号認定の年齢区分
0歳児	2023年4月以降	0歳児組	0歳児組
1歳児	2022年4月～2023年3月	0歳児組	0歳児組
2歳児	2021年4月～2022年3月	1歳児組	1歳児組
3歳児	2020年4月～2021年3月	2歳児組 3歳になった翌月 から年少組	2歳児組
4歳児	2019年4月～2020年3月	年小組	年小組
5歳児	2018年4月～2019年3月	年中組	年中組
6歳児	2017年4月～2018年3月	年長組	年長組

(注) 調査期間【2023年度】における年齢区分

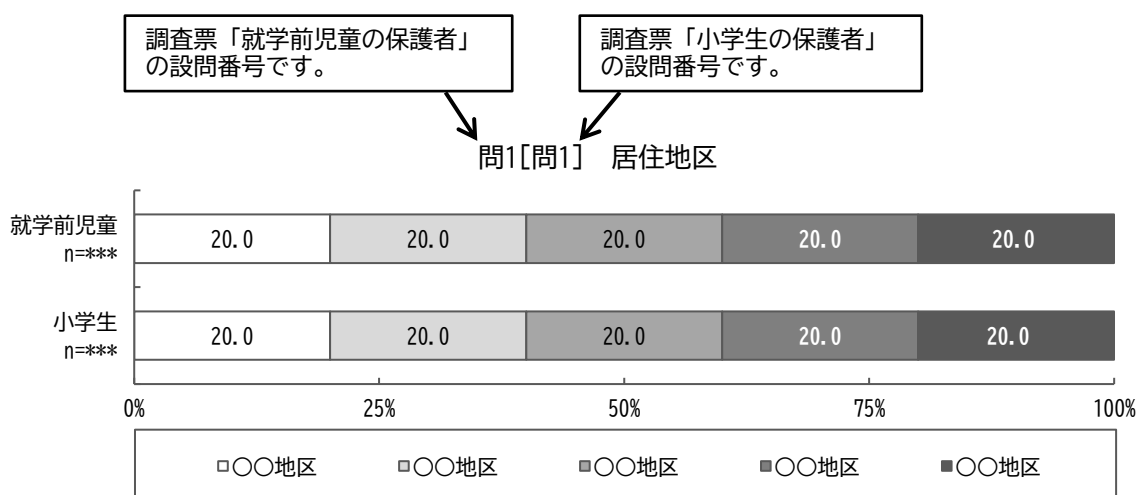
(2) 電算処理の注意点

調査結果の数値については小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。

なお、基数となる実数は「n」として掲載し、各グラフや表の比率は「n」を母数とした割合を示しています。

また、複数回答が可能な設問では、各項目の割合の合計が100%を超える場合があります。

(3) グラフの見方について

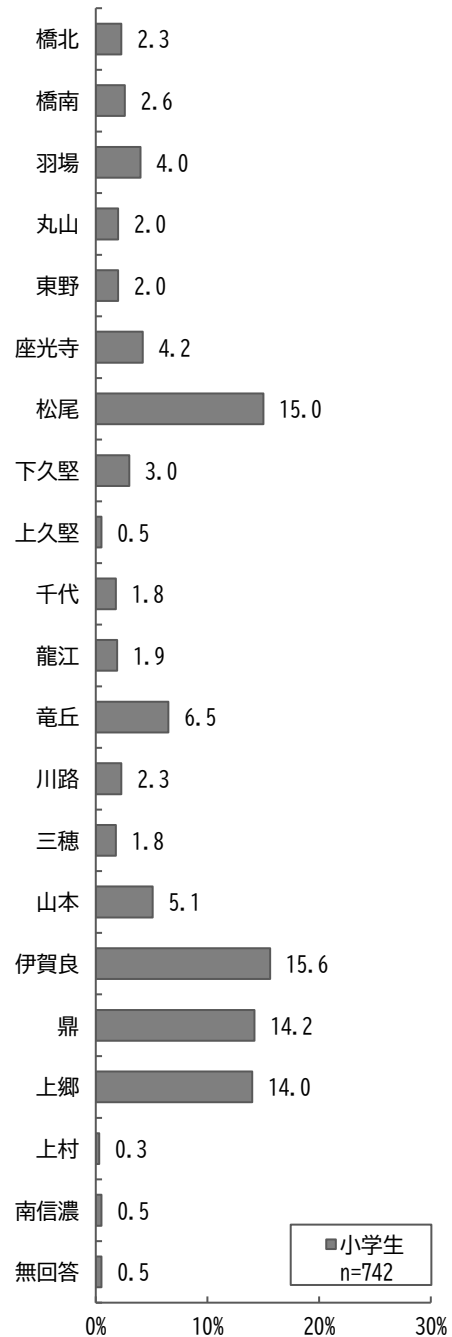
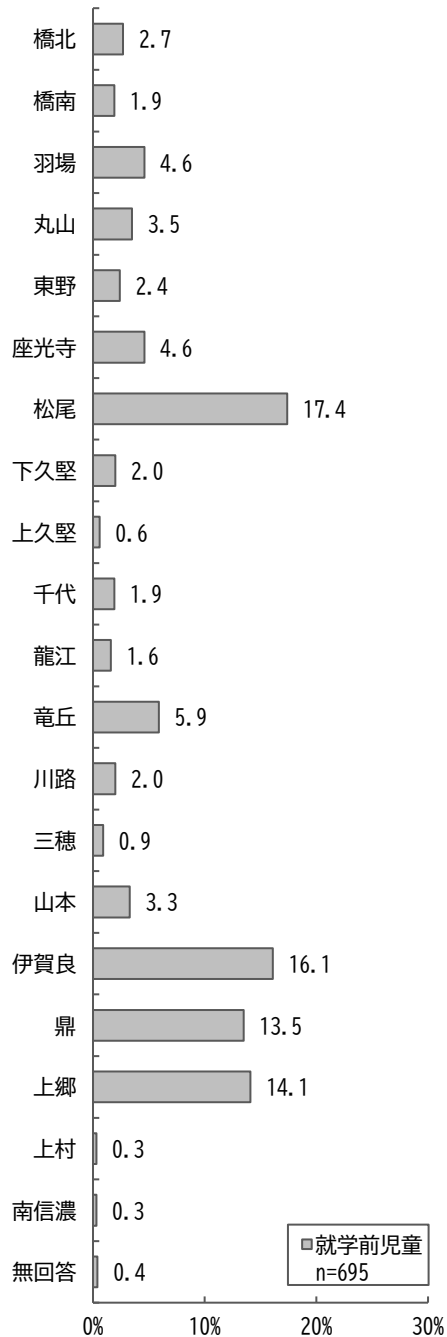


5 調査対象者の属性、家族状況

(1) 居住地域の状況

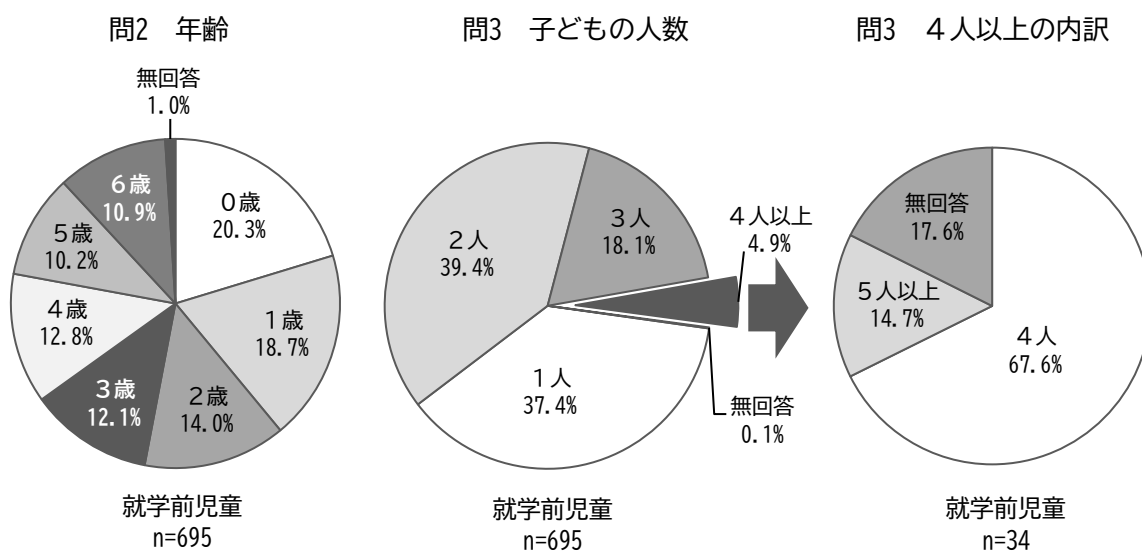
○回答者が居住する地区は、以下のとおりです。

問1[問1] 居住地区



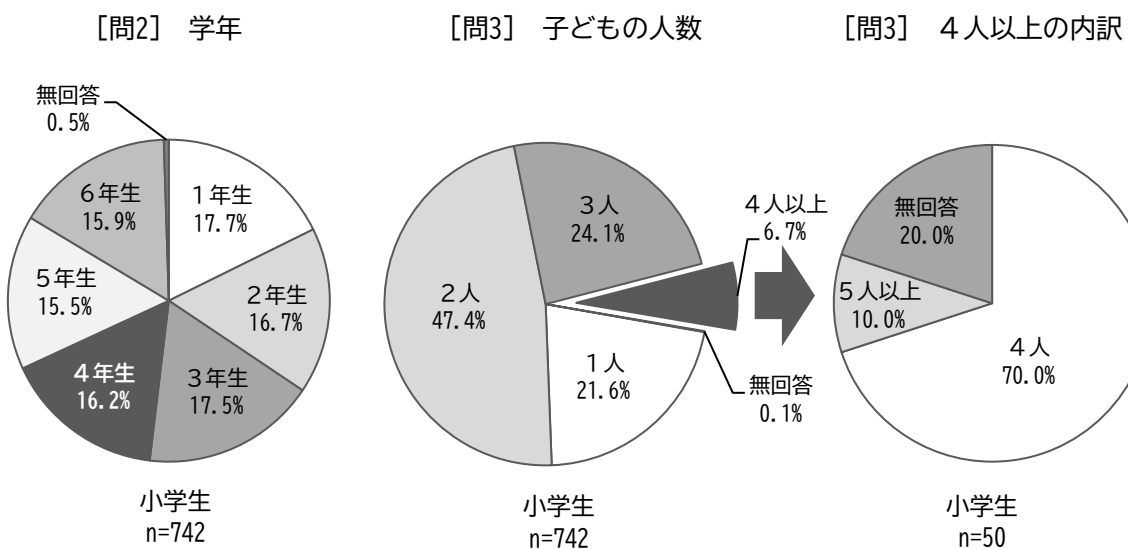
(2) 就学前児童の属性

○回答された695人の就学前児童の属性は、以下のとおりです。



(3) 小学生の属性

○回答された742人の小学生の属性は、以下のとおりです。



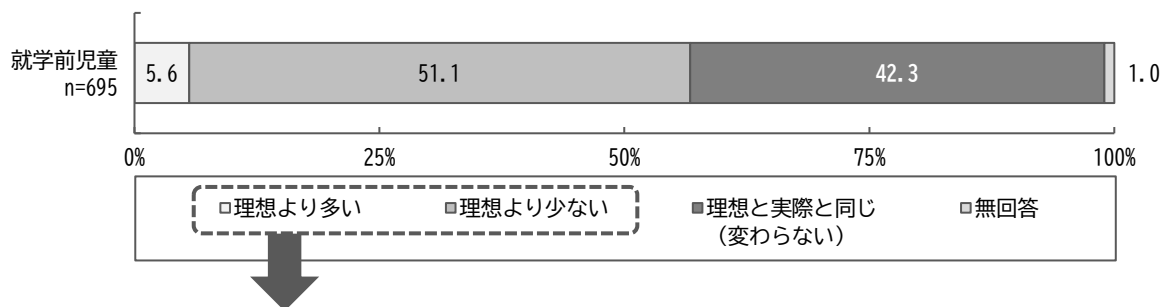
(4) 理想の子どもの数について

○理想の子どもの数と実際の子どもの数との違いについてみると、「理想より少ない」(51.1%) が最も高く、次いで「理想と実際と同じ」(42.3%) となっています。

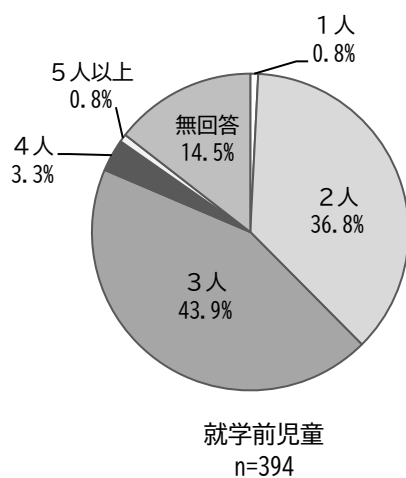
○理想の子どもの人数についてみると、「3人」(43.9%) が最も高く、次いで「2人」(36.8%) となっています。

○理想より子どもの人数が少ない理由についてみると、「子育てや教育にかかる費用が大きい」(55.2%) が最も高く、次いで「仕事と子育ての両立が難しい」(42.3%) となっています。

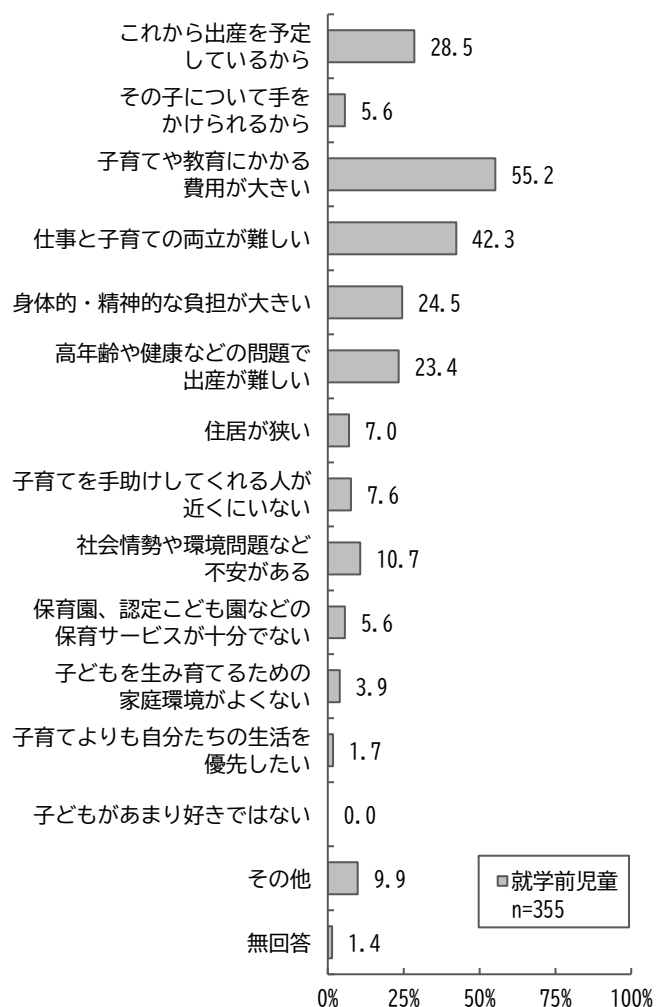
問3-1 理想の子どもの数と実際の子どもの数（就学前児童）



問3-2 理想の子どもの人数（就学前児童）



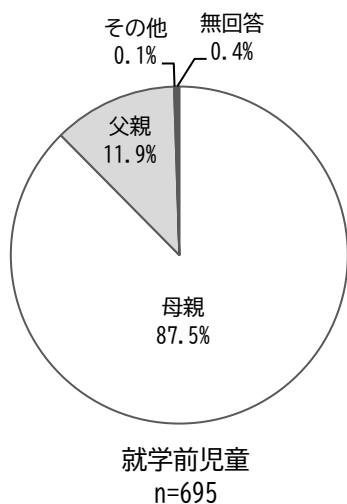
問3-3 （理想より少ない）理由（就学前児童）



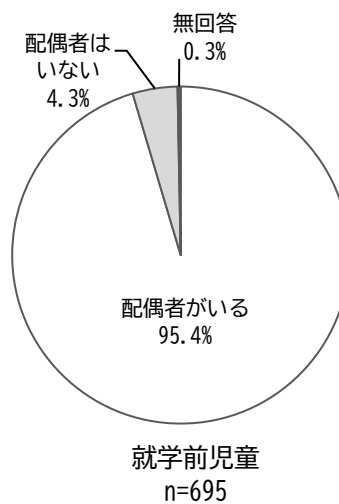
(5) 調査回答者の状況と配偶者の有無

○この調査の回答者は、以下のとおりです。

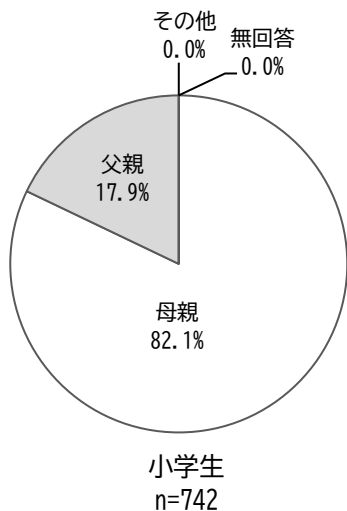
問4 調査回答者（就学前児童）



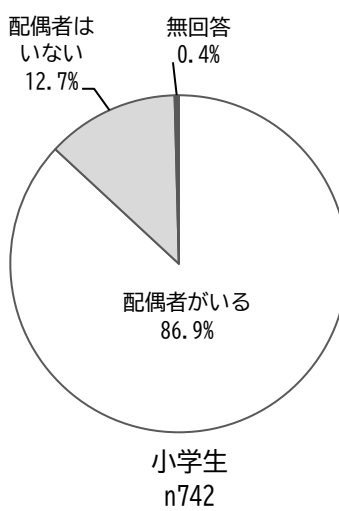
問5 配偶者の有無（就学前児童）



〔問4〕 調査回答者（小学生）



〔問5〕 配偶者の有無（小学生）



6 調査結果からみた課題等

分析を通して考察と課題抽出等を行いました。

**結果1 周囲の援助が得られない、孤立した子育て環境にいる保護者は
前回調査と比較すると、小学生が3.4ポイント増加
子育てをする上で気軽に相談できる相手（先）がいない保護者は
就学前児童で5.0%、小学生で12.3%**

子育てに関する親族、知人等協力者の状況は、就学前児童の保護者、小学生の保護者いずれも、多くの方が日常的、または緊急時、用事の際に祖父母等の親族に子どもをみてもらえると回答しており、大半の保護者は協力を得られる状況です。

しかし、前回調査（H30）と比較すると、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した割合は、就学前児童の保護者では7.5ポイント、小学生の保護者では4.0ポイント減少、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえると回答した割合は、就学前児童の保護者では5.1ポイント増加し、小学生の保護者では3.5ポイント減少しています。

一方で、協力者が「いずれもない」と回答した、孤立した子育て環境にいる方は就学前児童の保護者で9.1%、小学生の保護者で12.4%となっており、前回調査と比較すると、小学生が3.4ポイント増加しています。【問9、[問7]】

子育てをする上で気軽に相談できる相手（先）が、「いる／ある」と回答した方は、就学前児童の保護者で91.8%、小学生の保護者で83.7%となっており、気軽に相談できる先として「祖父母等の親族」、「友人や知人」が上位を占め、その多くは身近な人達となっています。

一方で、気軽に相談できる相手（先）が「いない／ない」と回答した方は、就学前児童の保護者で5.0%、小学生の保護者で12.3%となっています。

【問10・問10-1、[問8・問8-1]】

協力者が「いずれもない」と回答した方が、気軽に相談できる相手（先）が「いない／ない」と回答している割合は、就学前児童の保護者では12.7%、小学生の保護者では40.2%となっています。【問9×問10、[問7×問8]】

以上の結果から、小学生保護者の孤立割合が高いことが分かりました。孤立した子育て環境にいる保護者に対してどのような子育て支援が必要とされ、有効であるかの把握が課題となっています。さらに、相談することができる公的な機関の充実や教育・保育施設等との連携、活動内容の周知、アクセスしやすく気軽に相談できる体制づくりなど、様々なニーズに即した新たな支援施策についても検討する必要があります。

また、最大の協力先である祖父母等親族に日常的に見てもらえる割合が減ってきていることから、子育て支援の主体をどのように多様化していくか研究する必要があります。



結果2 母親の就労率（育休等を含む）は就学前児童で79.7%、小学生で90.2%

母親の就労状況（産休・育休・介護休業中含む）をみると、就学前児童の保護者が79.7%、小学生の保護者が90.2%となり、そのうち産休、育休、介護休業中の方は、就学前児童の保護者で23.6%、小学生で0.6%となっています。

母親の就労状況を前回調査と比較すると、就学前児童の保護者が4.5ポイント、小学生の保護者が4.0ポイント増加しています。【問12、[問10]】

今後、少子化の進行と働く母親のさらなる増加について注視し、必要な保育供給量を見極めるとともに、就労実態に即した事業体制を整える必要があります。

結果3 年少児以上の子どもはほぼ全員が定期的な教育・保育事業を利用している。3歳児組の76.2%、2歳児の75.3%が定期的な保育事業を利用しており、利用していない家庭はまだこどもが小さいためとしている

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況を年齢別にみると、5歳から6歳の100%、4歳の97.8%が認定こども園又は保育所を利用しています。また、3歳の76.2%、2歳の75.3%が、すでに保育所を利用しています。また、1歳の31.5%、0歳の13.5%が定期的な保育事業を利用しています。【問2×問14】

利用していない理由として、0歳～2歳では「子どもがまだ小さいため〇歳くらいになったら利用しようと考えている」の割合が最も高く、2歳～3歳では「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」、「利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない」と回答した割合が一定数います。【問2×問14-5】

前回調査と比較すると「利用する必要がない」が12.3ポイント、「子どもの祖父母や親戚がみている」が5.0ポイント減少し、「（利用したいが）保育・教育の事業に空きがない」が2.3ポイント増加しています。【問14-5】

利用していない理由は子どもの年齢によって変化がみられます。国の制度改革によって令和元年10月より4歳～6歳（年少組以上）の保育料は無償化されましたが、年少組未満の保育料は有料です。

しかし、飯田市では女性就労率の上昇などを背景に、2歳～3歳の75%超が、未満児保育を利用している点が特徴的です。今後、未満児保育・乳児保育について「希望するが利用できない」とするニーズに対応する体制について検討する必要があります。



結果4 保育園を選ぶときの基準は、0歳・1歳では母親または父親の職場に近いこと

保育園を選ぶときの基準として「母親の職場（職場が自宅の場合は自宅）に近いこと」「親の職場や近所の子に関わらず、地元小学校の通学区内に通わせたい」の割合が高くなっています。【問15-4】

年齢別にみると、2歳～6歳の保護者では、「親の職場や近所の子に関わらず地元小学校の通学区内に通わせたい」との回答が最も多くなっています。一方、0歳～2歳の保護者では、4割以上が「母親の職場（職場が自宅の場合は自宅）に近いこと」と、1割以上が「父親の職場（職場が自宅の場合は自宅）に近いこと」と回答しています。特に「父親の職場に近いこと」の回答は、前回に比べ4.4ポイント上昇しています。

また、0歳～4歳の保護者では、「園舎の設備や衛生面」、「外遊びをしっかりとさせること」、「自然体験をさせてくれること」、「親の不安や子育ての相談を聞いてくれる」など、保育の内容や質への関心が見られます。

4歳～6歳の保護者では、「長く預かってくれること」「乳児から預かってくれること」といった回答が一定数みられます。

【問2×問15-4】【問1×年齢3区分（0～1歳・2～3歳・4～6歳）×問15-4】

こどもの数の動向を踏まえつつ、多様化する保護者のニーズに応えるため、保育園の配置・機能の集約などについても議論していく必要があります。

結果5 病気やケガで幼稚園・小学校等を利用できなかった場合の対処方法は、「母親が休んだ」が「父親が休んだ」を大きく上回る

病気やケガで幼稚園・小学校等を利用できなかった場合の対処方法は、就学前児童の保護者、小学生の保護者いずれも「母親が休んだ」（就学前児童91.1%・小学生83.3%）が最も高く、「父親が休んだ」（就学前児童48.9%・小学生28.0%）、「親族・知人に子どもをみてもらった」（就学前児童39.5%・小学生28.4%）、「父親または母親のうち就労してない方が子どもをみた」（就学前児童8.9%・小学生5.8%）となっています。

前回調査と比較すると、就学前児童の保護者では「父親が休んだ」が28.3ポイント、「母親が休んだ」が13.3ポイント、小学生の保護者では「母親が休んだ」が13.4ポイント、「父親が休んだ」が11.8ポイント、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が5.9ポイント高くなっています。【問21-1、問12-1】

病気やケガをした子どもをみるのは母親の役目であるという役割意識の定着がうかがわれます。しかし、前回調査と比較すると、父親が休んだ割合が大幅に増加していることから、父親が休暇を取得しやすい職場環境づくりが徐々に始まっていると推察されます。さらに父親の育児参加の促進やワーク・ライフ・バランスの取組など、父親の育児参加を促すための対策を進めていく必要があります。



結果6 小学生の長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望が大幅に増加

放課後児童クラブの長期休暇期間中の利用希望をみると、「低学年の間は利用したい」「高学年になっても利用したい」と回答した方は小学生の保護者では82.5%となっています。また、就学前児童の保護者も、こどもがやがて小学生となったときの長期休暇中の児童クラブを求めている傾向がうかがえます。【問28、[問16]】

前回調査と比較すると、利用希望（「低学年の間は利用したい」＋「高学年になっても利用したい」の合計）は、小学生で53.4ポイント増加しています。【[問16]】

長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望について、利用者ニーズに合致した事業運営が提供できるよう、各事業の提供量について検証する必要があります。また、保護者の働き方に注視するとともに、運営側の人員や場所の確保等についても、関係各所と連携し、考えていく必要があります。

結果7 育児休業を取得又は取得中の就学前児童の母親は58.8%、父親は14.4%

就学前児童の保護者の育児休業の取得率をみると、母親が58.8%、父親が14.4%となり、前回調査と比較すると、母親は18.2ポイント、父親は12.6ポイント増加しています。

母親の育児休業取得期間についてみると、実際の取得期間、希望取得期間ともに「1歳～1歳半未満」（実際の取得期間56.0%、希望取得期間32.1%）が最も高くなっています。また、3歳以上の長期期間では、実際の取得期間（1.2%）より希望取得期間（30.0%）の割合が上回っています。

育児休業を取得していない理由は、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が26.3%で前回調査同様最も高くなっていますが、前回と比較すると14.0ポイント減少しています。それ以外では、前回調査において15.1%であった「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が21.3%に増加しています。父親では「仕事が忙しかった」（43.8%）が最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（42.3%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」（34.7%）となっています。

また、「その他」の理由として、母親・父親ともに「自営業のため」「フリーランスのため」との回答が多くなっています。【問30・問30-1・問30-4】

以上の結果から、子育て世帯への社会全体の意識の変化にともない、母親・父親ともに育児休業取得率が前回調査時よりも高くなっています。

一方で、育児休業から復帰したときの子どもの実際の月齢と希望する月齢との差があることから、希望の育児休業期間を取得できるような職場の環境づくりなど、安心して出産、子育てができるよう、経済的な支援を含めた更なる取得の支援を推進する必要があります。



結果8 地域の行事や園・学校の行事への参加（「よく参加している」＋「時々参加している」）割合は高いが、まったく参加していない割合は就学前児童保護者で高い

地域の行事等に参加している割合（「よく参加している」＋「時々参加している」）は就学前児童の保護者で55.0%、小学生の保護者で78.2%となっています。

また、お子さんが通う園や学校の行事に参加している割合（「よく参加している」＋「時々参加している」）は、就学前児童の保護者で70.6%、小学生の保護者で97.4%となっています。

一方で、地域の行事等にまったく参加していない割合は、就学前児童の保護者で22.0%、小学生の保護者で6.7%となっています。【問39①②、[問25①②]】

以上の結果から、行事の参加については年齢が上がると参加率が高くなる傾向にありますが、まったく行事に参加していない割合は、就学前児童の保護者で高い結果となっています。

地域住民との関わりが少ない家庭が一定数みられることから、主任児童委員（民生児童委員）をはじめ、地域住民の声掛け等、推進していく必要があります。また、子どもの人間関係形成能力をはぐくむために、地域で交流できる機会やイベントの企画などを通して、地域全体で子どもを見守っていく環境づくりの整備が望まれます。

結果9 子育て環境や支援に対する満足度（「高い」＋「やや高い」＋「ふつう」）は、就学前児童保護者で53.4%、小学生保護者で52.1%

子育て環境や支援に対する保護者の満足度をみると、就学前児童の保護者、小学生の保護者いずれも「ふつう」（就学前児童41.2%・小学生42.7%）が最も高く、「高い＋やや高い」（就学前児童12.2%・小学生9.4%）、「やや低い＋低い」（就学前児童46.2%・小学生47.5%）となっています。【問44、[問30]】

今後さらにこの評価を引き上げていくには、現在実施している事業に対して、ニーズに即した対策の見直し・改善を図る必要があります。また、子育て環境や地域資源等が市民に十分認知されるよう、浸透性の高い情報発信のあり方について検討が必要です。

第2章

子育て家庭を取り巻く環境

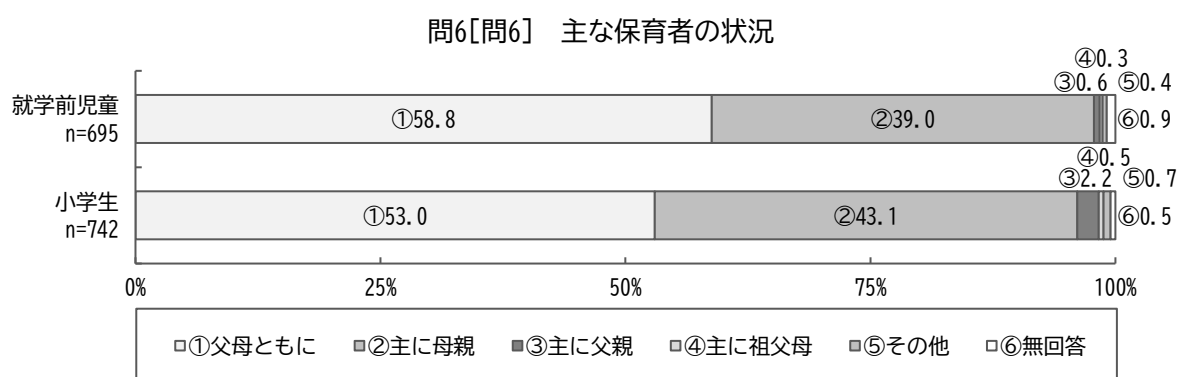
第2章 子育て家庭を取り巻く環境

1 子育ての環境について

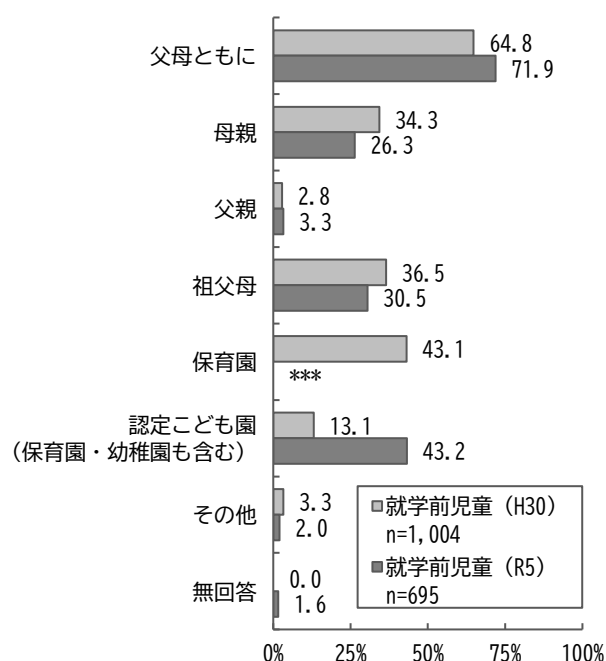
(1) 主な保育者と親族等協力者の状況

○主な保育者の状況をみると、「父母ともに」「主に母親」を合わせると就学前児童では97.8%、小学生では96.1%となっています。

○日常的に子育てに関わっている人（施設含む）をみると、就学前児童では、「父母ともに」（71.9%）が最も高く、次いで「認定こども園（保育園・幼稚園も含む）」（43.2%）、「祖父母」（30.5%）となっています。前回調査と比較すると、「父母ともに」の割合が増加し、「母親」「祖父母」の割合が減少しています。



問7 子育てに日常的に関わっている人・施設（経年比較）

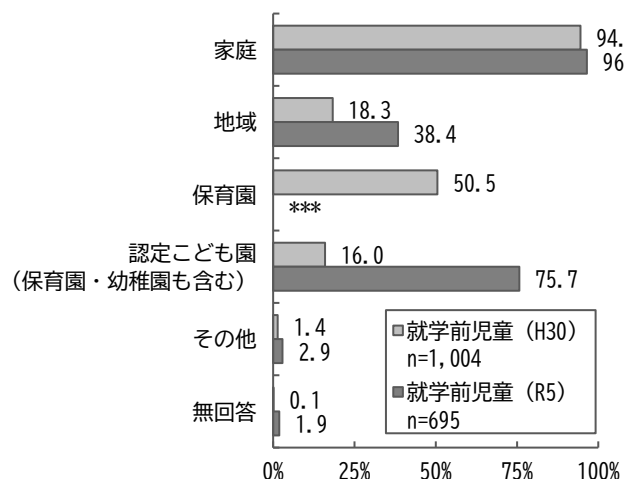


※「保育園」はR5年調査では「認定こども園（保育園・幼稚園も含む）」へ統合のため、選択肢がありません。
H30は「認定こども園（幼稚園も含む）」となっています

○子育てに影響を与える環境をみると、就学前児童では、「家庭」(96.5%)が最も高く、次いで「認定こども園(保育園・幼稚園も含む)」(75.7%)、「地域」(38.4%)となっています。前回調査と比較すると、「地域」の割合が大幅に増加しています。

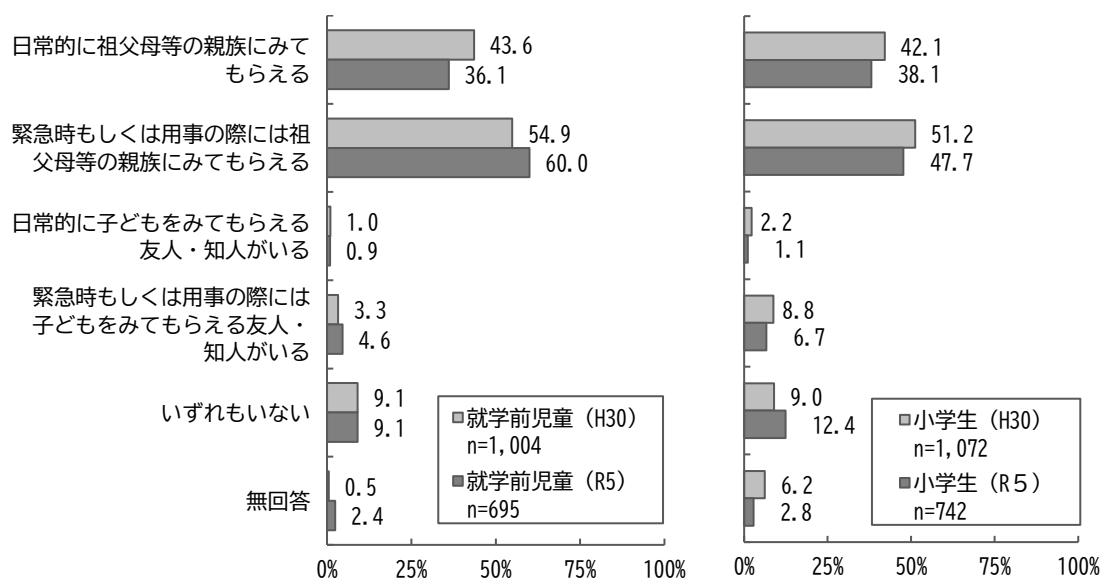
○親族、知人等協力者の状況をみると、就学前児童、小学生いずれも「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(就学前児童60.0%、小学生47.7%)、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(就学前児童36.1%、小学生38.1%)と回答した方が多い一方で、「いずれもない」と回答した方が就学前児童では9.1%、小学生では12.4%となっています。前回調査と比較すると、就学前、小学生ともに「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が減少し、小学生では、「いずれもない」が増加しています。

問8 子育てに影響を与えると思う環境（経年比較）



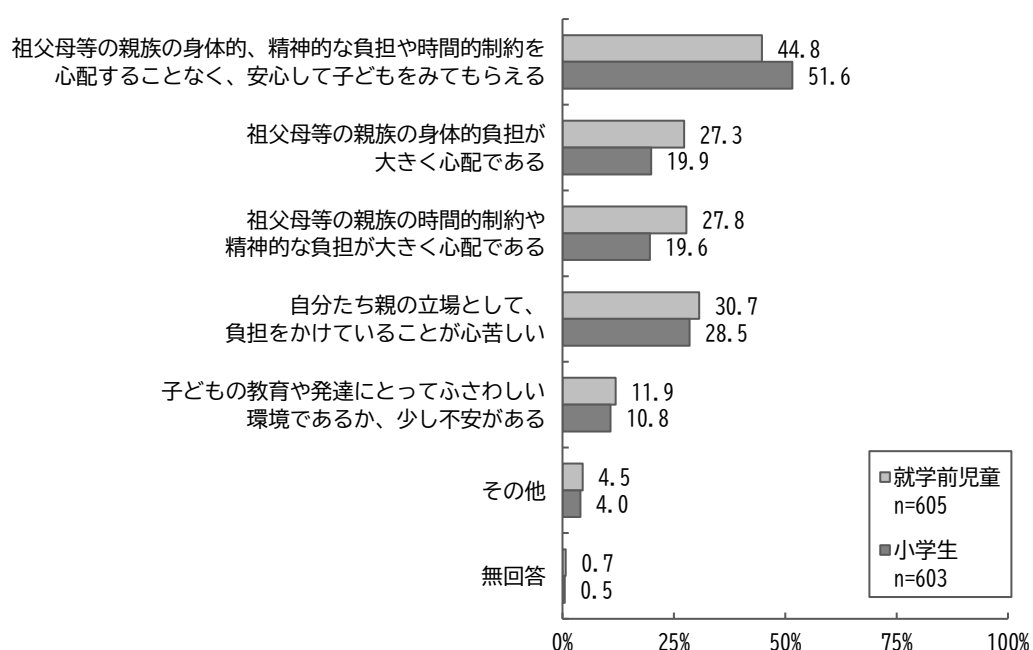
※「保育園」はR5年調査では「認定こども園(保育園・幼稚園も含む)」へ統合のため、選択肢がありません。H30は「認定こども園(幼稚園も含む)」となっています

問9[問7] 親族、知人等の協力者の状況（経年比較）



○祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況をみると、就学前児童、小学生いずれも「祖父母等の親族の身体的、精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(就学前児童44.8%、小学生51.6%)が最も高いものの、一方で、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」(就学前児童27.3%、小学生19.9%)、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(就学前児童27.8%、小学生19.6%)「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(就学前児童30.7%、小学生28.5%)と祖父母等の負担を心配しながらみている割合も高くなっています。

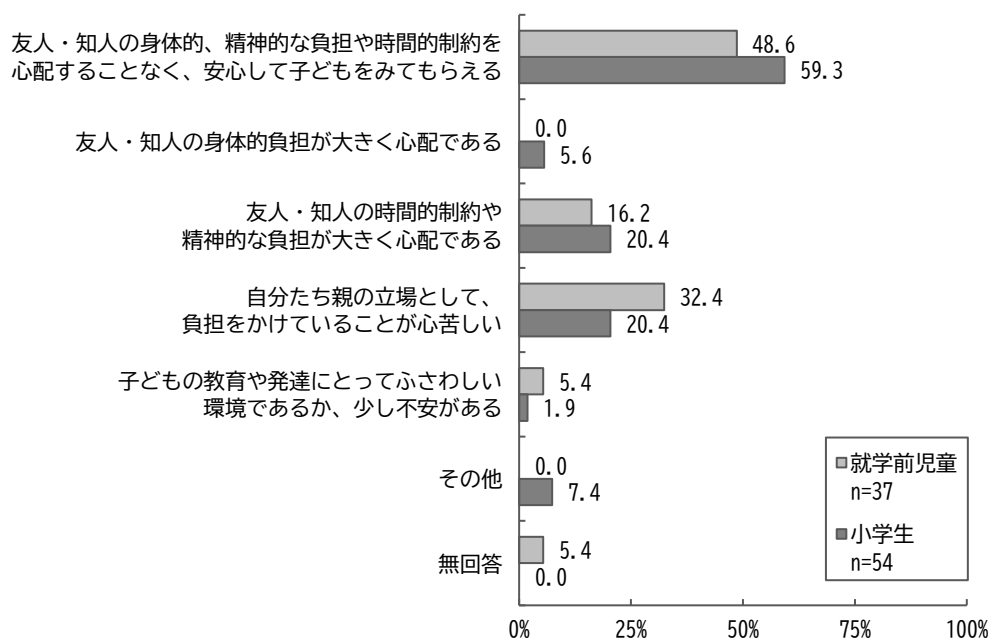
問9-1[問7-1] 祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考え





○友人、知人に子どもを預かってもらっている状況をみると、就学前児童、小学生いずれも「友人・知人の身体的、精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」（就学前児童48.6%、小学生59.3%）が最も高いものの、一方で、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」（就学前児童32.4%、小学生20.4%）「友人、知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」（就学前児童16.2%、小学生20.4%）と回答した方の割合も多く、友人、知人の負担を心配しながらみてもらっている状況です。

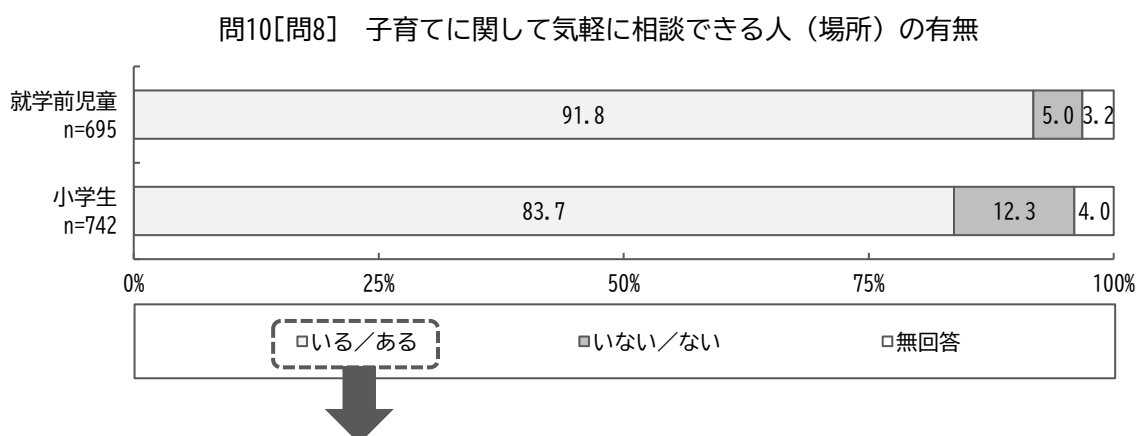
問9-2[問7-2] 友人、知人に子どもをみてもらうことへの考え



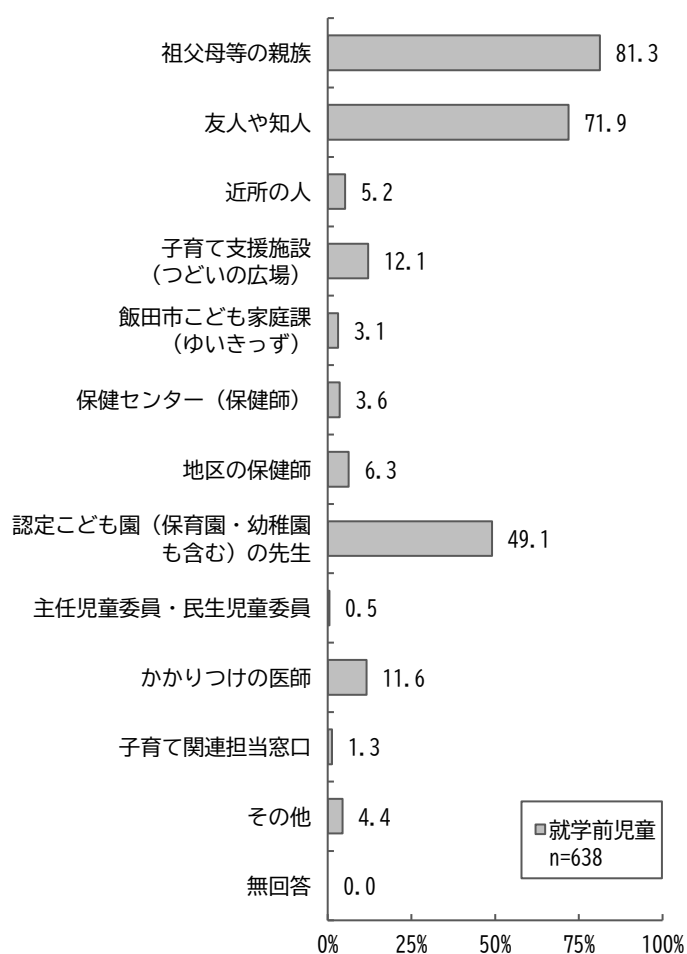
(2) 子育てに関する相談者の状況

○気軽に相談できる人の有無をみると、「いる／ある」が就学前児童では91.8%、小学生では83.7%となっています。

○気軽に相談できる先の状況をみると、就学前児童では、「祖父母等の親族」(81.3%)が最も高く、次いで「友人や知人」(71.9%)、「認定こども園（保育園・幼稚園も含む）の先生」(49.1%)となっています。



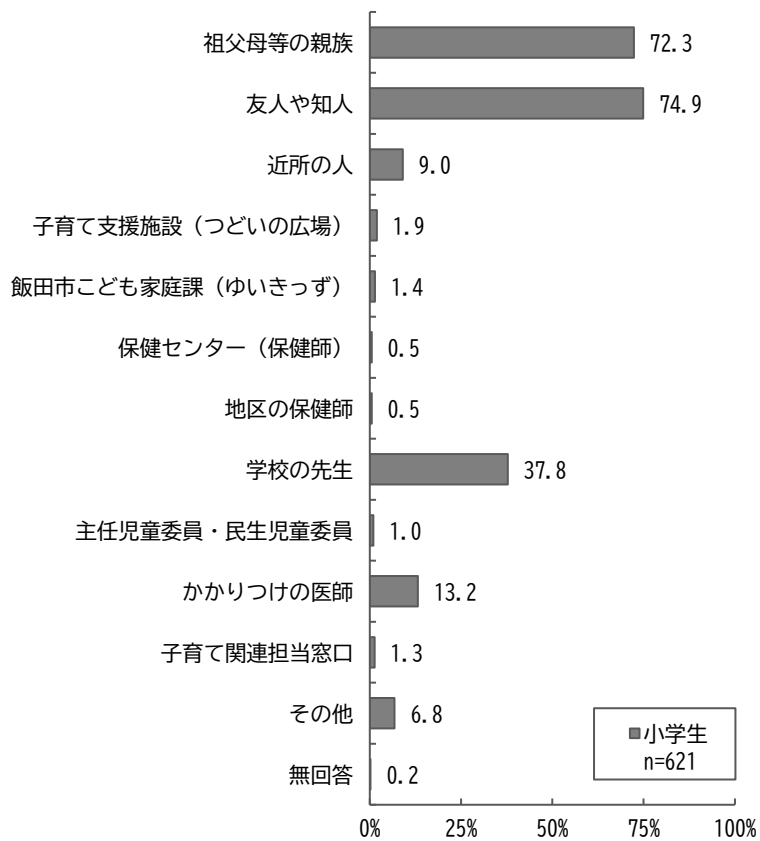
問10-1 気軽に相談できる先





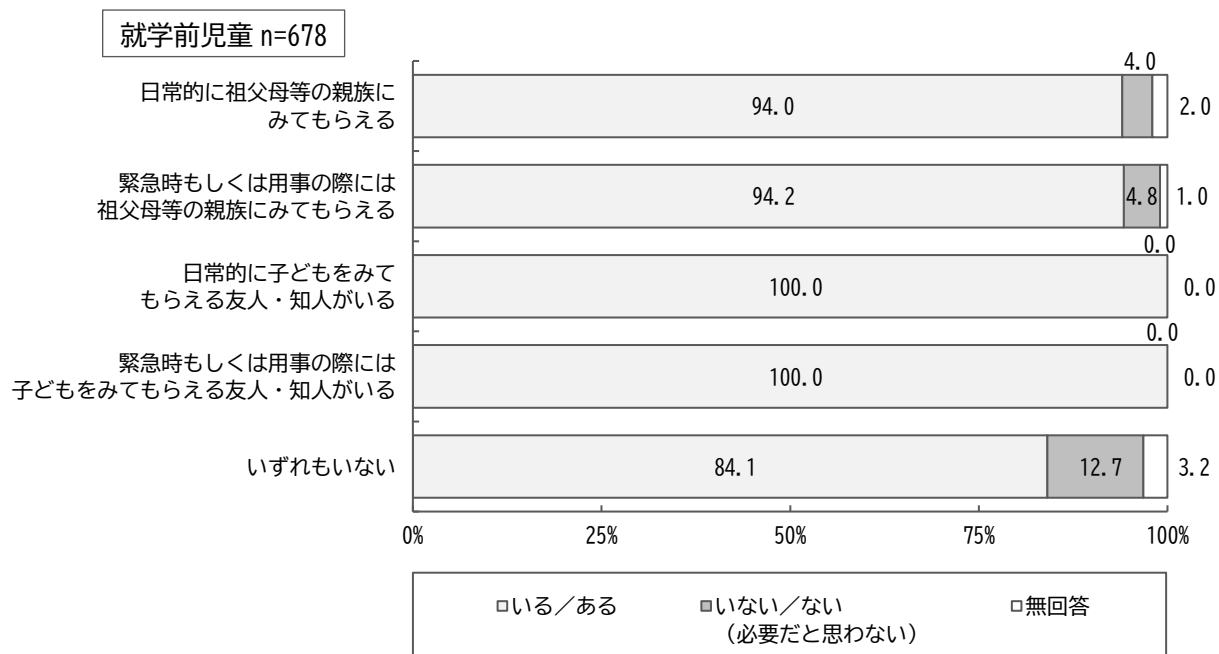
○気軽に相談できる先の状況を見ると、小学生では、「友人、知人」（74.9％）が最も高く、次いで「祖父母等の親族」（72.3％）、「学校の先生」（37.8％）となっています。

〔問8-1〕 気軽に相談できる先

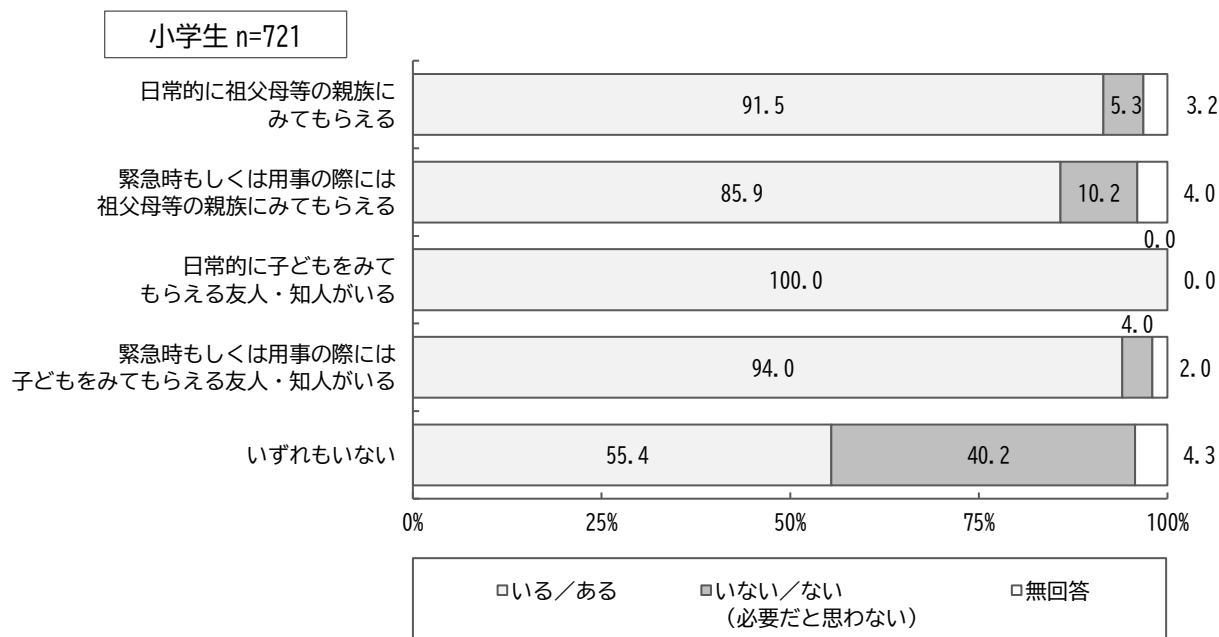


○親族、知人等の協力者の状況を子育てに関して気軽に相談できる人（場所）の有無別にみると、協力者も気軽に相談できる人も「いない/ない」と回答した方は、就学前児童では12.7%、小学生では40.2%となっています。

問9 親族、知人等の協力者の状況×問10 子育てに関して気軽に相談できる人（場所）の有無



〔問7〕 親族、知人等の協力者の状況×〔問8〕 子育てに関して気軽に相談できる人（場所）の有無



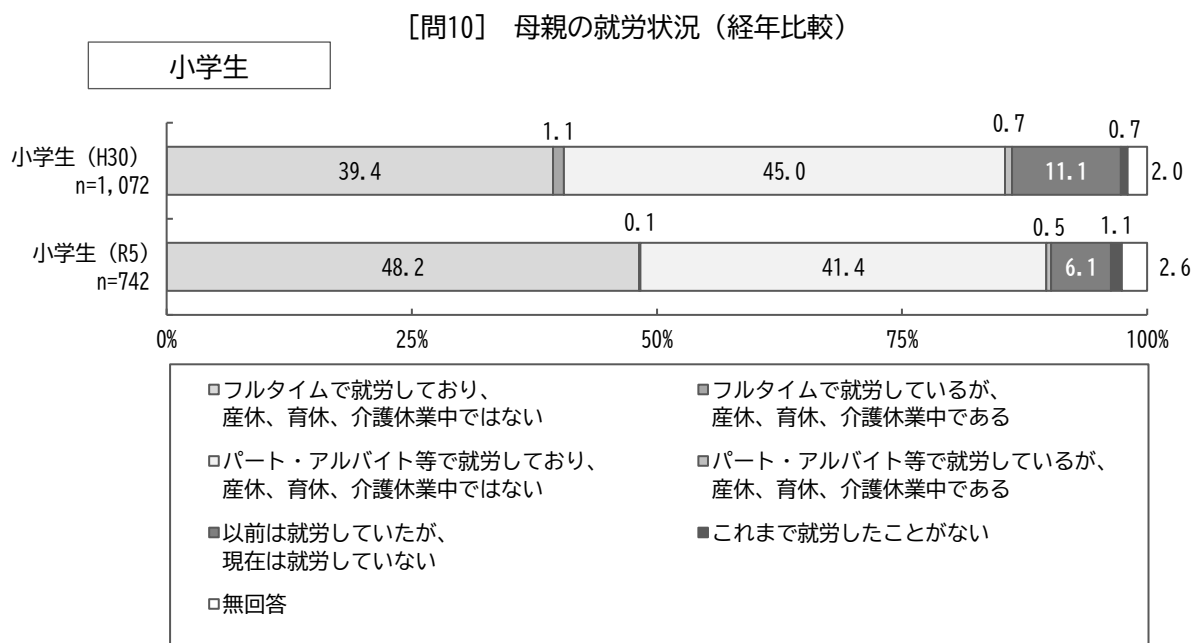
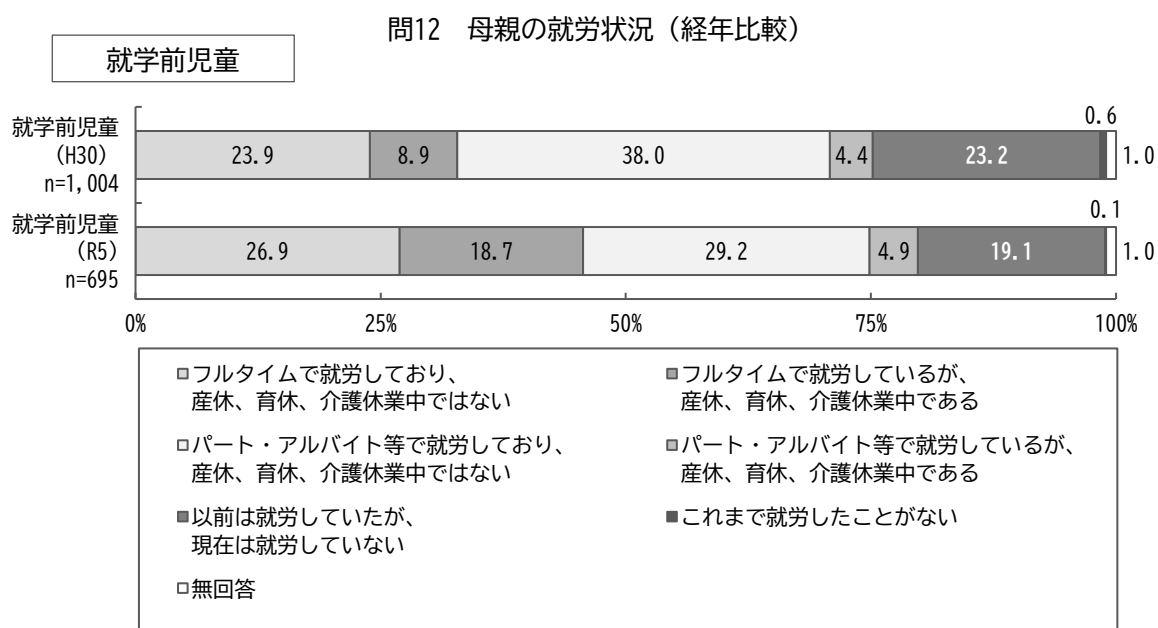


2 保護者の就労状況

(1) 母親の就労状況

○母親の就労状況をみると、「フルタイムで就労している」「パート・アルバイト等で就労している」（産休・育休・介護休業中含む）を合わせた現在就労している方は、就学前児童が79.7%、小学生が90.2%となっています。そのうち産休、育休、介護休業を取得中の方は、就学前児童が23.6%、小学生が0.6%となっています。

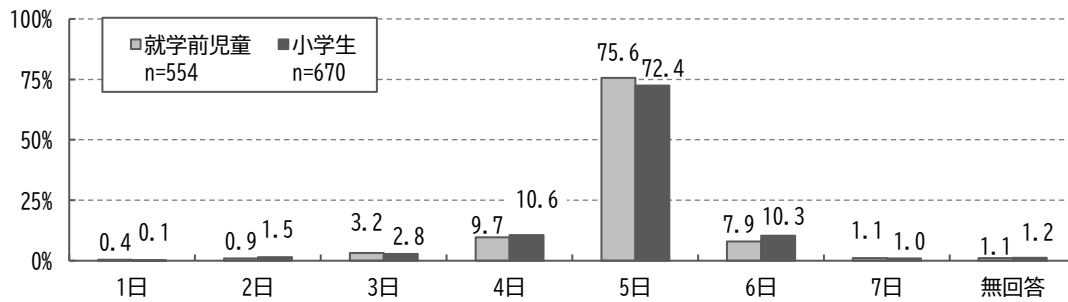
○前回調査と比較すると、就労している母親は、就学前児童が4.5ポイント、小学生が4.0ポイント増加しています。



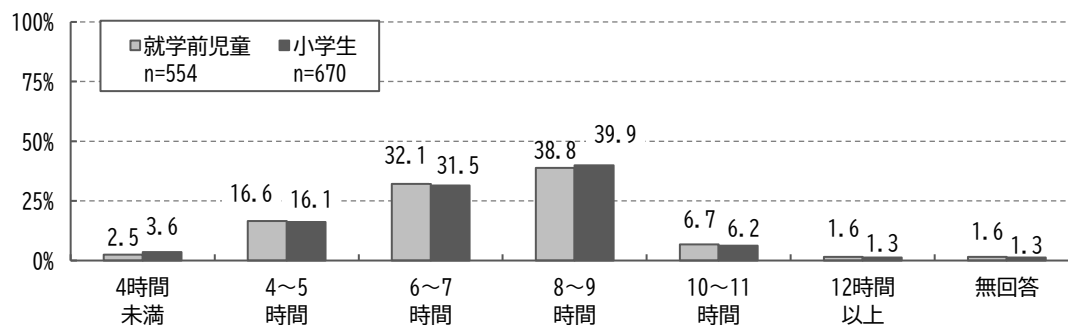
○母親の就労日数をみると、就学前児童、小学生いずれも「5日」（就学前児童75.6%、小学生72.4%）が最も高くなっています。

○母親の就労時間をみると、就学前児童、小学生いずれも「8～9時間」（就学前児童38.8%、小学生39.9%）が最も高く、「6～7時間」（就学前児童32.1%、小学生31.5%）となっています。

問12-1(1)[問10-1(1)] 母親の就労日数（1週当たり）



問12-1(1)[問10-1(1)] 母親の就労時間（1日当たり）

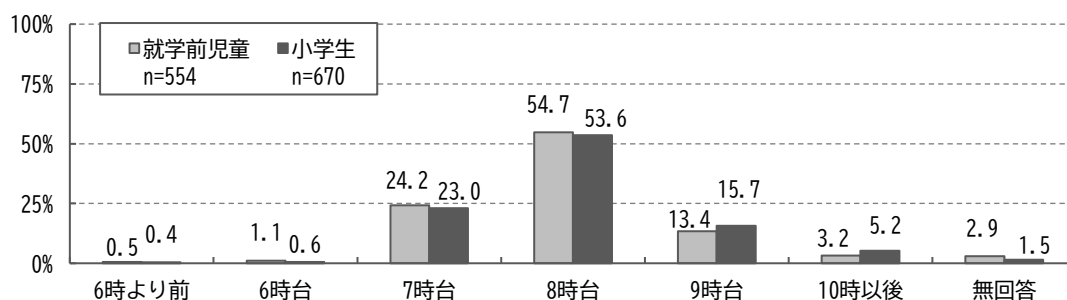




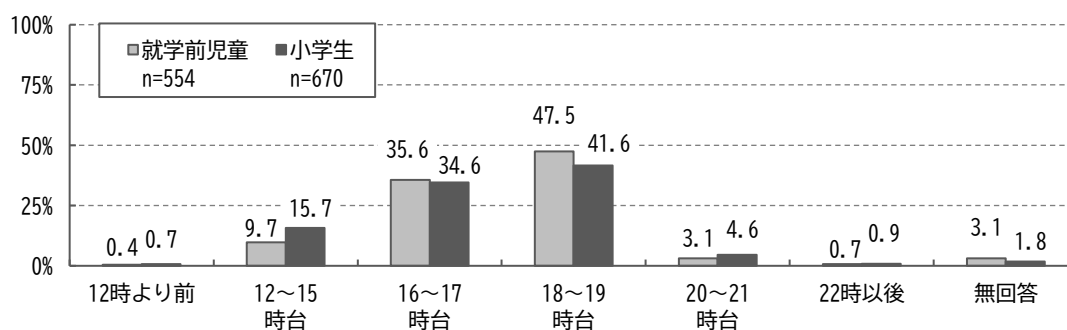
○母親の家を出る時刻をみると、就学前児童、小学生いずれも「8時台」(就学前児童54.7%、小学生53.6%)が最も高く、次いで「7時台」(就学前児童24.2%、小学生23.0%)となっています。

○母親の帰宅時刻をみると、就学前児童、小学生いずれも「18～19時台」(就学前児童47.5%、小学生41.6%)が最も高く、次いで「16～17時台」(就学前児童35.6%、小学生34.6%)となっています。

問12-1(2)[問10-1(2)] 母親の家を出る時刻



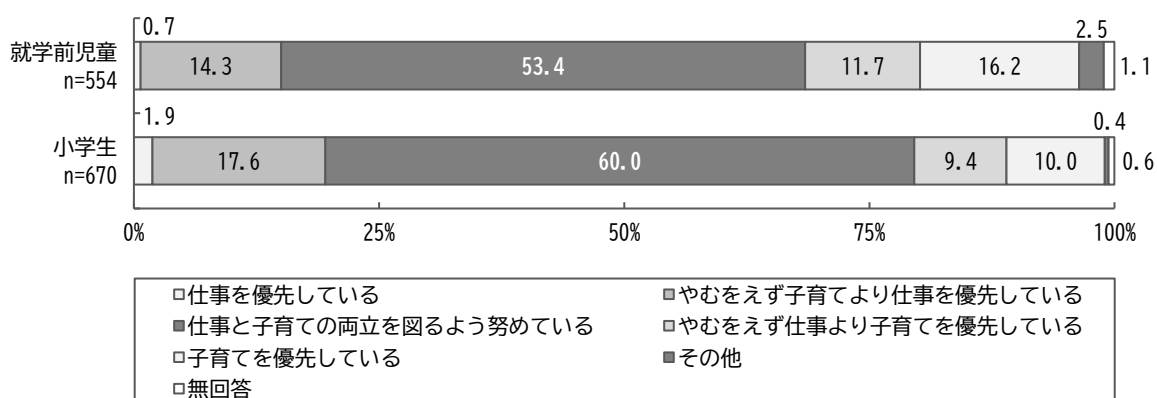
問12-1(2)[問10-1(2)] 母親の帰宅時刻



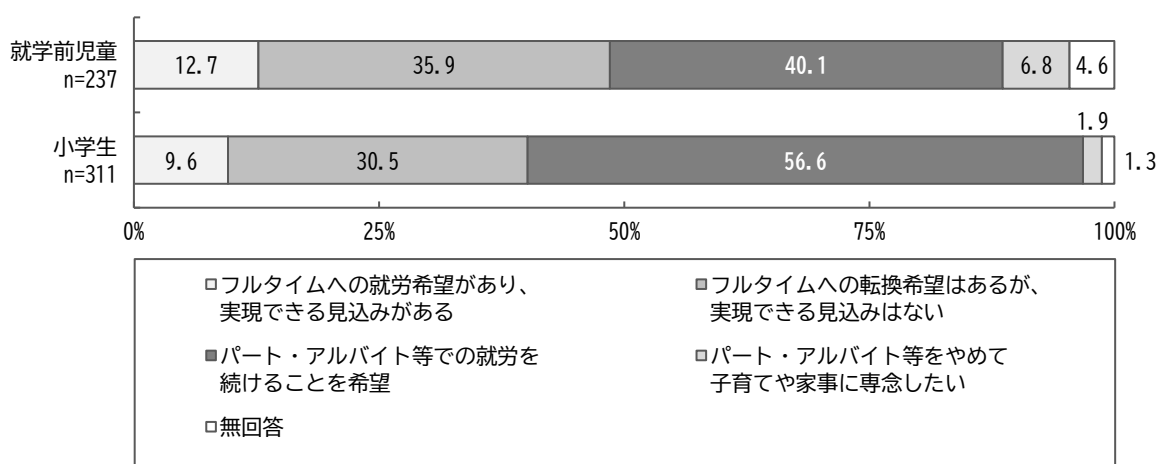
○母親仕事と子育ての両立の状況についてみると、就学前児童、小学生いずれも「仕事と子育ての両立を図るよう努めている」（就学前児童53.4%、小学生60.0%）となっています。

○母親のフルタイム勤務に対する意向をみると、就学前児童、小学生いずれも「パート・アルバイト等での就労を続けることを希望」（就学前児童40.1%、小学生56.6%）となっています。また、フルタイムへの転換希望は就学前児童が48.6%、小学生が40.1%あり、約1割の方が実現できる見込みがあります。

問12-2[問10-2] 仕事と子育ての両立



問12-3[問10-3] 母親のフルタイム勤務に対する意向

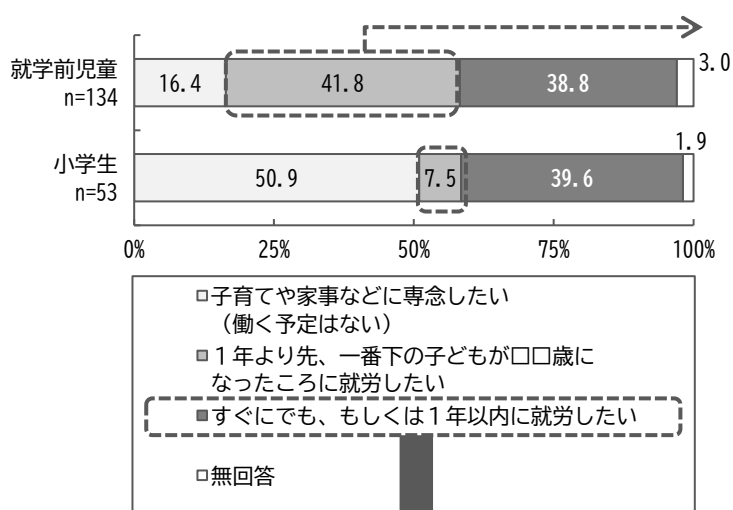


○現在就労していないが、今後就労したい母親の希望をみると、就学前児童では80.6%となっており、その内訳は「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」(41.8%)、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」(38.8%)となっています。小学生では47.1%となっており、その内訳は「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」(7.5%)、「すぐにでも、または1年以内に就労したい」(39.6%)となっています。

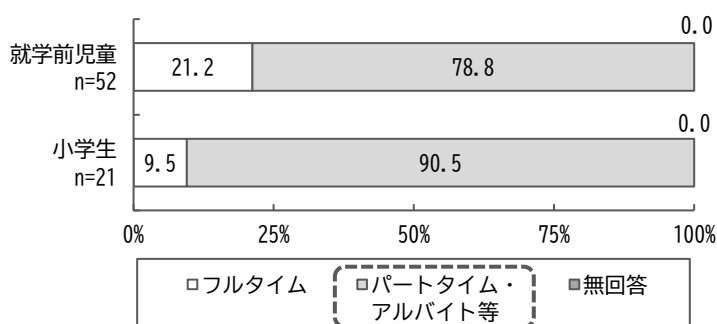
○現在就労していないが、今後就労したい母親の希望する就労形態をみると、就学前児童では「パートタイム・アルバイト等」(78.8%)、「フルタイム」(21.2%)となっています。小学生では「パートタイム・アルバイト等」(90.5%)、「フルタイム」(9.5%)となっています。

○現在就労していないが、今後就労したい母親の希望する就労時期となる子どもの年齢は就学前児童では「0～3歳」(82.2%)、小学生では「8歳以上」(75.0%)が最も高くなっています。

問12-4[問10-4] 就労していない母親の就労希望



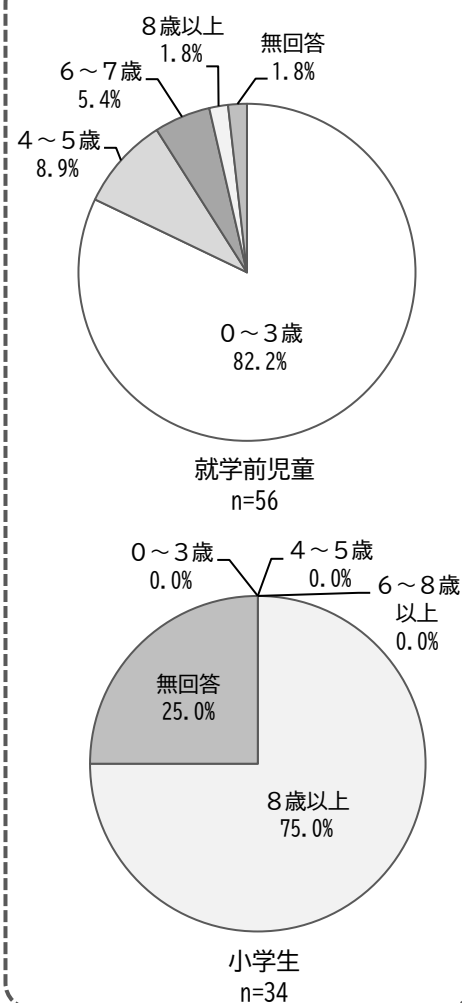
【母親の希望する就労形態】



【希望就労日数と希望就労時間】へ

「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」を選んだ方

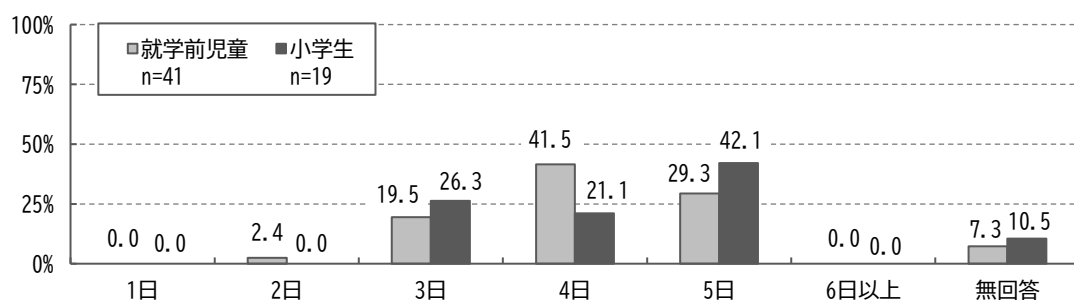
【就労希望時の末子の年齢】



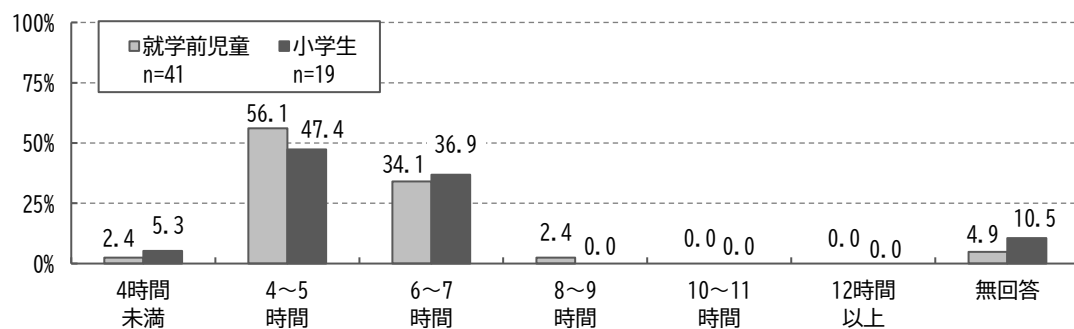
○パートタイム・アルバイト等での就労を希望する母親の希望就労日数をみると、就学前児童では「4日」(41.5%)が最も高く、次いで「5日」(29.3%)、「3日」(19.5%)となっています。小学生では「5日」(42.1%)が最も高く、次いで「3日」(26.3%)、「4日」(21.1%)となっています。

○パートタイム・アルバイト等での就労を希望する母親の希望就労時間をみると、就学前児童、小学生いずれも「4～5時間」(就学前児童56.1%、小学生47.4%)が最も高く、次いで「6～7時間」(就学前児童34.1%、小学生36.9%)となっています。

問12-4[問10-4] パートタイム・アルバイト等希望の母親の希望就労日数(1週当たり)



問12-4[問10-4] パートタイム・アルバイト等希望の母親の希望就労時間(1日当たり)



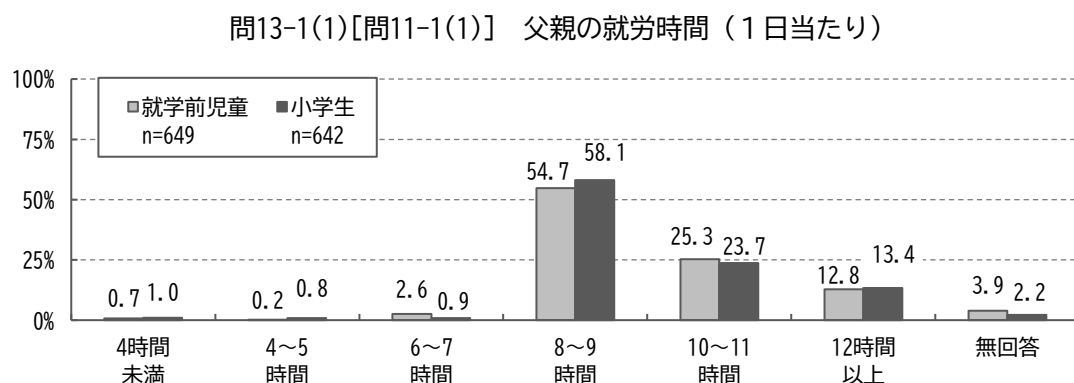
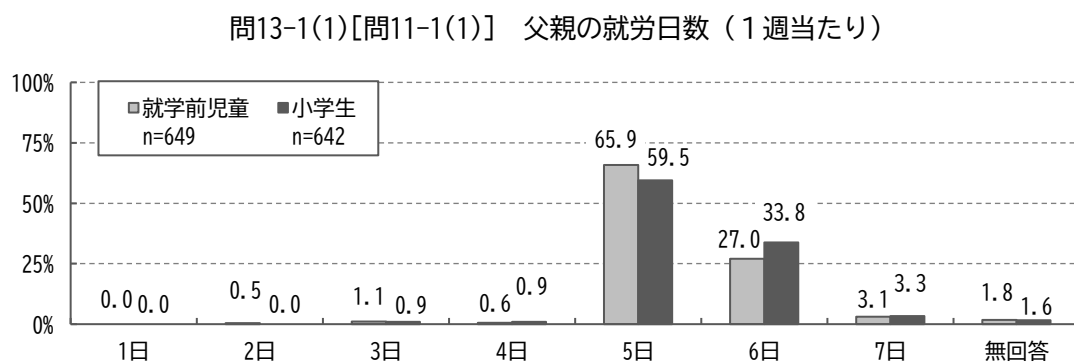
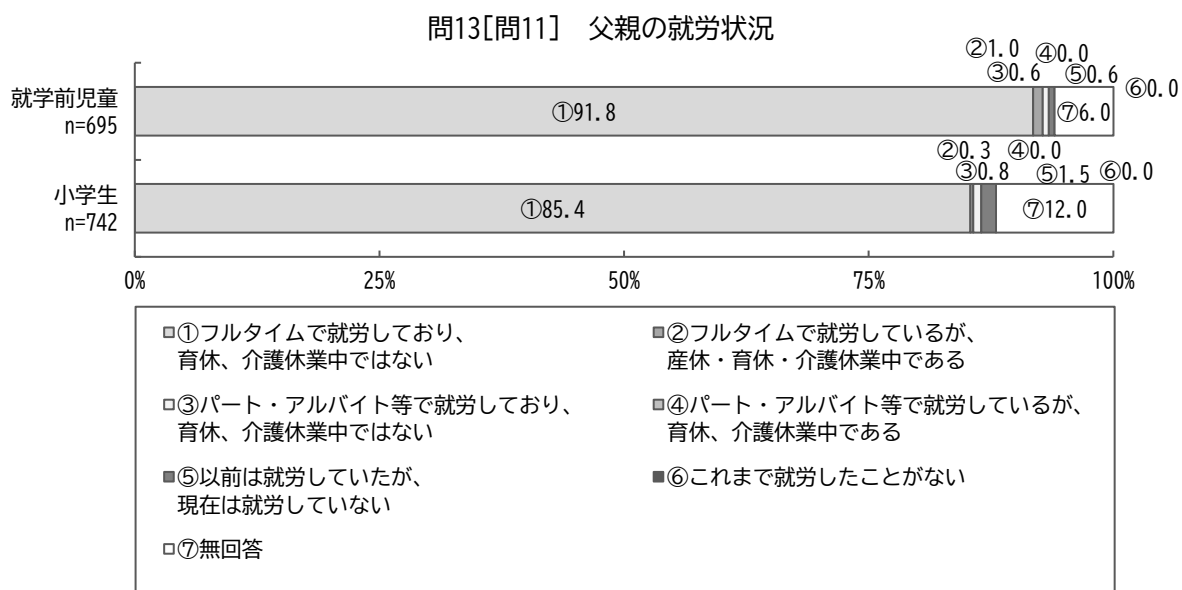


(2) 父親の就労状況

○父親の就労状況をみると、「フルタイムで就労している」「パート・アルバイト等で就労している」を合わせると就学前児童では93.4%、小学生では86.5%となっています。

○父親の就労日数をみると、就学前児童、小学生いずれも「5日」（就学前児童65.9%、小学生59.5%）が最も高く、次いで「6日」（就学前児童27.0%、小学生33.8%）となっています。

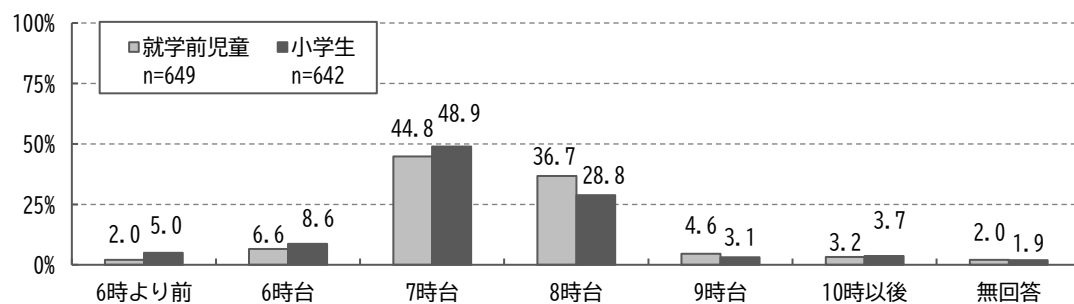
○父親の就労時間をみると、就学前児童、小学生いずれも「8～9時間」（就学前児童54.7%、小学生58.1%）が最も高く、次いで「10～11時間」（就学前児童25.3%、小学生23.7%）となっています。



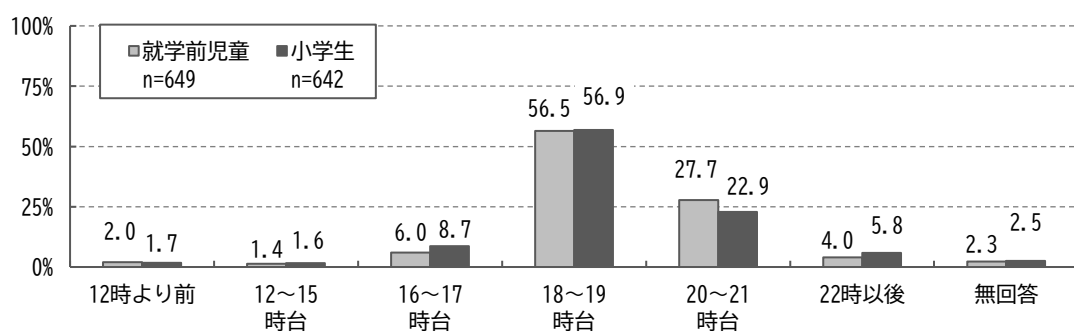
○父親の家を出る時刻をみると、就学前児童、小学生いずれも「7時台」（就学前児童44.8%、小学生48.9%）が最も高く、次いで「8時台」（就学前児童36.7%、小学生28.8%）となっています。

○父親の帰宅時刻をみると、就学前児童、小学生いずれも「18～19時台」（就学前児童56.5%、小学生56.9%）が最も高く、次いで「20～21時台」（就学前児童27.7%、小学生22.9%）となっています。

問13-1(2)[問11-1(2)] 父親の家を出る時刻



問13-1(2)[問11-1(2)] 父親の帰宅時刻

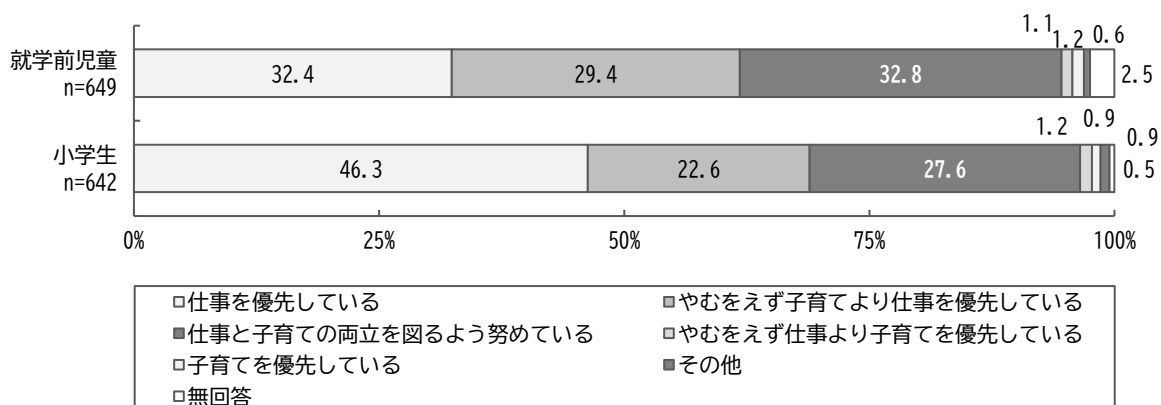




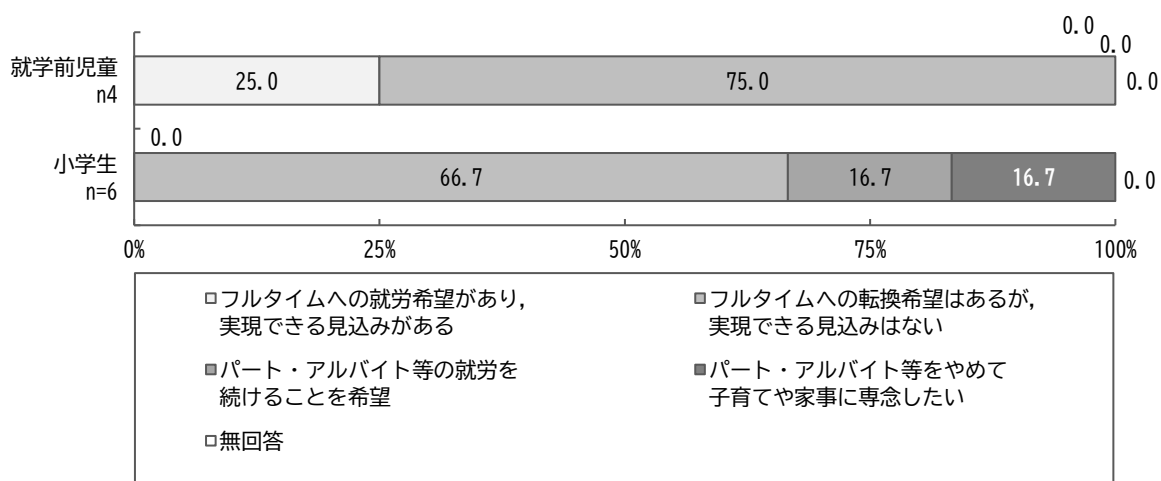
○父親の仕事と子育ての両立の状況についてみると、就学前児童、小学生いずれも「仕事と子育ての両立を図るよう努めている」（就学前児童32.8%、小学生27.6%）となっています。

○父親のパートタイムからフルタイムへの転換意向は以下のとおりです。

問13-2[問11-2] 仕事と子育ての両立

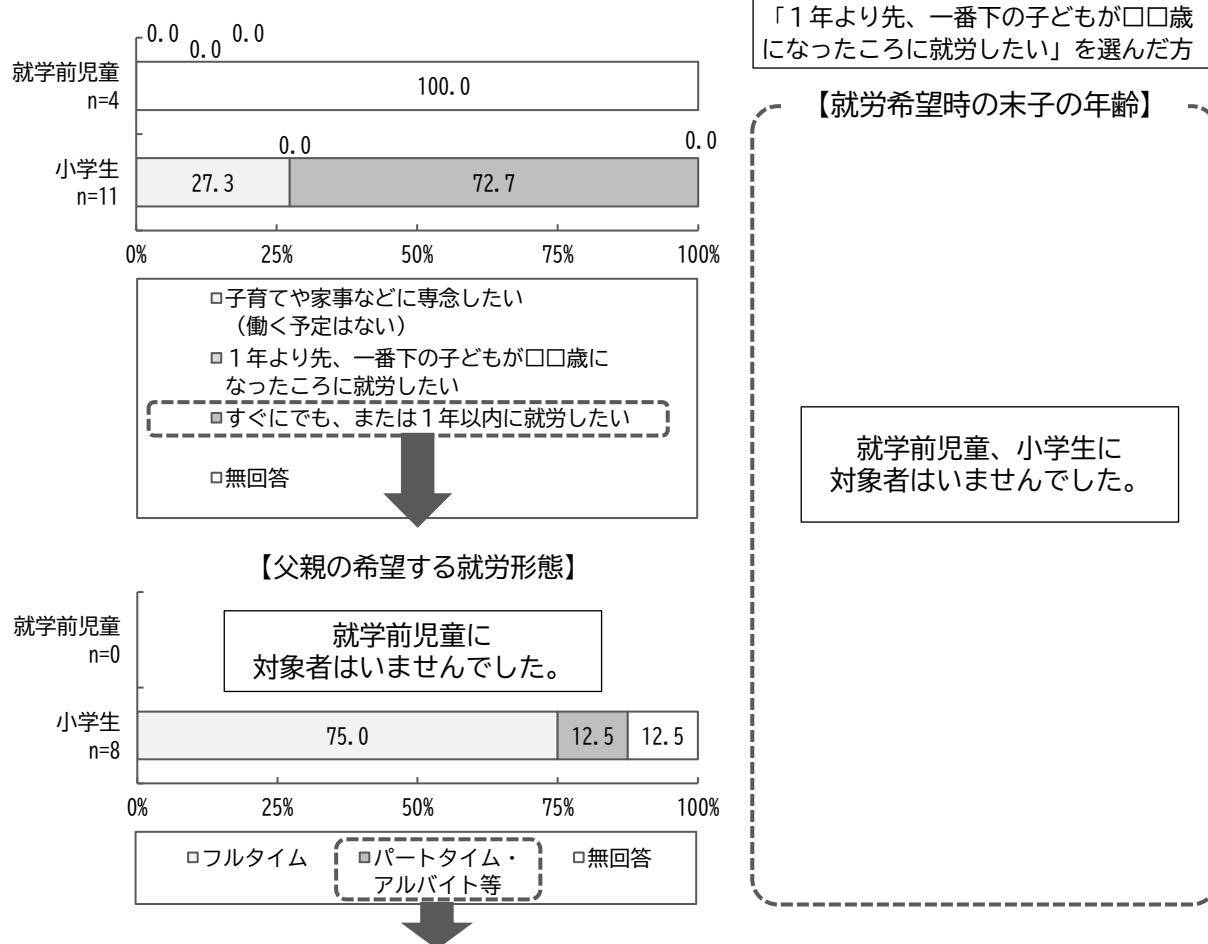


問13-3[問11-3] 父親のフルタイム勤務に対する意向

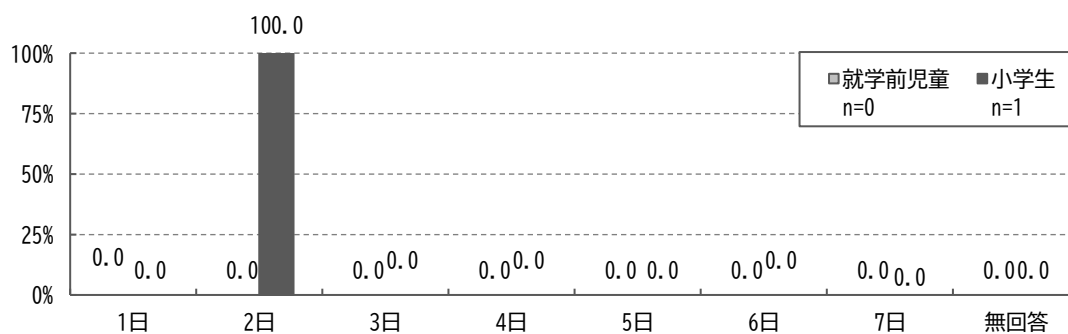


○現在就労していない父親の今後の就労意向は、以下のとおりです。

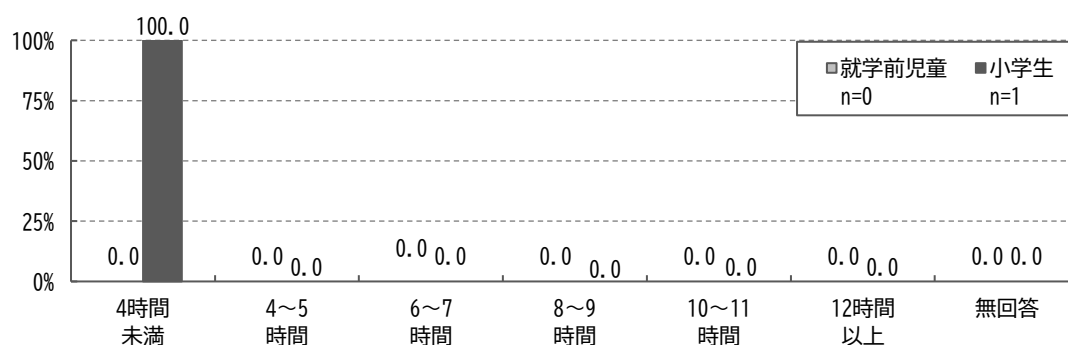
問13-4[問11-4] 就労していない父親の就労希望



問13-4[問11-4] 就労希望のある父親の希望就労日数（1週当たり）



問13-4[問11-4] 就労希望のある父親の希望就労時間（1日当たり）



第3章

子育て支援サービスの現状と 今後の利用希望



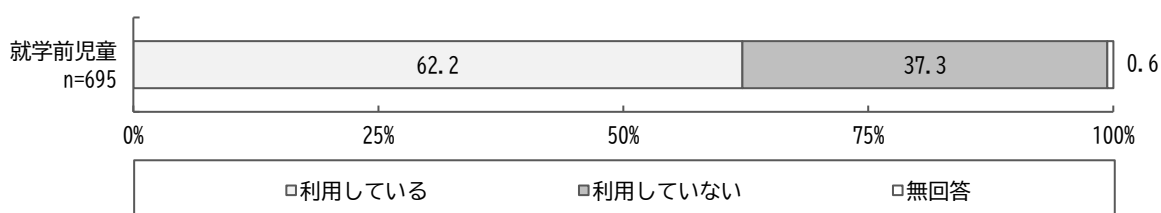
第3章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

1 就学前児童の平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望

(1) 平日の定期的な教育・保育事業

○定期的な教育・保育事業の利用状況をみると、「利用している」が62.2%、「利用していない」が37.3%となっています。

問14 定期的な教育・保育事業の利用状況



年代別

○問14「定期的な教育・保育事業の利用状況」を年齢別でみると、5歳、6歳では「利用している」がそれぞれ100%となっています。2歳から4歳でも「利用している」が高くなっています。一方、0歳、1歳は「利用していない」割合が高くなっています。

問2 宛名の子どもの年齢×問14 定期的な教育・保育事業の利用状況

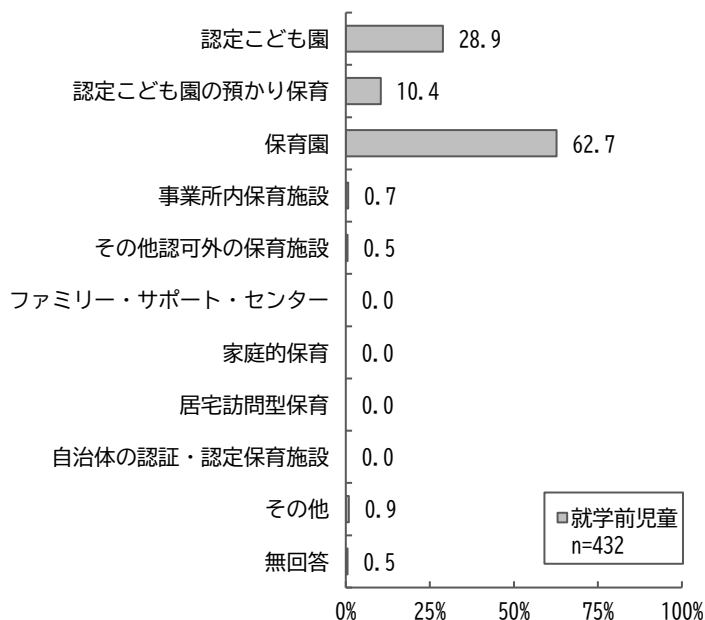
単位：(%)

	有効回答数 (件)	利用 している	利用 していない	無 回答
合計	688	62.6	36.9	0.4
6歳	76	100.0	-	-
5歳	71	100.0	-	-
4歳	89	97.8	1.1	1.1
3歳	84	76.2	21.4	2.4
2歳	97	75.3	24.7	-
1歳	130	31.5	68.5	-
0歳	141	13.5	86.5	-



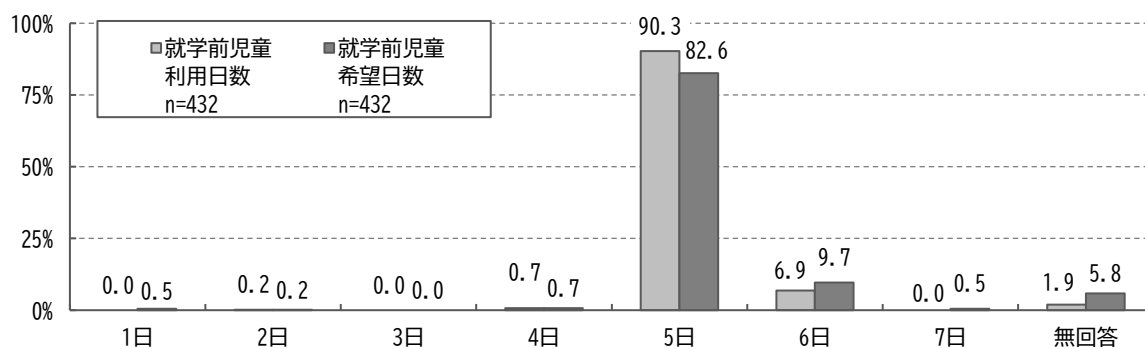
○利用中の事業をみると、「保育園」(62.7%)が最も高く、次いで「認定こども園」(28.9%)、「認定こども園の預かり保育」(10.4%)となっています。

問14-1 定期的な教育・保育事業の利用状況



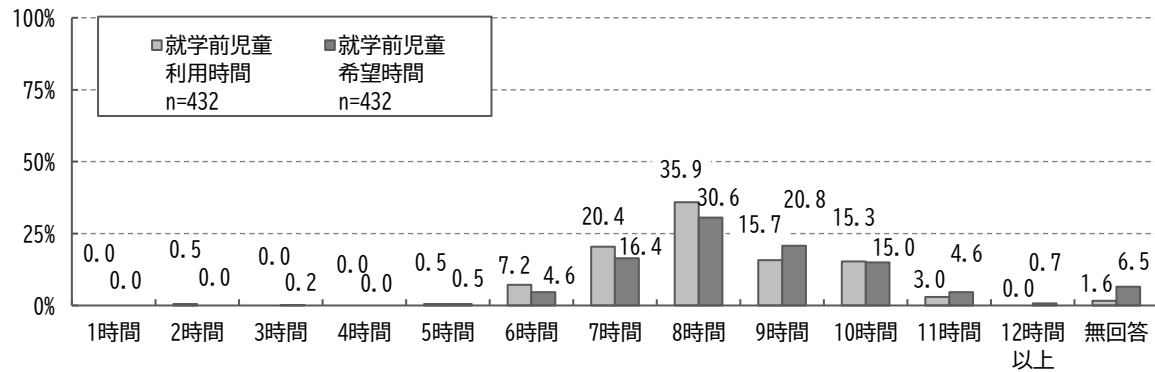
○定期的な教育・保育事業の1週当たりの利用日数と希望日数をみると、利用日数、希望日数いずれも「5日」(利用日数90.3%、希望日数82.6%)が最も高くなっています。

問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数(1週当たり)



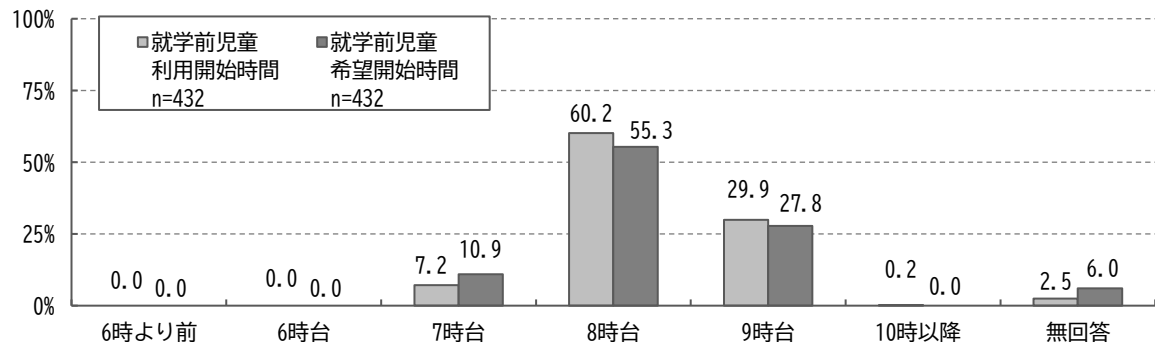
- 1日当たりの利用時間と希望時間をみると、利用時間、希望時間いずれも「8時間」（利用時間35.9%、希望時間30.6%）が最も高く、次いで利用時間では「7時間」（20.4%）、希望時間では「9時間」（20.8%）となっています。

問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間（1日当たり）



- 定期的な教育・保育事業の利用開始時間と希望開始時間をみると、利用開始時間、希望開始時間いずれも「8時台」（利用開始時間60.2%、希望開始時間55.3%）が最も高くなっています。

問14-2(1)(2) 利用開始時間 希望開始時間

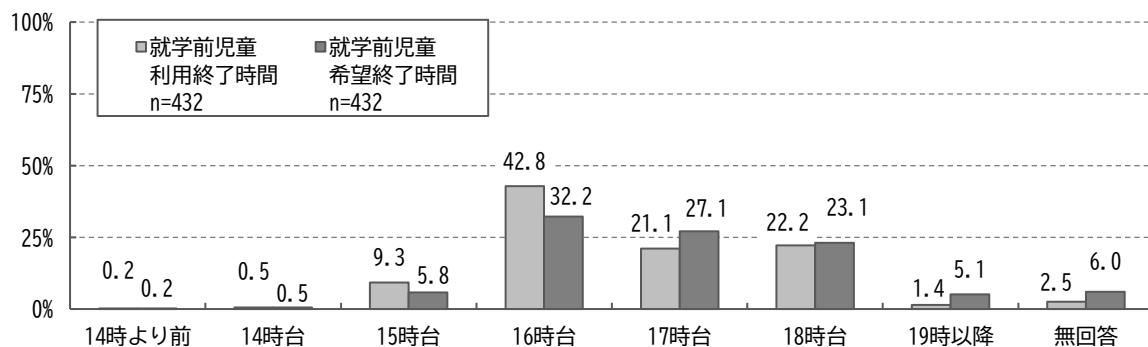




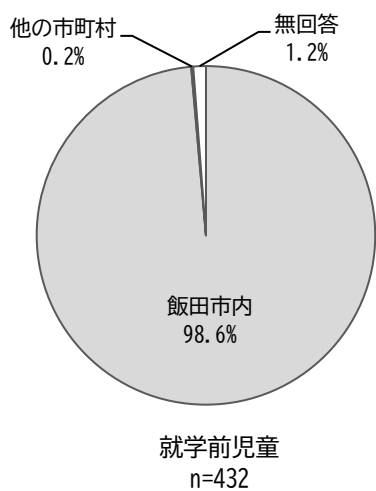
○定期的な教育・保育事業の利用終了時間と希望終了時間をみると、利用終了時間、希望終了時間いずれも「16時台」（利用終了時間42.8%、希望終了時間32.2%）が最も高くなっています。

○現在、利用している教育・保育事業の実施場所をみると、「飯田市内」が98.6%となっています。

問14-2(1)(2) 利用終了時間 希望終了時間



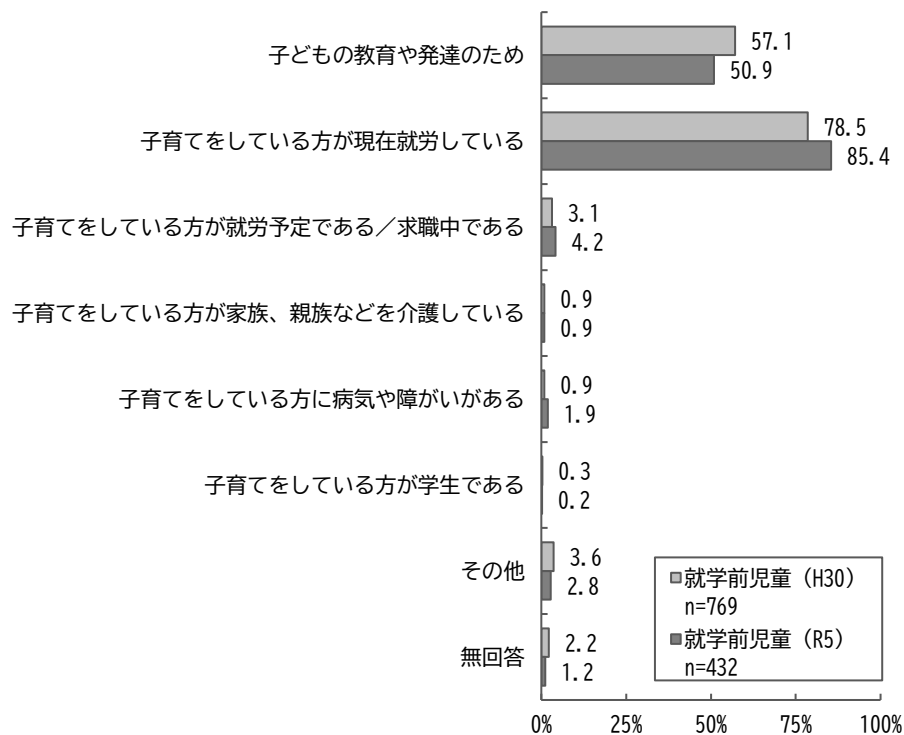
問14-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所



(2) 定期的な教育・保育事業の利用理由と未利用の理由

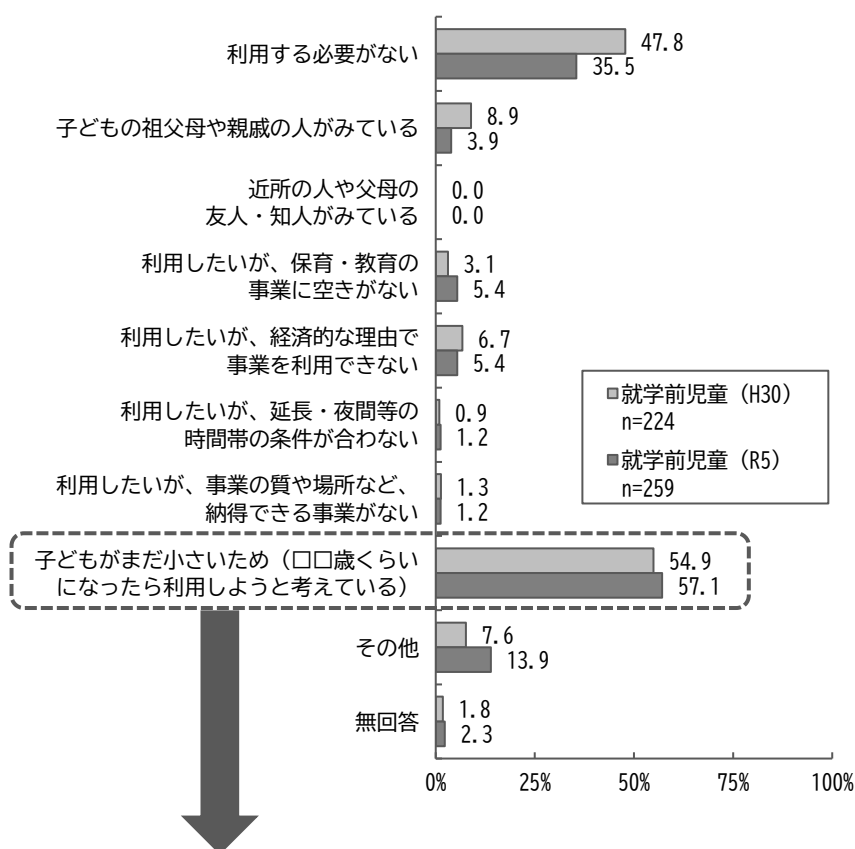
○平日に教育・保育事業を利用している理由をみると、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」(85.4%)が最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」(50.9%)となっています。前回調査と比較すると、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が6.9ポイント増加し、「子どもの教育や発達のため」が6.2ポイント減少しています。

問14-4 平日に教育・保育事業を利用している理由（経年比較）

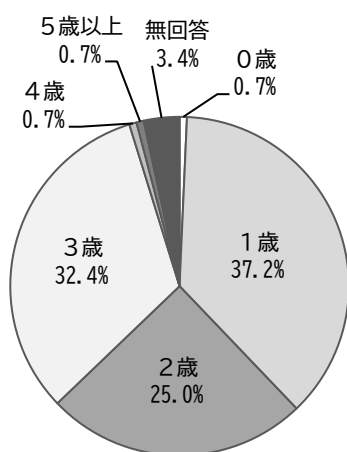


- 平日に教育・保育事業を利用していない理由をみると、「子どもがまだ小さいため〇歳くらいになったら利用しようと考えている」(57.1%)が最も高く、次いで「利用する必要がない」(35.5%)となっています。前回調査と比較すると、「利用する必要がない」が12.3ポイント、「子どもの祖父母や親戚がみている」が5.0ポイント減少しています。
- 「子どもがまだ小さいため(〇〇歳くらいになったら利用しようと考えている)」と回答した人が、教育・保育事業の利用を希望する子どもの年齢をみると、「1歳」(37.2%)が最も高くなっています。

問14-5 教育・保育事業を利用していない理由（経年比較）



問14-5.8 利用を希望する子どもの年齢



就学前児童
n=148

年代別

○問14-5「教育・保育事業を利用していない理由」を年齢別でみると、0歳～2歳では「子どもがまだ小さいため〇歳くらいになったら利用しようと考えている」、3歳では「利用する必要がない」が最も高くなっています。また、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」、「利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない」と回答した方が一定数います。

※4歳は回答者が1人のため、コメントを省略します

問2 宛名の子どもの年齢×問14-5 教育・保育事業を利用していない理由

単位：(%)

	有効回答数(件)	利用する必要がない	子どもの祖父母や親戚がみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	子どもがまだ小さいため〇歳くらいになったら利用しようと考えている	その他	無回答
合計	254	35.4	3.9	-	5.5	5.1	1.2	1.2	57.1	14.2	2.4
6歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4歳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
3歳	18	38.9	11.1	-	11.1	11.1	5.6	-	22.2	33.3	-
2歳	24	37.5	8.3	-	12.5	16.7	-	-	50.0	16.7	4.2
1歳	89	39.3	4.5	-	5.6	2.2	1.1	2.2	47.2	19.1	2.2
0歳	122	32.0	1.6	-	3.3	4.1	0.8	0.8	71.3	6.6	2.5



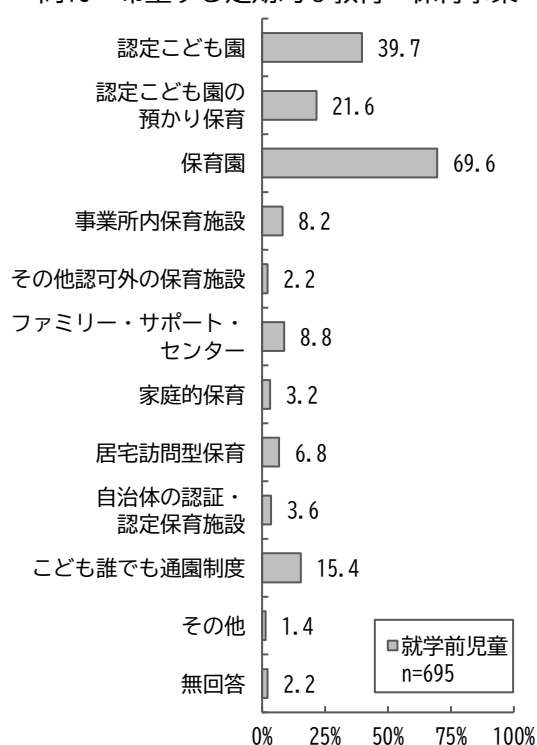
○希望する定期的な事業をみると、「保育園」(69.6%)が最も高くなっています。また、「こども誰でも通園制度」は15.4%となっています。

○利用したい場所は「飯田市内」が96.8%となっています。

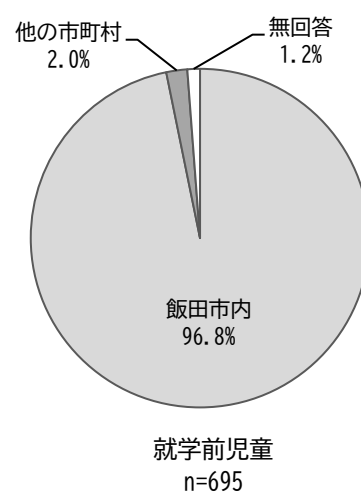
○何歳から保育園に預けることが適当かについてみると、「3歳以上」(36.2%)が最も高く、次いで「1歳～1歳半未満」(25.2%)、「2歳～3歳未満」(21.9%)となっています。

○保育園での保育を希望する理由をみると、「働いている時間帯に子どもをみる人がいないから」(91.3%)が最も高く、次いで「同じ年の子どもと一緒に遊ぶことが大切だと思うから」(79.1%)となっています。

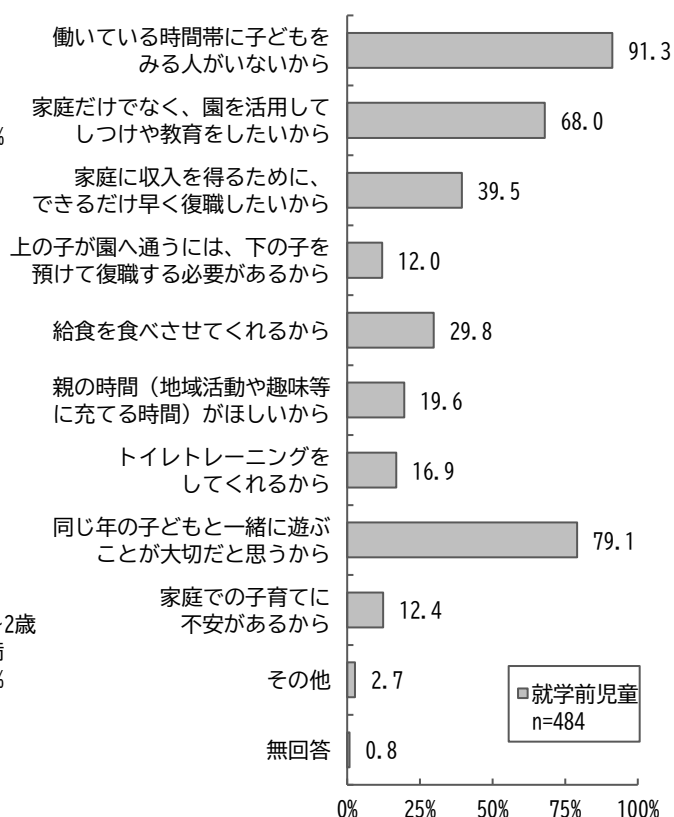
問15 希望する定期的な教育・保育事業



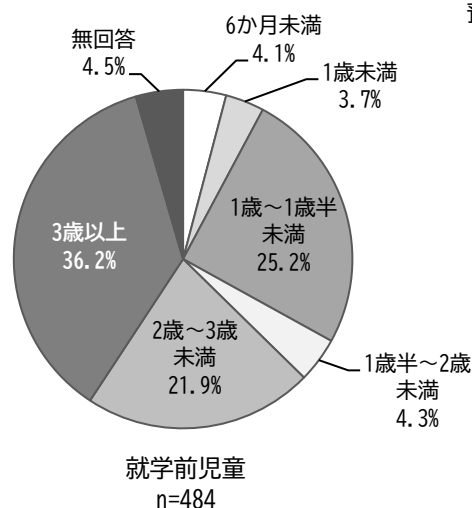
問15-1 教育・保育事業を利用したい場所



問15-3 保育園での保育を希望する理由

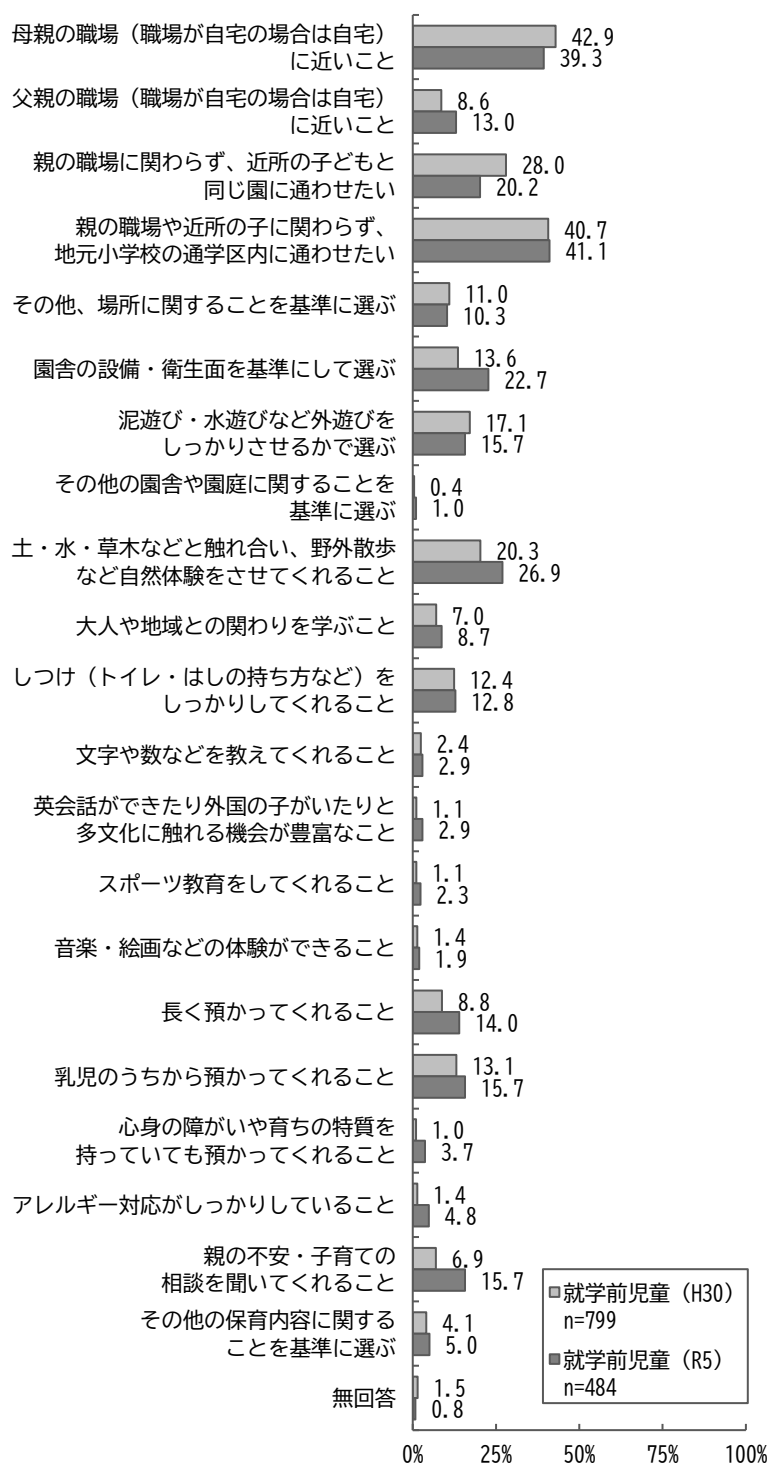


問15-2 保育園入園に適当な年齢



○保育園を選ぶときの基準をみると、「親の職場や近所の子に関わらず、地元小学校の通学区内に通わせたい」(41.1%)が最も高く、次いで「母親の職場(職場が自宅の場合は自宅)に近いこと」(39.3%)、「土・水・草木などと触れ合い、野外散歩など自然体験をさせてくれること」(26.9%)となっています。前回調査と比較すると、「園舎の設備・衛生面を基準にして選ぶ」が9.1ポイント、「親の不安・子育ての相談を聞いてくれること」が8.8ポイント増加しています。

問15-4 保育園を選ぶときの基準(経年比較)





年代別

○問15-4「保育園を選ぶときの基準」を年齢別でみると、2歳～6歳の保護者では、「親の職場や近所の子に関わらず地元小学校の通学区内に通わせたい」との回答が最も多くなっています。一方、0歳～2歳の保護者では、4割以上が「母親の職場（職場が自宅の場合は自宅）に近いこと」と、1割以上が「父親の職場（職場が自宅の場合は自宅）に近いこと」と回答しています。

○0歳～4歳の保護者では、「園舎の設備や衛生面」、「外遊びをしっかりとさせること」、「自然体験をさせてくれること」、「親の不安や子育ての相談を聞いてくれる」など、保育の内容や質への関心が見られます。

○4歳～6歳の保護者では、「長く預かってくれること」「乳児から預かってくれること」といった回答が一定数みられます。

問2 宛名の子どもの年齢×問15-4 保育園を選ぶときの基準（抜粋）

単位：（％）

	有効回答数（件）	母親の職場（職場が自宅の場合は自宅）に近いこと	父親の職場（職場が自宅の場合は自宅）に近いこと	親の職場に関わらず、近所の子と同じ園に通わせたい	親の職場や近所の子に関わらず、地元小学校の通学区内に通わせたい	園舎の設備・衛生面を基準にして選ぶ	泥遊び・水遊びなど外遊びをしっかりとさせるかを選ぶ	土・水・草木などと触れ合い、野外散歩など自然体験をさせてくれること	長く預かってくれること	乳児のうちから預かってくれること	親の不安・子育ての相談を聞いてくれること	無回答
全体	481	39.5	13.1	20.4	41.0	22.9	15.6	26.6	14.1	15.8	15.8	0.8
6歳	54	27.8	13.0	31.5	44.4	18.5	18.5	18.5	11.1	16.7	9.3	－
5歳	54	40.7	16.7	22.2	44.4	16.7	5.6	18.5	20.4	16.7	13.0	－
4歳	61	36.1	8.2	24.6	41.0	23.0	18.0	21.3	14.8	11.5	18.0	1.6
3歳	59	39.0	8.5	22.0	49.2	10.2	16.9	22.0	8.5	10.2	10.2	－
2歳	61	41.0	11.5	14.8	47.5	29.5	18.0	31.1	8.2	16.4	19.7	1.6
1歳	93	46.2	14.0	17.2	34.4	28.0	15.1	38.7	18.3	15.1	17.2	1.1
0歳	99	40.4	17.2	16.2	34.3	27.3	16.2	27.3	15.2	21.2	19.2	1.0

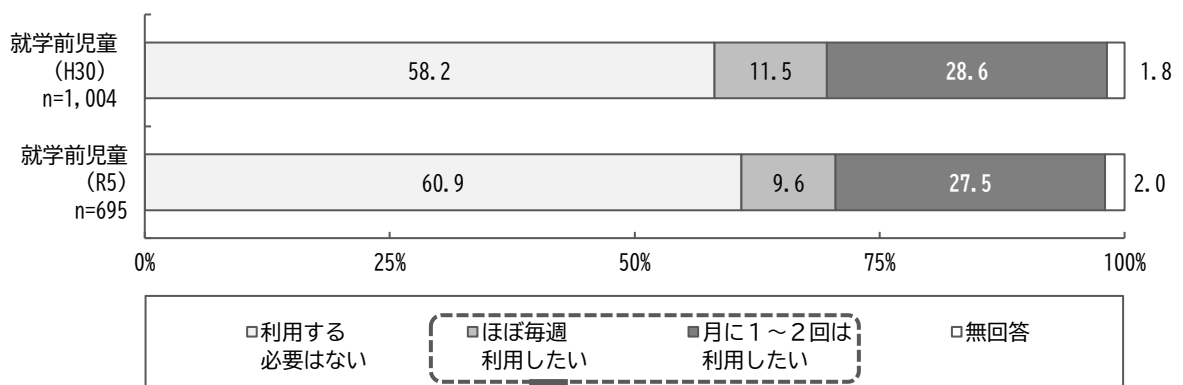
2 就学前児童の休日の定期的な教育・保育事業の利用希望

(1) 土曜日と日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

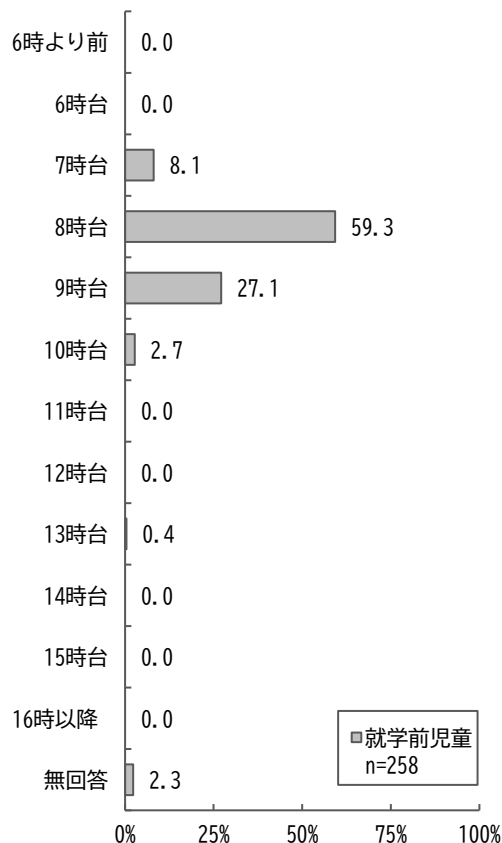
○土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向をみると、「利用する必要はない」(60.9%)が最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」(27.5%)となっています。前回調査と比較すると、「ほぼ毎週利用したい」、「月に1～2回は利用したい」が微減しています。

○利用希望者の利用したい時間帯をみると、開始時間は「8時台」(59.3%)、終了時間は「16時台」(29.5%)が最も高くなっています。

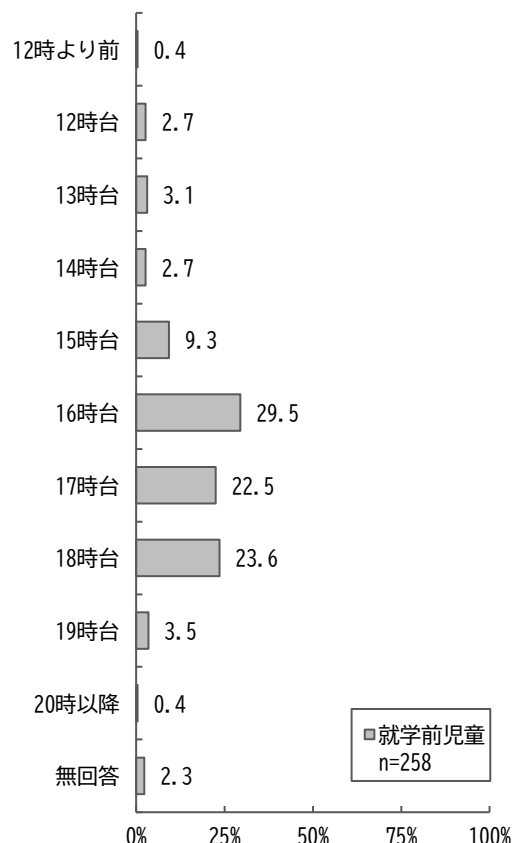
問19(1) 土曜日の利用希望（経年比較）



問19(1) 希望開始時間（R5）



問19(1) 希望終了時間（R5）

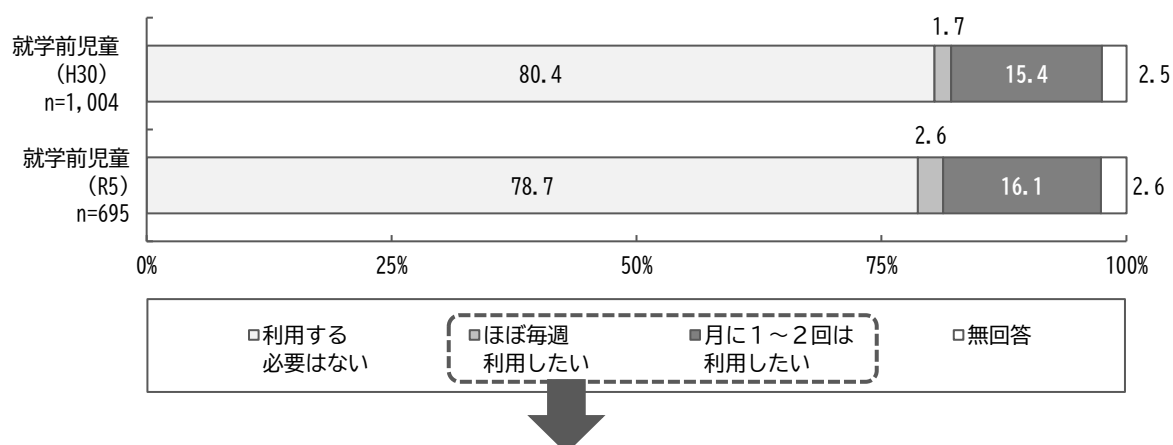




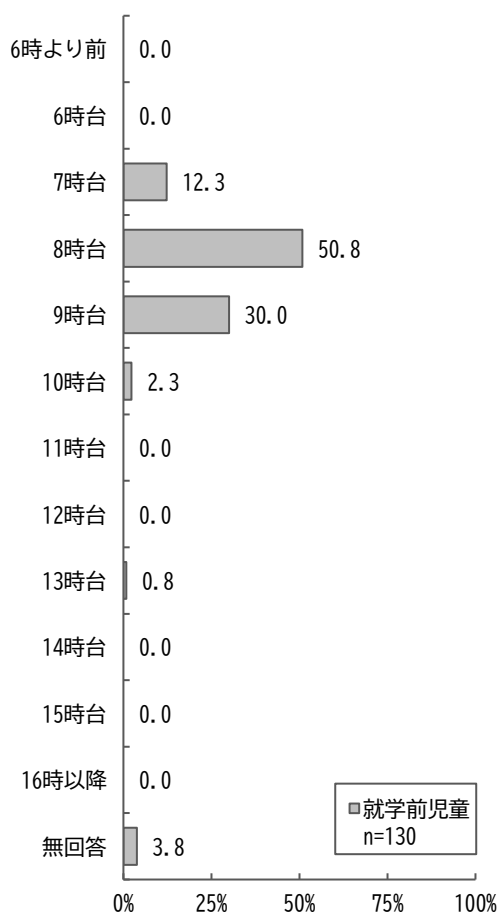
○日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向をみると、「利用する必要はない」(78.7%)が最も高くなっています。前回調査と比較すると、「ほぼ毎週利用したい」、「月に1～2回は利用したい」が微増しています。

○利用希望者の利用したい時間帯をみると、開始時間は「8時台」(50.8%)、終了時間は「18時台」(30.8%)が最も高くなっています。

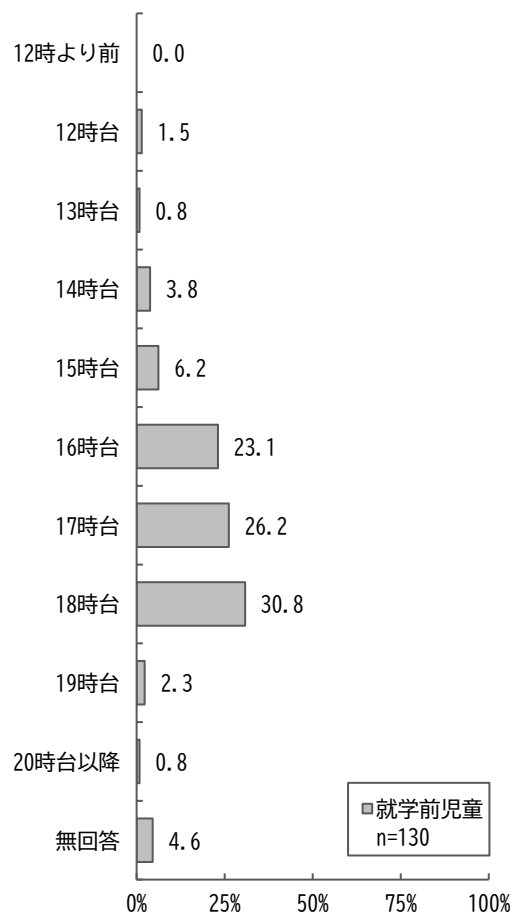
問19(2) 日曜・祝日の利用希望（経年比較）



問19(2) 希望開始時間（R5）



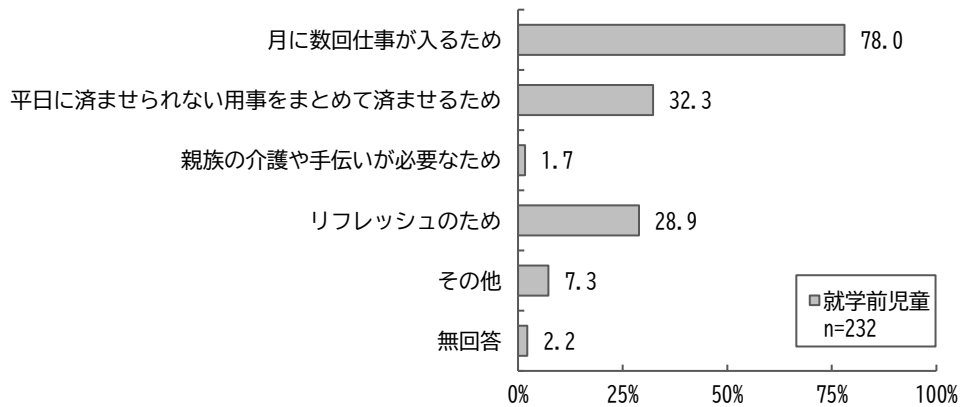
問19(2) 希望終了時間（R5）





○土曜日と日曜日において「月に1～2回は利用したい」と回答した方の理由をみると、「月に数回仕事が入るため」(78.0%)が最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(32.3%)、「リフレッシュのため」(28.9%)となっています。

問19-1 毎週ではなく「月に1～2回は利用したい」理由



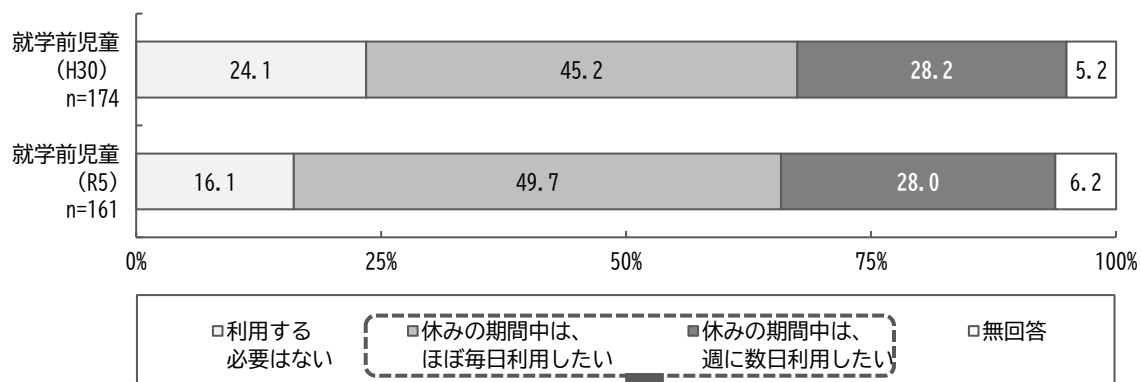


(3) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

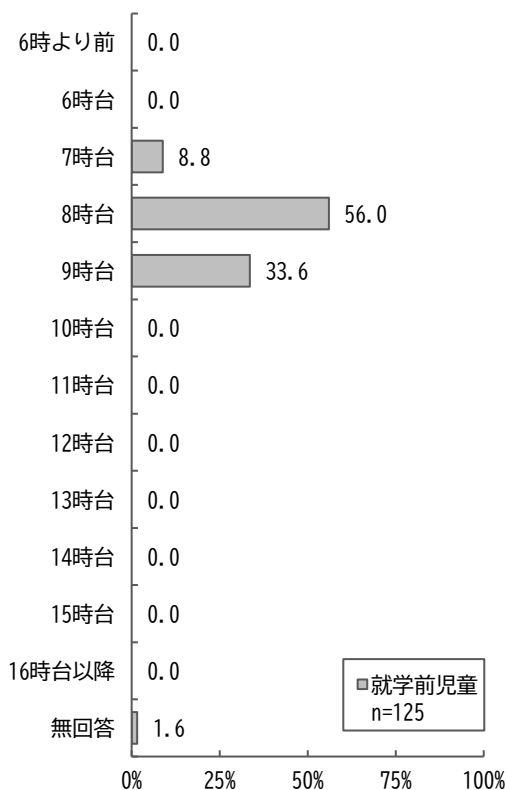
○幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業の利用意向をみると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(49.7%)が最も高く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」(28.0%)となっています。前回調査と比較すると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が4.5ポイント増加しています。

○利用希望者の利用したい時間帯をみると、開始時間は「8時台」(56.0%)、終了時間で「16時台」(39.2%)が最も高くなっています。

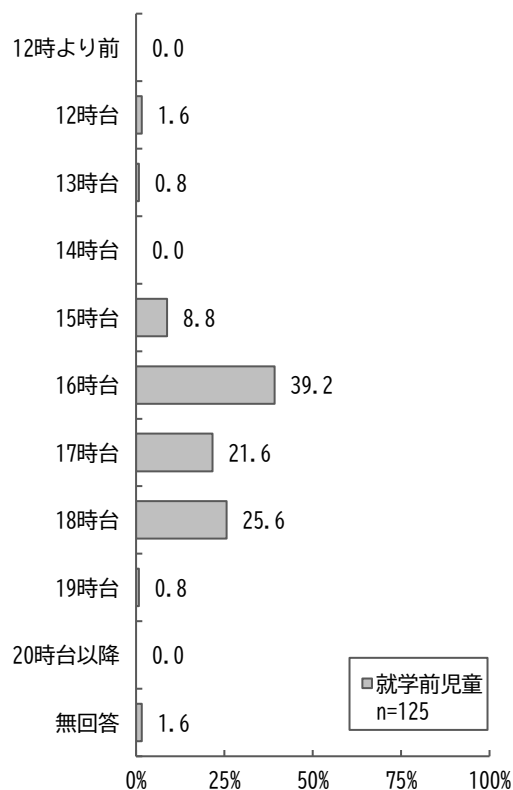
問20 長期休暇中の利用希望（認定こども園利用者【幼稚園利用者も含む】）（経年比較）



問20 希望開始時間 (R5)



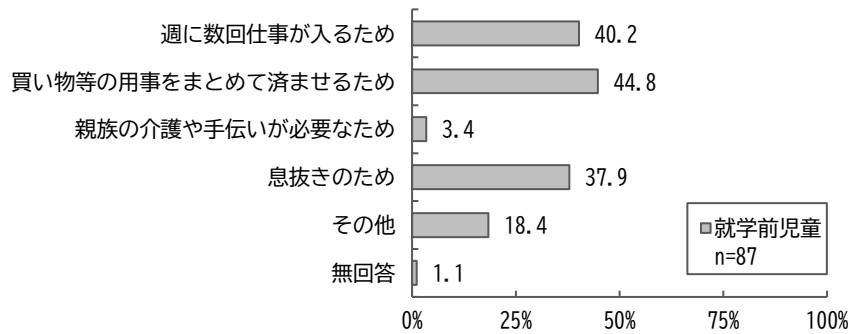
問20 希望終了時間 (R5)





○長期休暇中において「休みの期間中は、週に数日利用したい」と回答した方の理由をみると、就学前児童では、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」（44.8％）が最も高く、次いで「週に数回仕事が入るため」（40.2％）、「息抜きのため」（37.9％）となっています。

問20-1 「休みの期間中、週に数日利用したい」理由





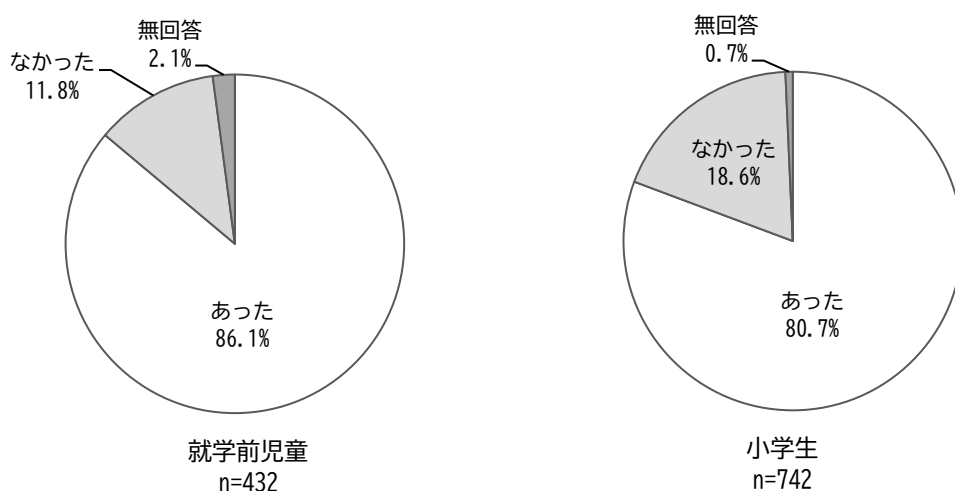
3 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ

(1) 病気やケガで通常の事業が利用できない時の対処について

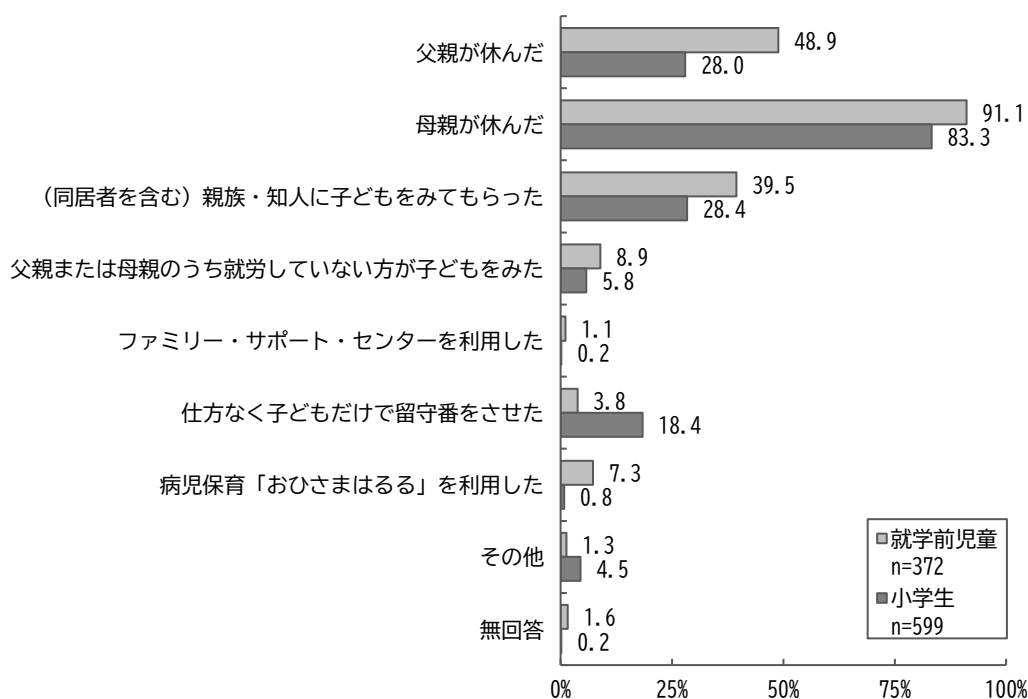
○病気やケガで通常の事業が利用できなかったことが、「あった」と回答した方をみると、就学前児童では86.1%、小学生では80.7%となっています。

○その際の対処方法をみると、就学前児童、小学生いずれも「母親が休んだ」(就学前児童91.1%、小学生83.3%)が最も高く、次いで就学前児童では「父親が休んだ」(48.9%)、小学生では「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」(28.4%)となっています。

問21[問12] 病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無

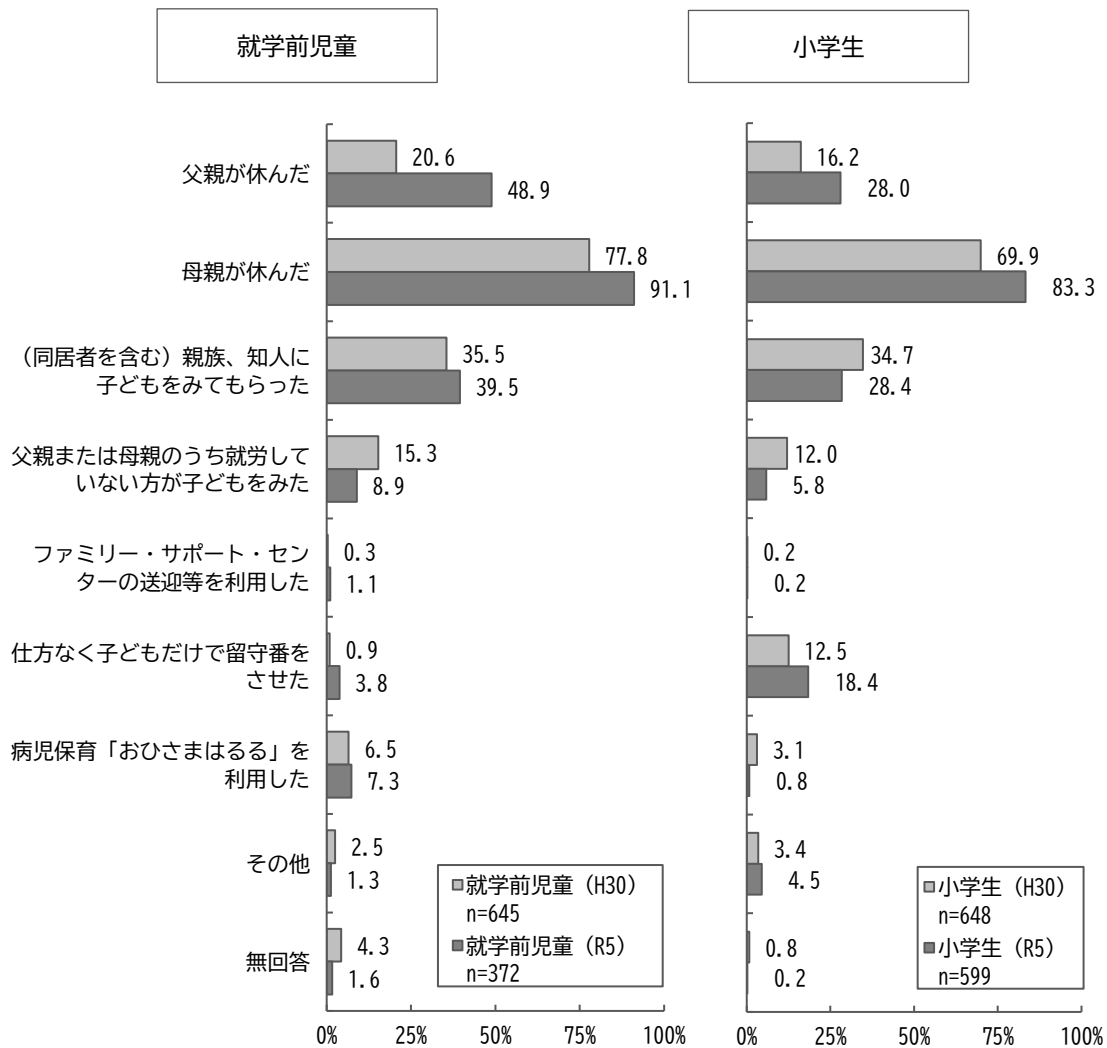


問21-1[問12-1] この1年間の対処方法



○病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の対処方法について前回調査と比較すると、就学前児童では、「父親が休んだ」が、28.3ポイント、「母親が休んだ」が13.3ポイント増加しています。小学生では「母親が休んだ」が13.4ポイント、「父親が休んだ」が11.8ポイント、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が5.9ポイント増加しています。

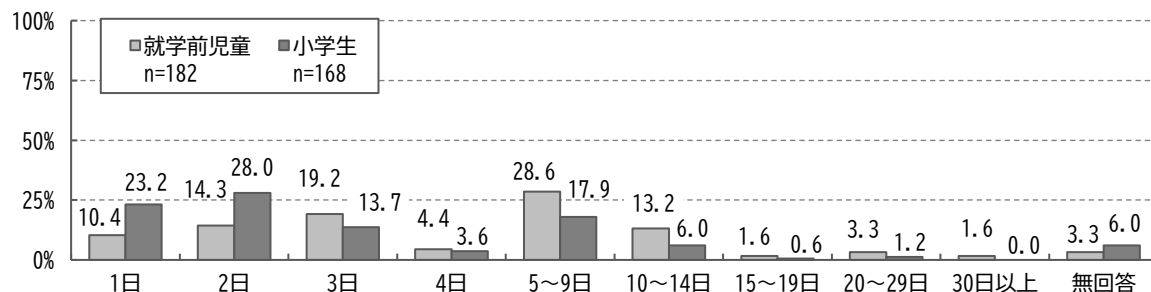
■ 問21-1[問12-1] この1年間の対処方法（経年比較）





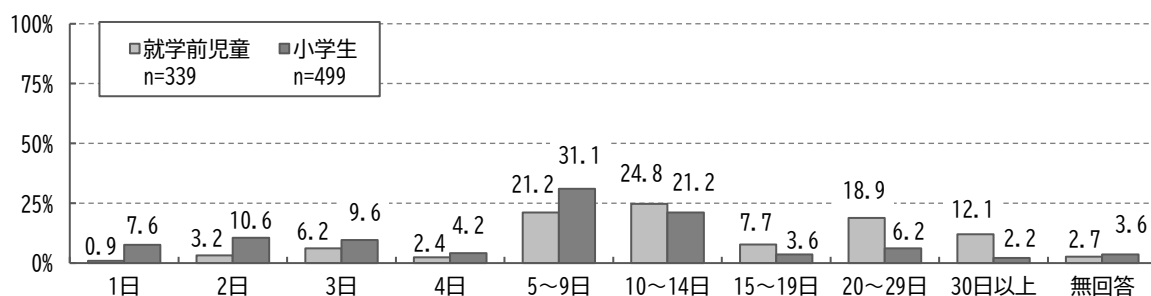
○対処方法別にこの1年間の対処日数をみると、「父親が休んだ日数」は、就学前児童では「5～9日」(28.6%)、小学生では「2日」(28.0%)が最も高くなっています。

問21-1.1[問12-1.1] 父親が休んだ日数



○「母親が休んだ日数」は、就学前児童では「10～14日」(24.8%)、小学生では「5～9日」(31.1%)が最も高くなっています。

問21-1.2[問12-1.2] 母親が休んだ日数



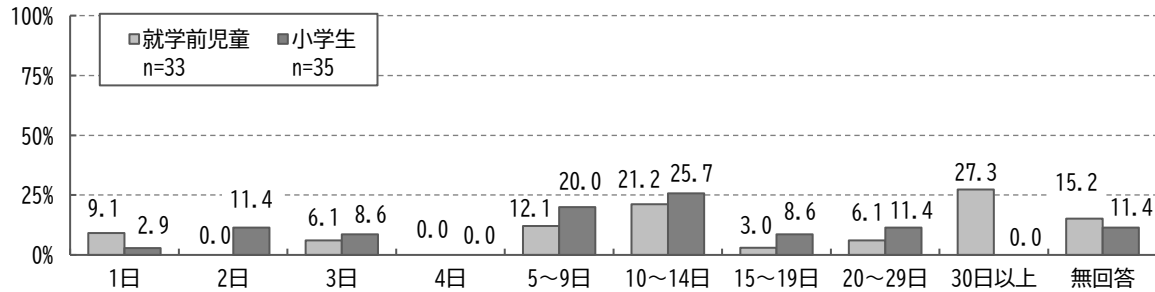
○「親族・知人に子どもをみてもらった日数」は、就学前児童、小学生いずれも「5～10日」(就学前児童25.9%、小学生23.5%)が最も高くなっています。

問21-1.3[問12-1.3] (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった日数



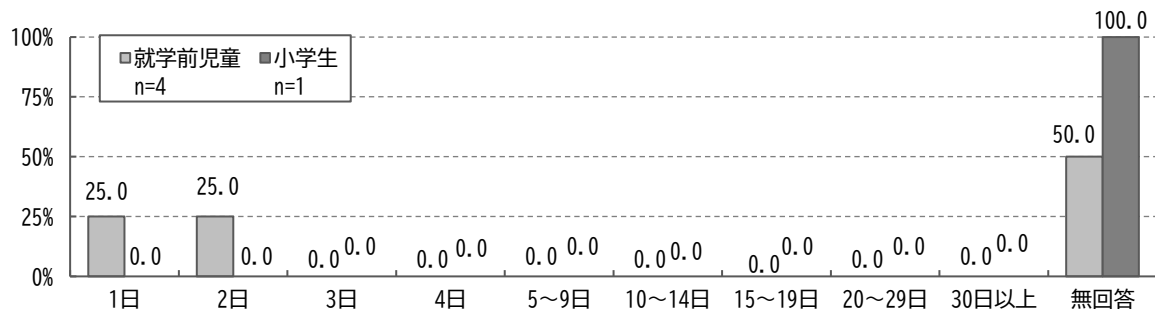
○「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた日数」は、就学前児童では「10～14日」（21.2%）、小学生では、「30日以上」（23.7%）となっています。

問21-1.4[問12-1.4] 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた日数



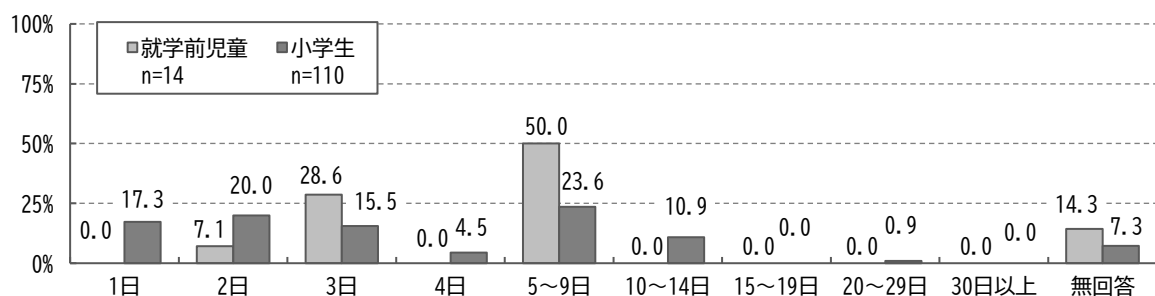
○「ファミリー・サポート・センターを利用した日数」は、以下のとおりです。

問21-1.5[問12-1.5] ファミリー・サポート・センターを利用した日数



○「仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数」は、就学前児童、小学生いずれも「5～9日」（就学前児童50.0%、小学生23.6%）が最も高くなっています。

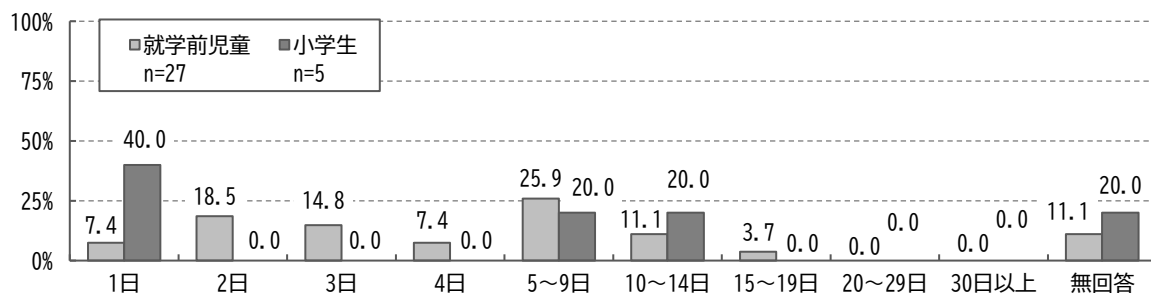
問21-1.6[問12-1.6] 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数





- 「病児保育「おひさまはるる」を利用した日数」は、就学前児童では、「5～9日」(25.9%)が最も高くなっています。

問21-1.7[問12-1.7] 病児保育「おひさまはるる」を利用した日数

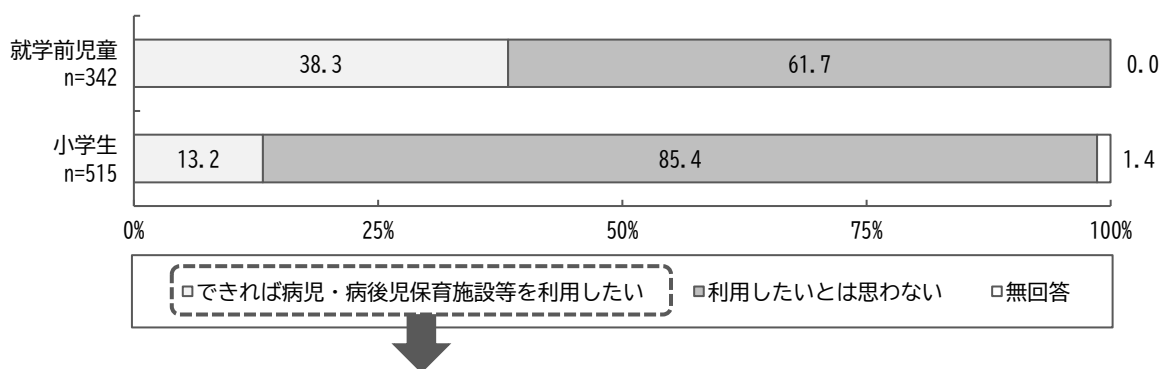


(2) 病児・病後児の保育施設の利用希望

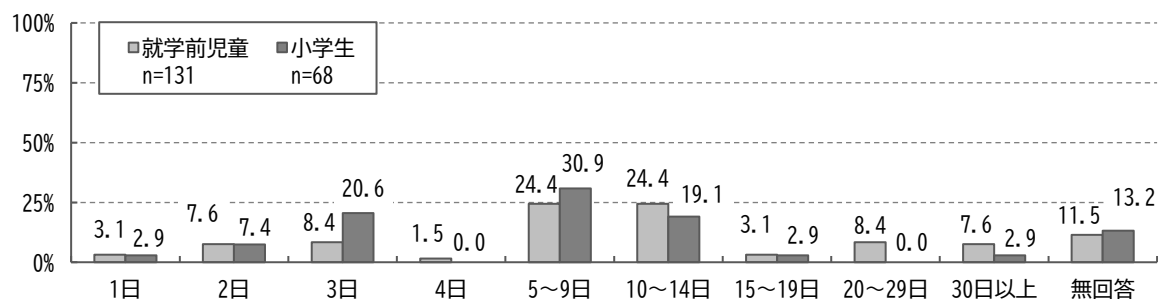
- 父親、母親が休んで対処した方の病児・病後児保育施設の利用意向をみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方は、就学前児童では38.3%、小学生では13.2%となっています。

- その際の年間利用希望日数をみると、就学前児童、小学生いずれも「5～9日」(就学前児童24.4%、小学生30.9%)が最も高くなっています。

問21-2[問12-2] 父親、母親が休んで対処した方の病児・病後児保育施設の利用意向



問21-2[問12-2] 病児・病後児保育施設の利用希望日数

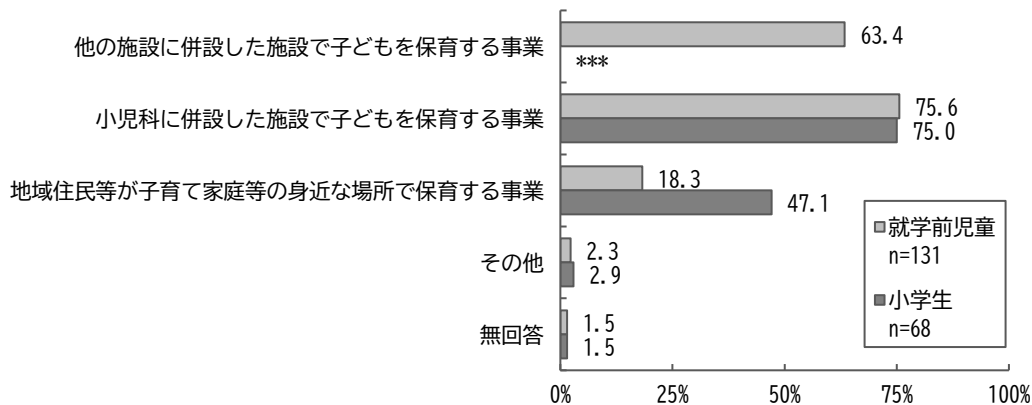




○子どもを預ける場合の望ましい事業形態をみると、就学前児童、小学生いずれも「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」（就学前児童75.6%、小学生75.0）が最も高くなっています。

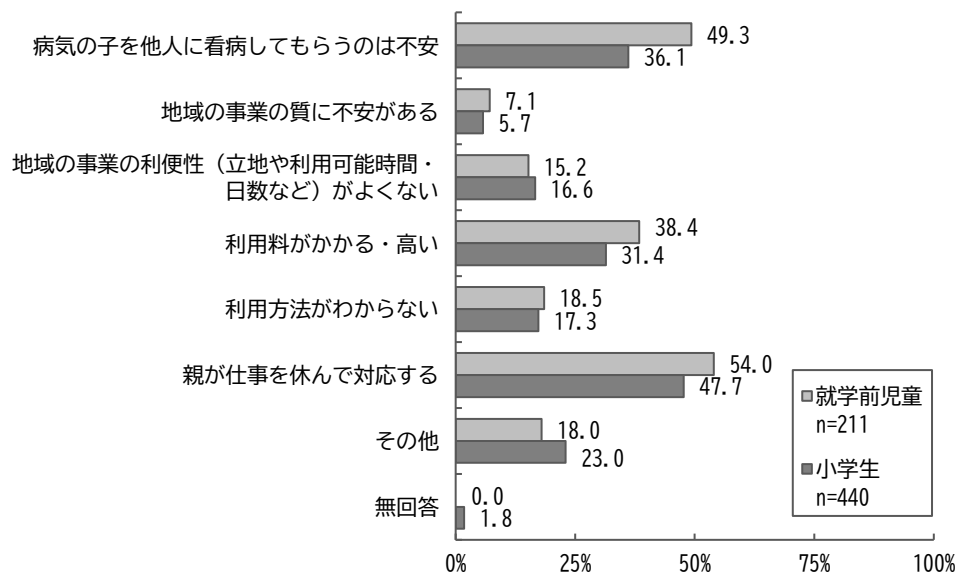
○病児・病後児保育施設等の利用意向がない方の理由をみると、就学前児童、小学生いずれも「親が仕事を休んで対応する」（就学前児童54.0%、小学生47.7%）が最も高くなっています。

問21-3[問12-3] 子どもを預ける場合の望ましい事業形態



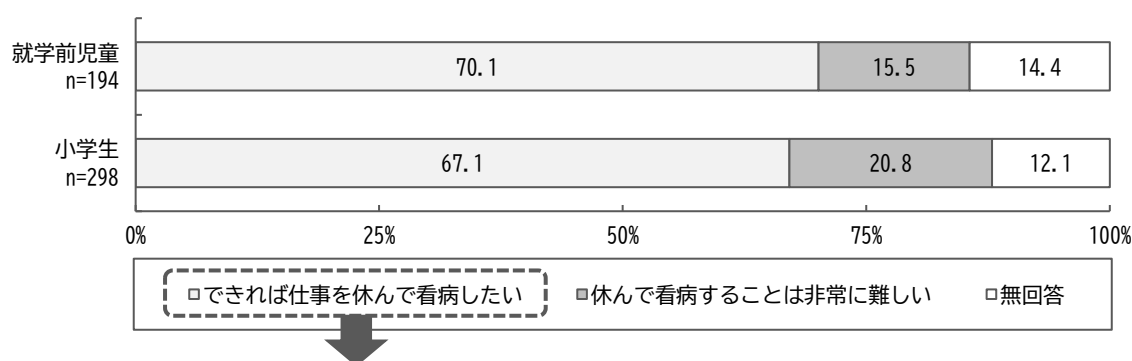
※「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」は就学前のみの選択肢

問21-4[問12-4] 病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由

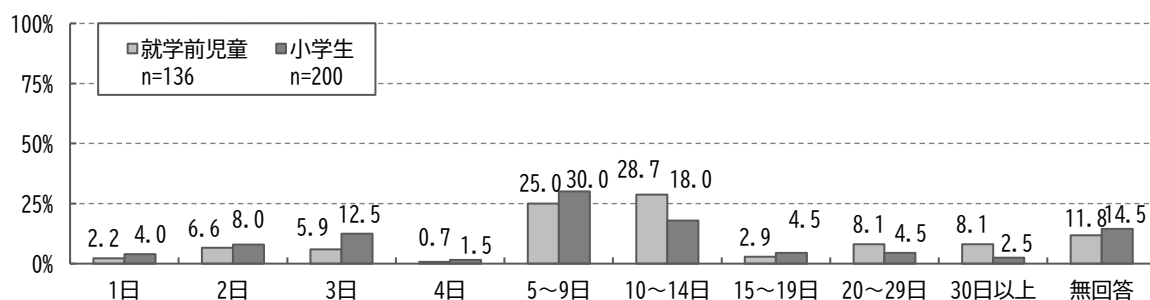


- 父母が休む以外の対処方法を選んだ方のうち、「できれば仕事を休んで看病したい」と回答した方をみると、就学前児童では70.1%、小学生では67.1%となっています。
- 「できれば仕事を休んで看病したい」と回答した方の年間希望日数は、就学前児童では「10～14日」(28.7%)、小学生では「5～9日」(30.0%)が最も高くなっています。
- 「休んで看病することは非常に難しい」と回答した方の理由をみると、就学前児童、では「休暇日数が足りないので休めない」(36.7%)、小学生では「子どもの看病を理由に休みがとれない」(33.9%)が最も高くなっています。また、「その他」が就学前児童では40.0%、小学生では41.9%となっていることから、選択項目以外にもさまざまな理由があることがうかがえます。

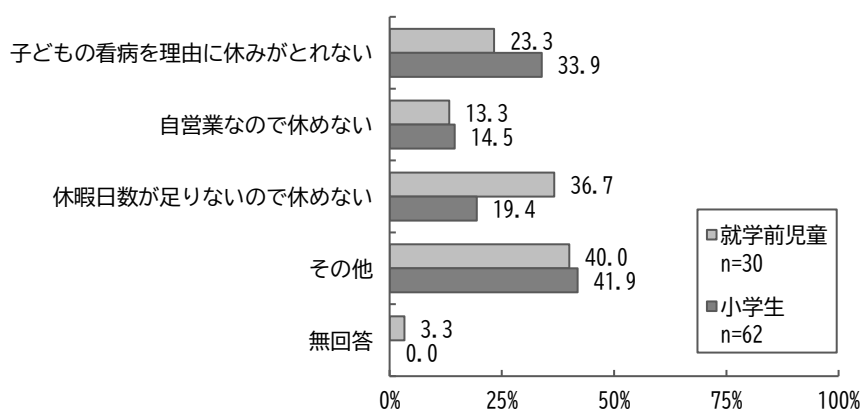
問21-5[問12-5] 「父母が仕事を休んで看病したい」意向



問21-5.1[問12-5.1] 「できれば仕事を休んで看病したい」希望日数（年間）



問21-6[問12-6] 「休んで看病することは非常に難しい」理由



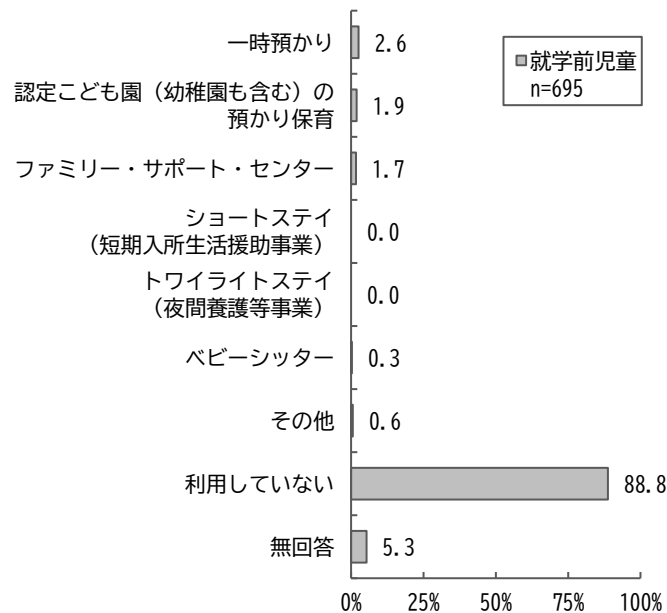
4 不定期の一時保育の利用について

(1) 就学前児童が不定期に利用している教育・保育事業の状況

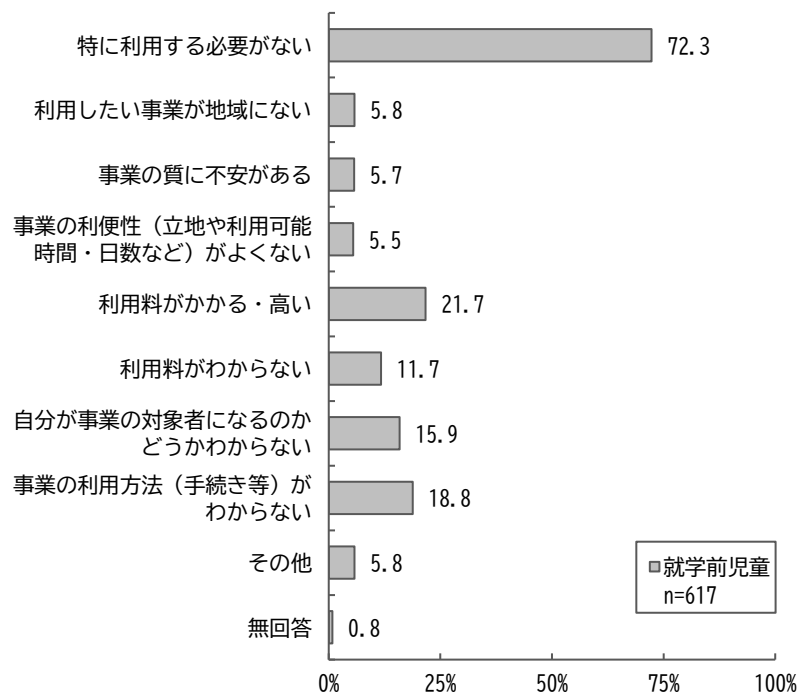
○不定期に利用している教育・保育事業の状況をみると、「利用していない」が88.8%となっています。利用している事業は「一時預かり」(2.6%)となっています。

○「利用していない」理由をみると「特に利用する必要がない」が72.3%となっています。

問22 不定期に利用している一時預かり事業



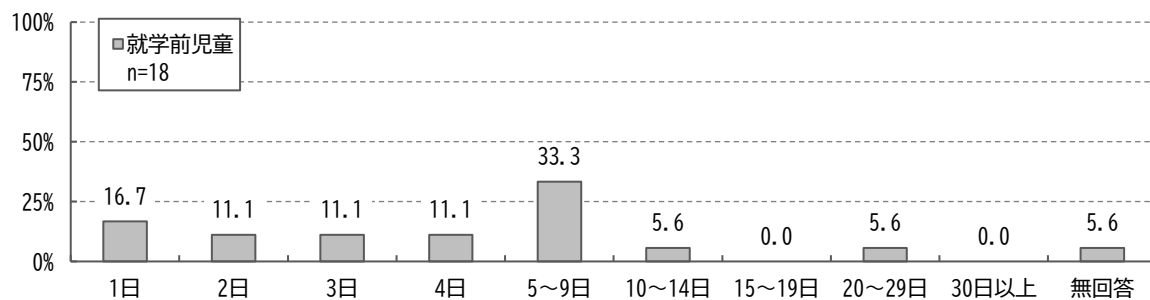
問22-1 現在利用していない理由



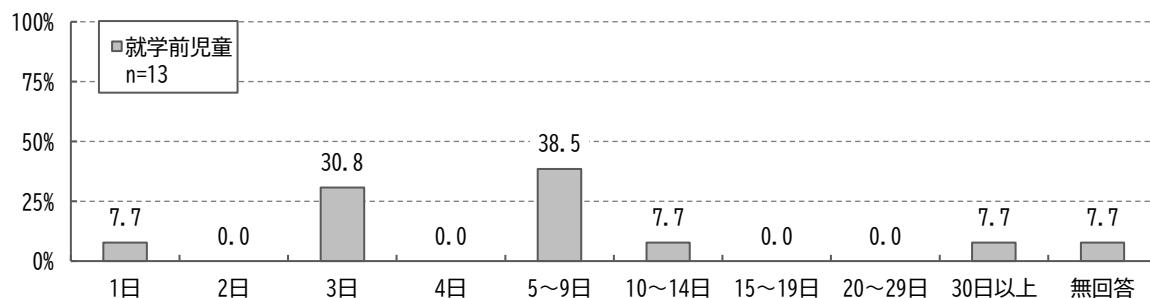


○事業別の年間利用日数は以下のとおりです。

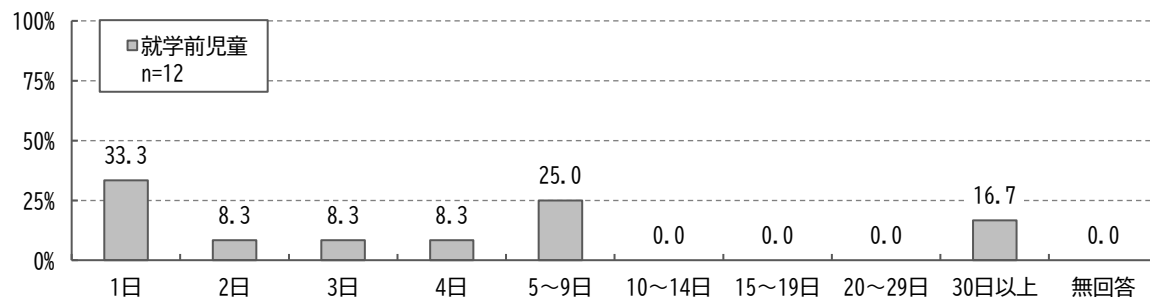
問22.1 「一時預かり」年間利用日数



問22.2 「認定こども園（幼稚園も含む）の預かり保育」年間利用日数



問22.3 「ファミリー・サポート・センター」年間利用日数

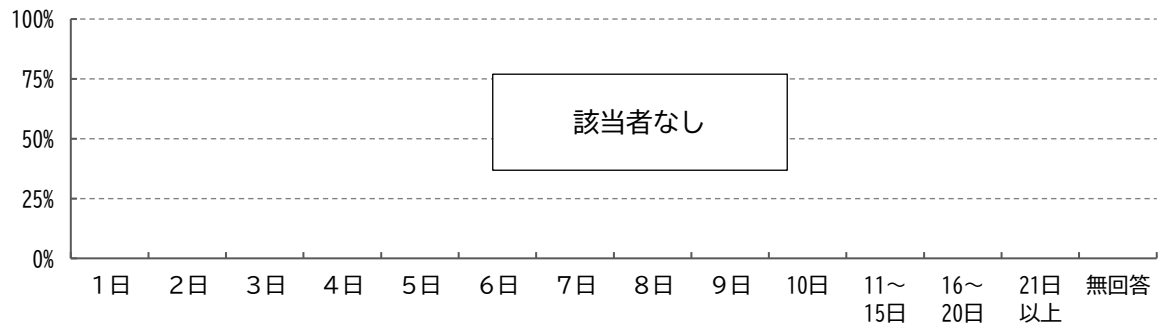


問22.4 「ショートステイ（短期入所生活援助事業）」年間利用日数

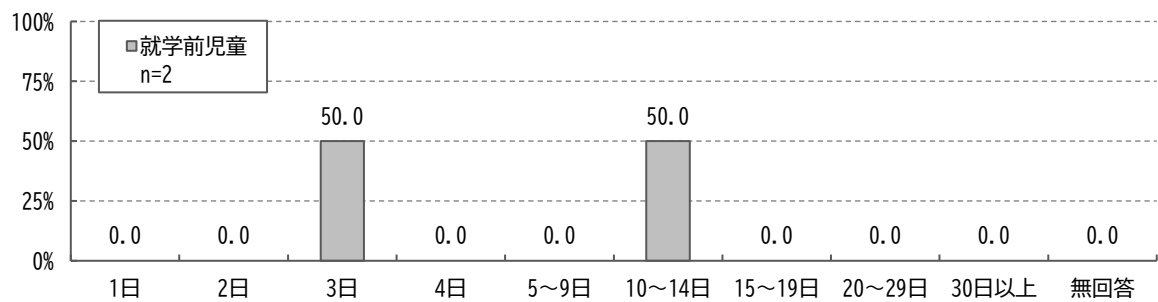




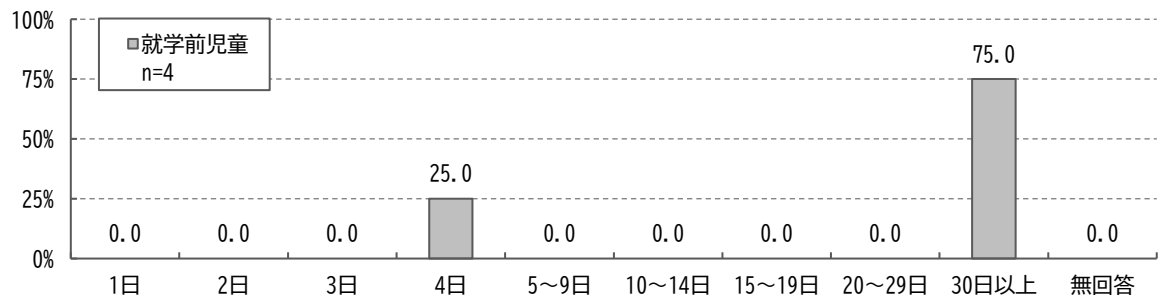
問22.5 「トワイライトステイ（夜間養護等事業）」年間利用日数



問22.6 「ベビーシッター」年間利用日数



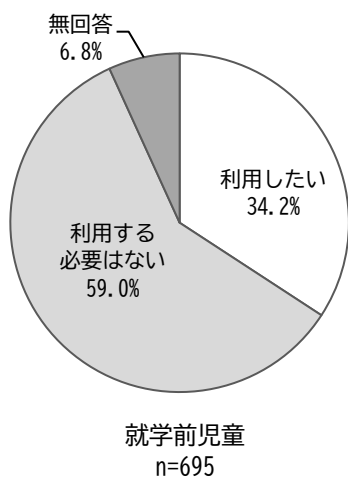
問22.7 「その他」年間利用日数



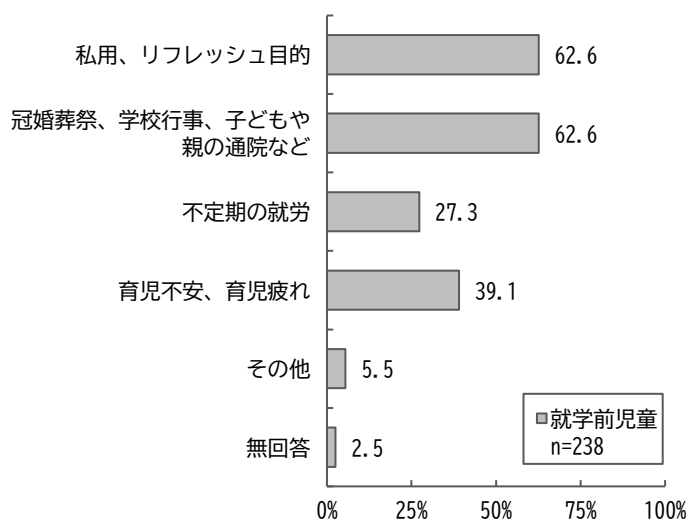


- 一時保育事業の利用希望をみると、「利用したい」が34.2%となっています。
- 一時保育事業の利用目的をみると、「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的」「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」（各62.6%）が最も高くなっています。

問23 一時保育事業の利用希望



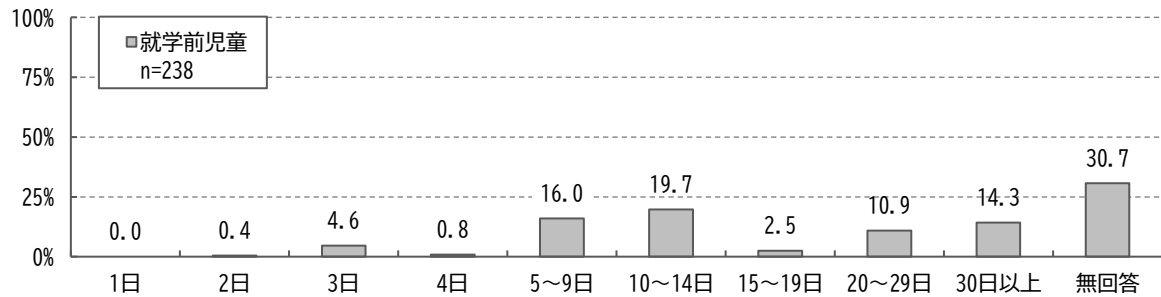
問23 利用したい目的





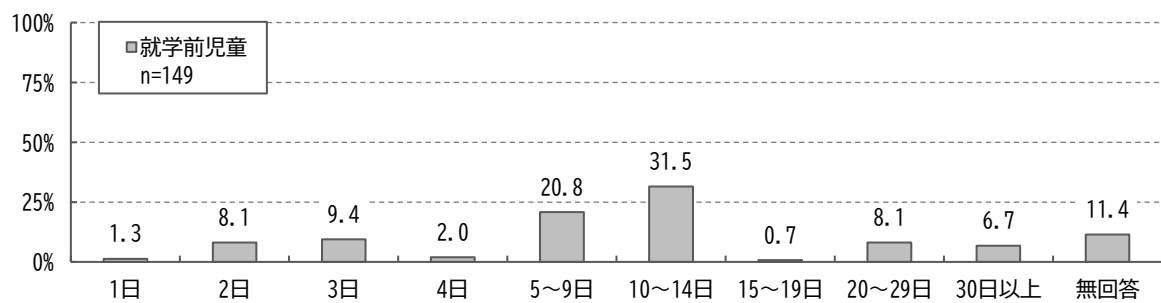
○事業の利用希望年間合計日数をみると、「10～14日」（19.7%）が最も高くなっています。

問23.1 事業の利用希望年間合計日数



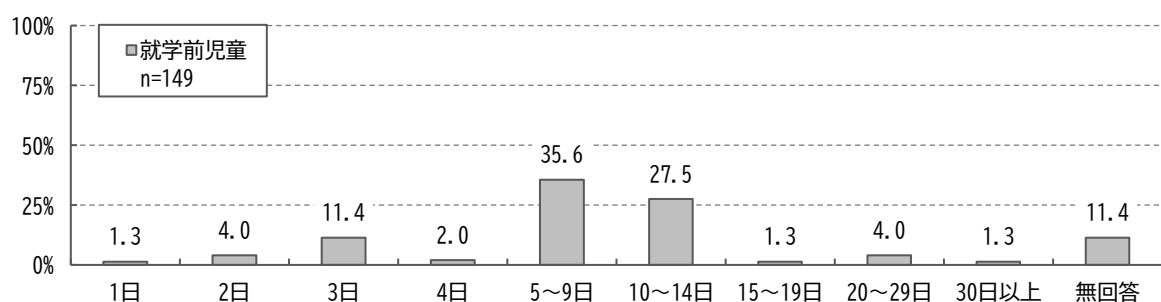
○目的ごとの年間利用希望日数をみると、「私用、リフレッシュ目的」では「10～14日」（31.5%）が最も高くなっています。

問23.① 私用、リフレッシュ目的



○「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」では「5～9日」（35.6%）が最も高くなっています。

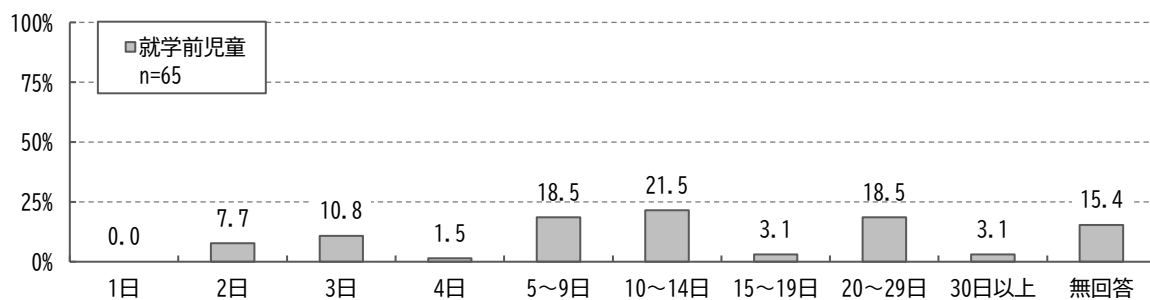
問23.② 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等





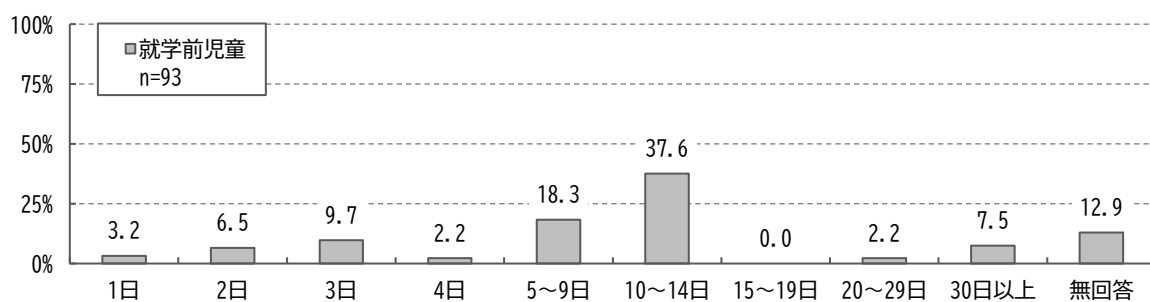
○「不定期の就労」では「10～14日」(21.5%)が最も高くなっています。

問23.③ 不定期の就労



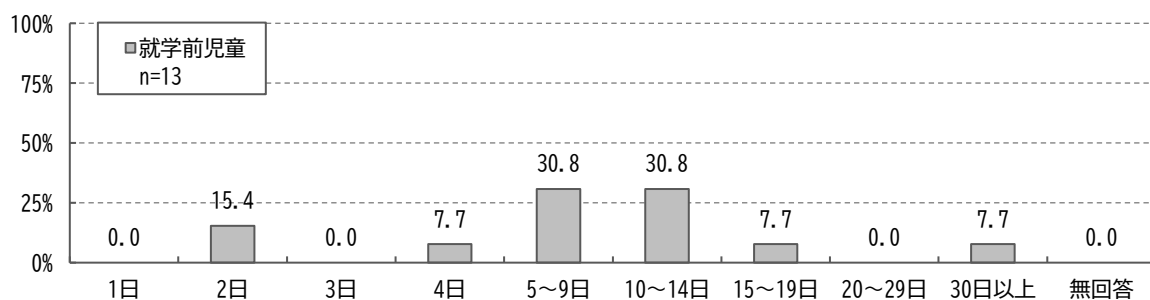
○「育児不安、育児疲れ」では「10～14日」(37.6%)が最も高くなっています。

問23.④ 育児不安、育児疲れ



○「その他」では「5～9日」「10～14日」(各30.8%)が最も高くなっています。

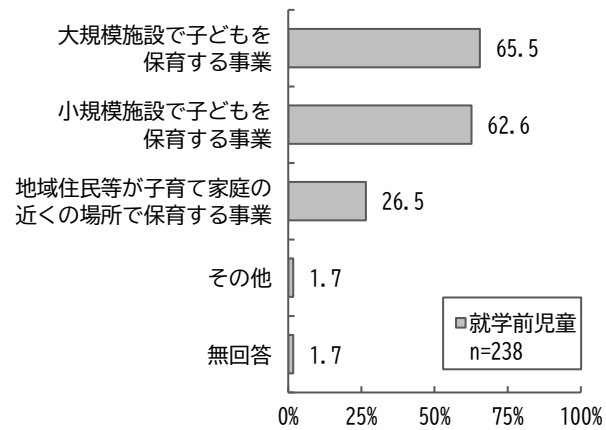
問23.⑤ その他





○一時保育として子どもを預ける場合の望ましい事業形態をみると、「大規模施設で子どもを保育する事業」(65.5%)が最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」(62.6%)となっています。

問23-1 子どもを預ける場合の望ましい事業形態

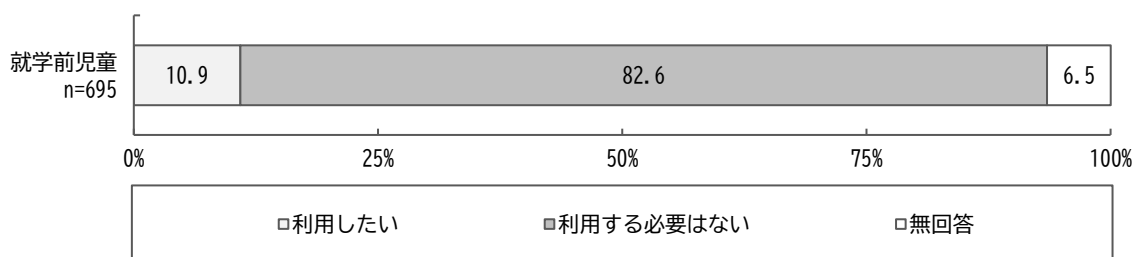




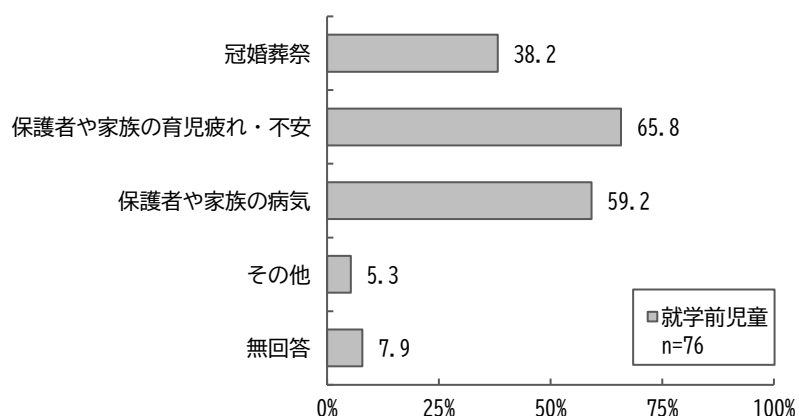
(2) 宿泊を伴う一時保育の利用状況

- 保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預ける事業の利用希望をみると、「利用したい」が10.9%となっています。
- 事業を利用したい理由についてみると、「保護者や家族の育児疲れ・不安」(65.8%)が最も高く、次いで「保護者や家族の病気」(59.2%)となっています。
- 利用希望年間合計日数をみると、「5～9泊」(19.7%)が最も高くなっています。

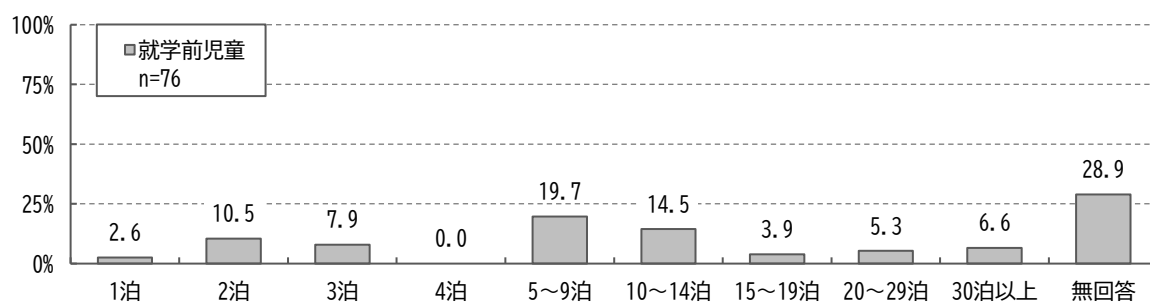
問24 保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預ける事業の利用希望



問24.1 利用したい理由

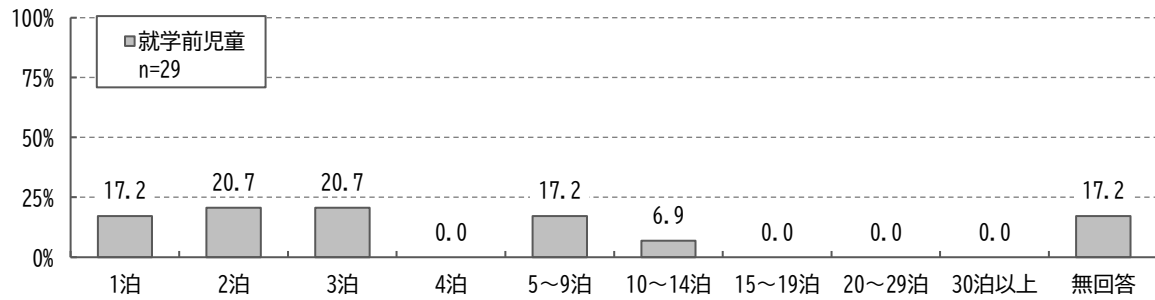


問24.1 利用希望年間合計日数

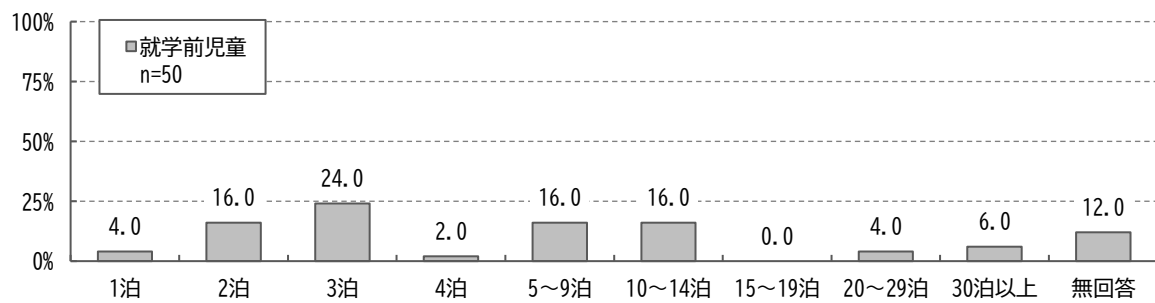




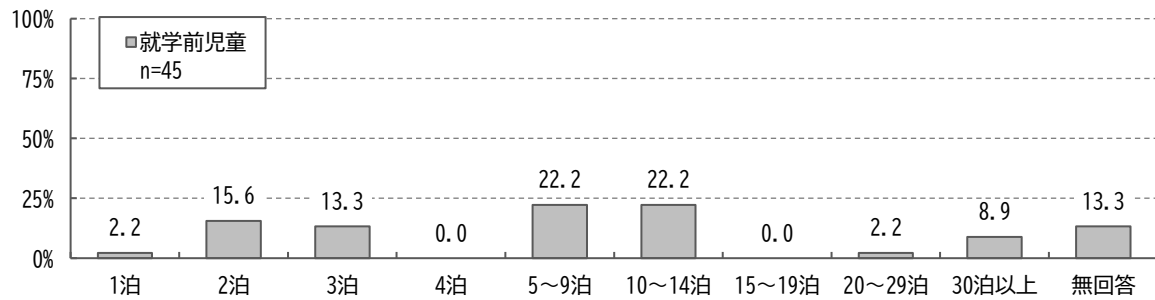
問24. ① 冠婚葬祭



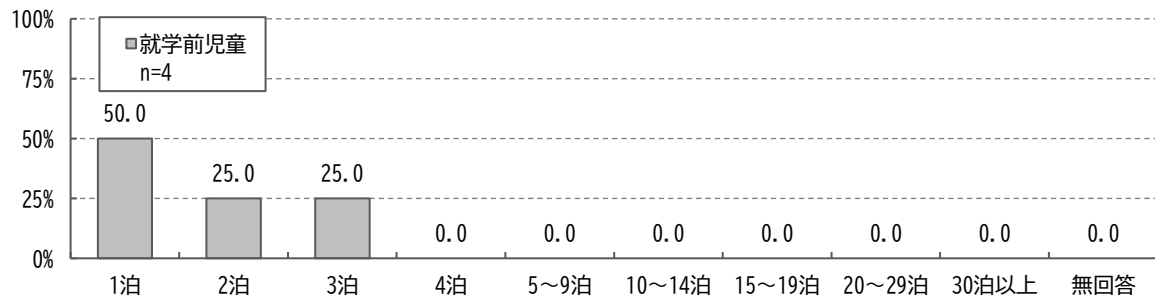
問24. ② 保護者や家族の育児疲れ・不安



問24. ③ 保護者や家族の病気



問24. ④ その他





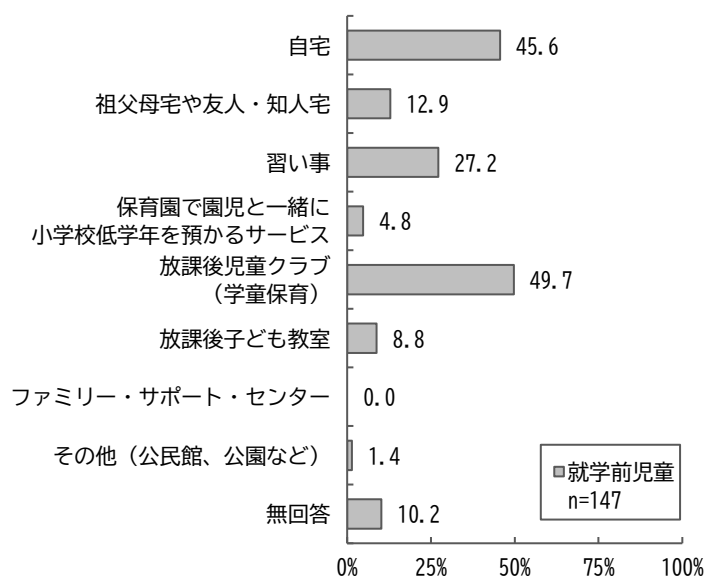
5 放課後の過ごし方について

(1) 平日の放課後に過ごさせたい場所

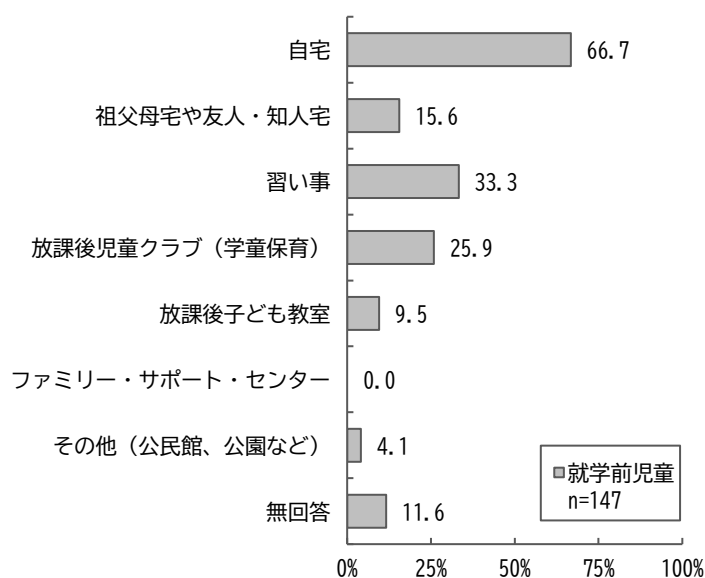
①就学前児童

○就学前児童保護者に小学校就学後の放課後の過ごし方の希望についてみると、低学年のうち「放課後児童クラブ(学童保育)」(49.7%)が最も高く、次いで「自宅」(45.6%)となっています。高学年になると「自宅」(66.7%)が最も高く、次いで「習い事」(33.3%)、「放課後児童クラブ(学童保育)」(25.9%)となっています。

問25 放課後の過ごし方の希望 (小学校低学年)



問26 放課後の過ごし方の希望 (小学校高学年)

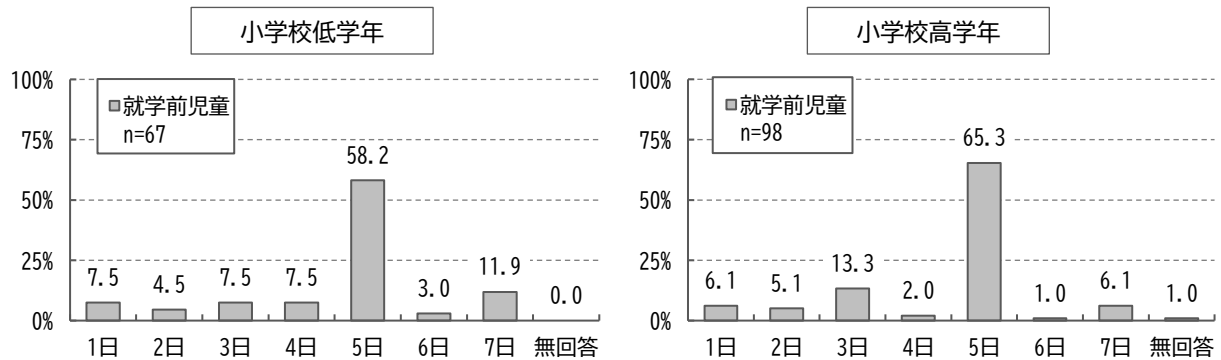


※「小学校低学年」は1～3年生、「小学校高学年」は4～6年生です。



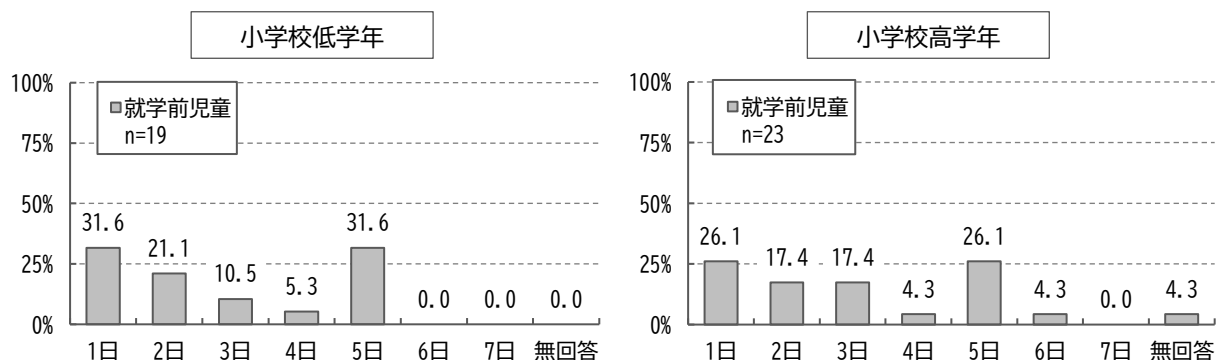
○保護者が放課後を過ごさせたい場所別に1週当たりの希望日数をみると、「自宅」では、低学年時期、高学年時期いずれも「5日」（低学年時期58.2%、高学年時期65.3%）が最も高くなっています。

問25.1・問26.1 「自宅」希望日数（1週当たり）



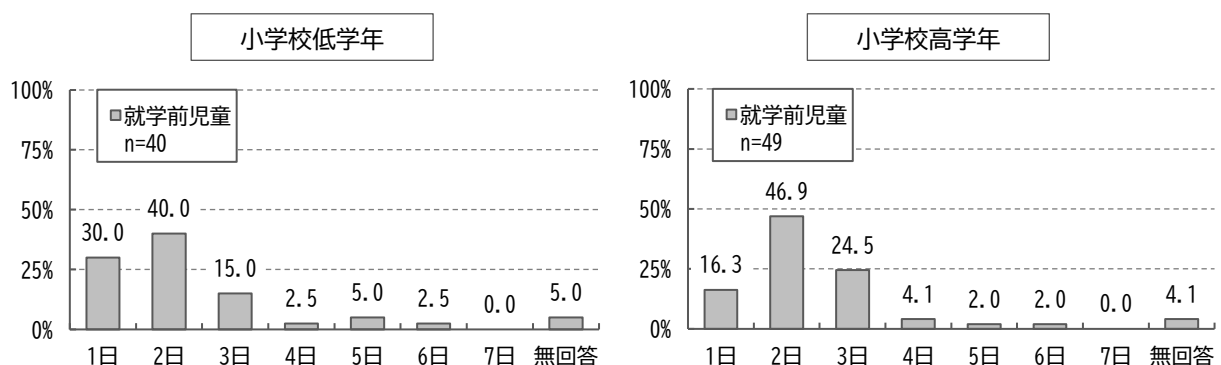
○「祖父母宅や友人、知人宅」では、低学年時期、高学年時期いずれも「1日」「5日」（低学年時期各31.6%、高学年時期各26.1%）が最も高くなっています。

問25.2・問26.2 「祖父母宅や友人、知人宅」希望日数（1週当たり）



○「習い事」では、低学年時期低学年時期、高学年時期いずれも「2日」（低学年時期40.0%、高学年時期46.9%）が最も高くなっています。

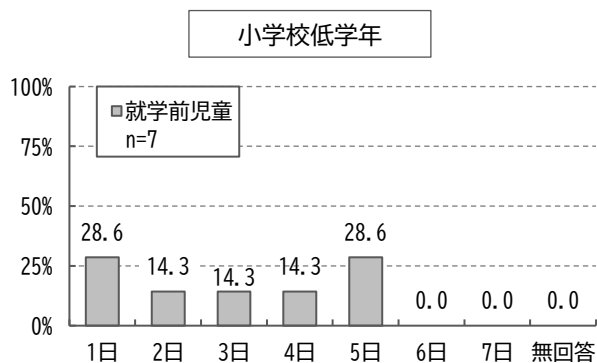
問25.3・問26.3 「習い事」希望日数（1週当たり）





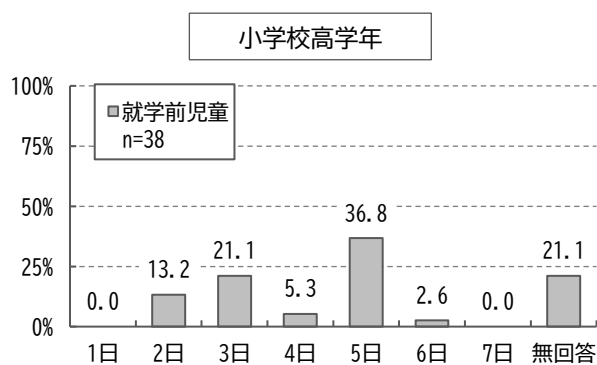
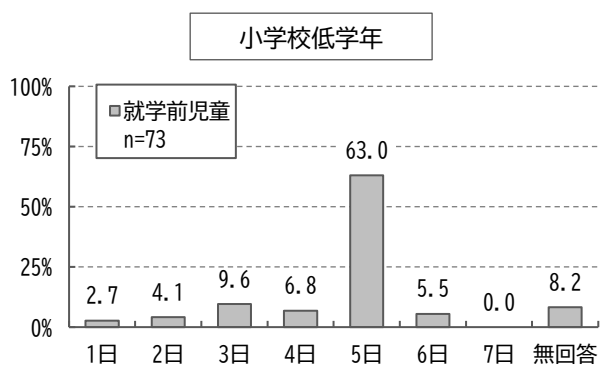
- 「保育園で園児と一緒に小学校低学年を預かるサービス」では、低学年時期「1日」「5日」（各28.6%）が最も高くなっています。

問25.4 「保育園で園児と一緒に小学校低学年を預かるサービス」希望日数（1週当たり）



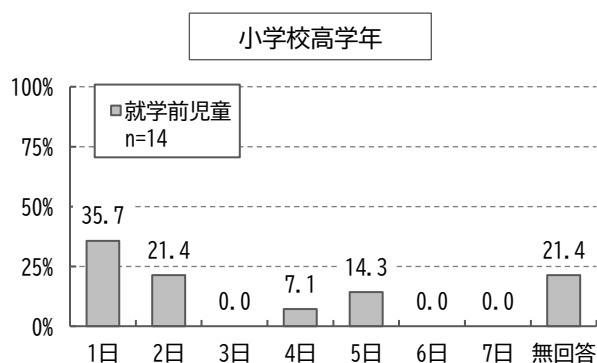
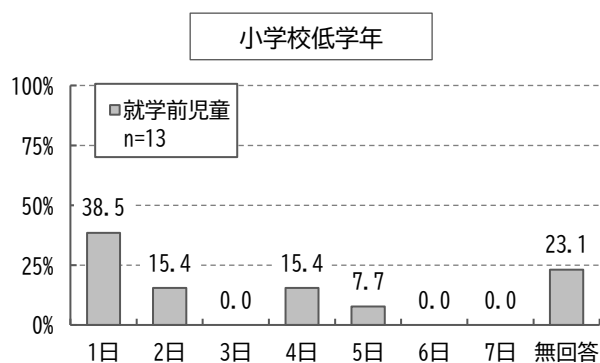
- 「放課後児童クラブ（学童保育）」では、低学年時期、高学年時期いずれも「5日」（低学年時期63.0%、高学年時期36.8%）が最も高くなっています。

問25.5・問26.4 「放課後児童クラブ（学童保育）」希望日数（1週当たり）



- 「放課後子ども教室」では、低学年時期、高学年時期いずれも「1日」（低学年時期38.5%、高学年時期35.7%）が最も高くなっています。

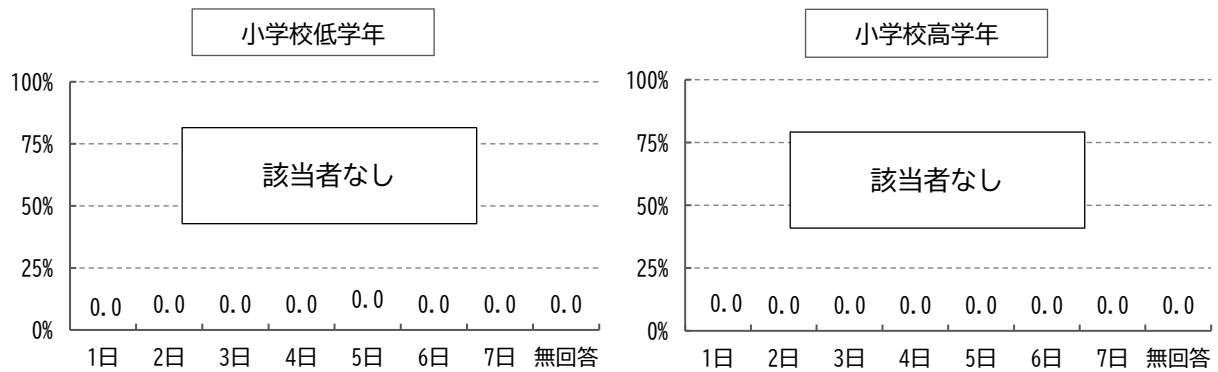
問25.6・問26.5 「放課後子ども教室」希望日数（1週当たり）





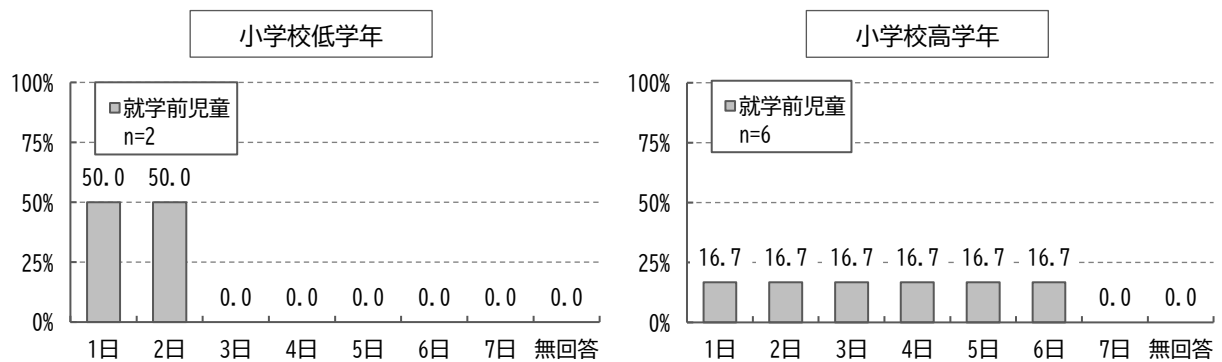
○「ファミリー・サポート・センター」は、希望者がいません。

問25.7・問26.6 「ファミリー・サポート・センター」希望日数（1週当たり）



○「その他（公民館、公園など）」は、以下のとおりです。

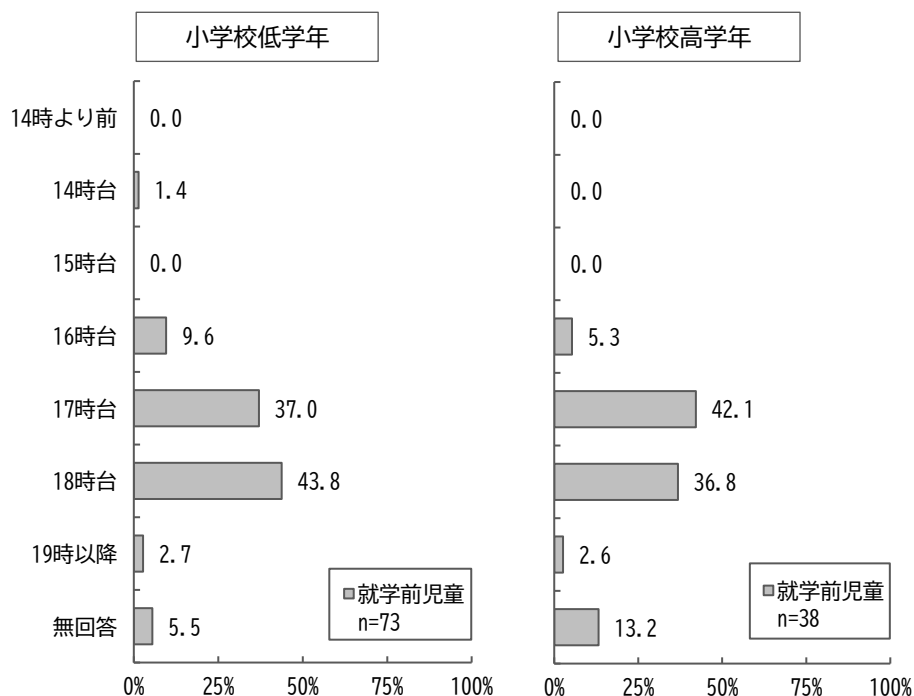
問25.8・問26.7 「その他（公民館・公園など）」希望日数（1週当たり）





○放課後児童クラブの下校時からの利用希望時間帯をみると、低学年時期では「18時台」(43.8%)、高学年時期では「17時台」(42.1%)が最も高くなっています。

問25.5・問26.4 「放課後児童クラブ」下校時からの利用希望時間

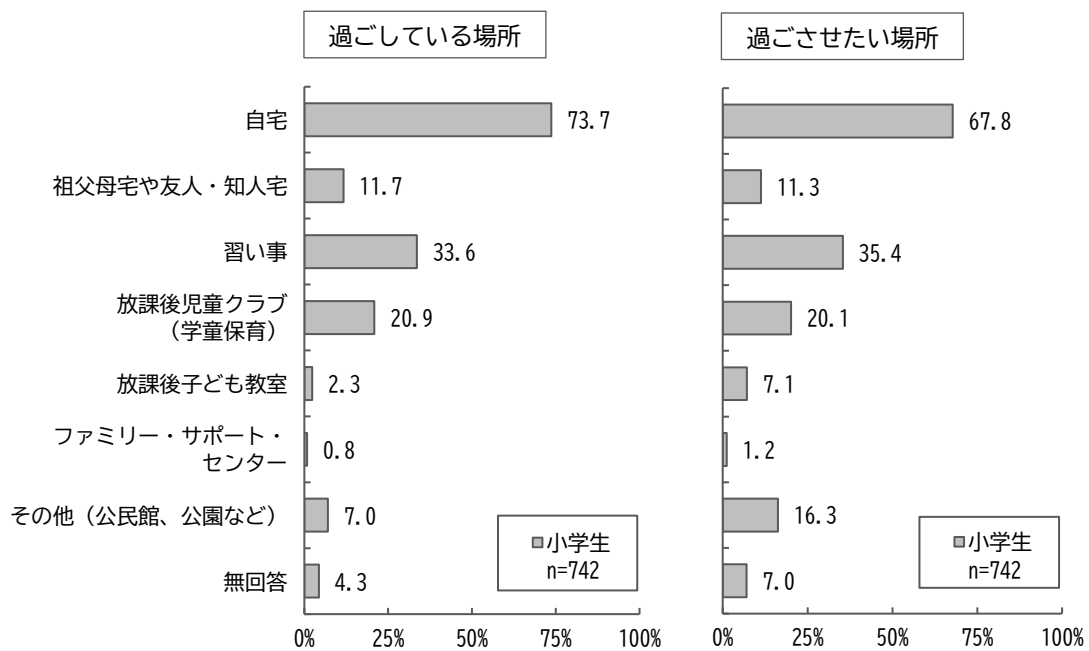


②小学生

○小学生が放課後に過ごしている場所についてみると、「自宅」(73.7%)が最も高く、次いで「習い事」(33.6%)、「放課後児童クラブ(学童保育)」(20.9%)となっています。

○放課後に過ごさせたい場所についてみると、「自宅」(67.8%)が最も高く、次いで「習い事」(35.4%)、「放課後児童クラブ(学童保育)」(20.1%)となっています。

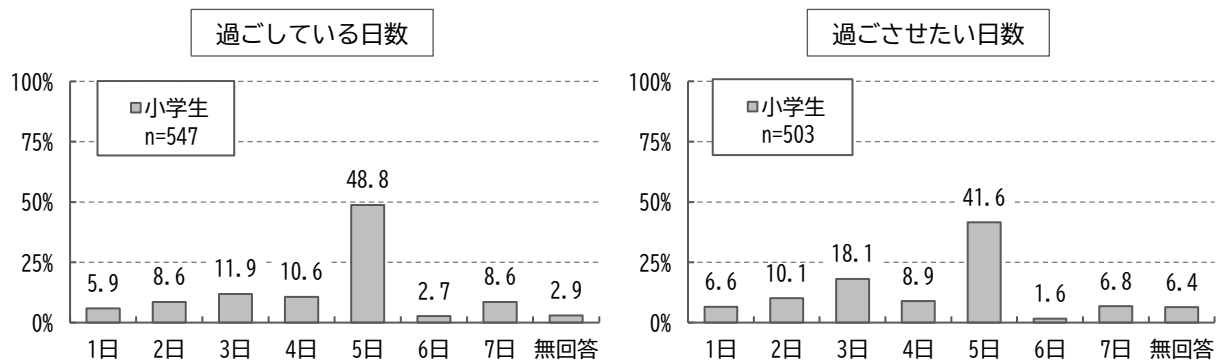
〔問13・問14〕 放課後の過ごし方の現状と希望





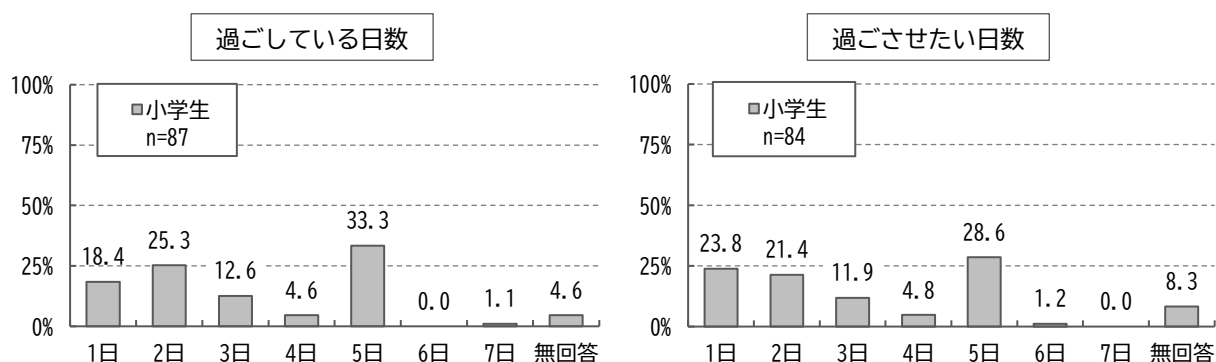
○場所別に1週当たりの日数をみると、「自宅」では、過ごしている日数、過ごさせたい日数いずれも「5日」（過ごしている日数48.8%、過ごさせたい日数41.6%）が最も高くなっています。

〔問13.1・問14.1〕 「自宅」日数（1週当たり）



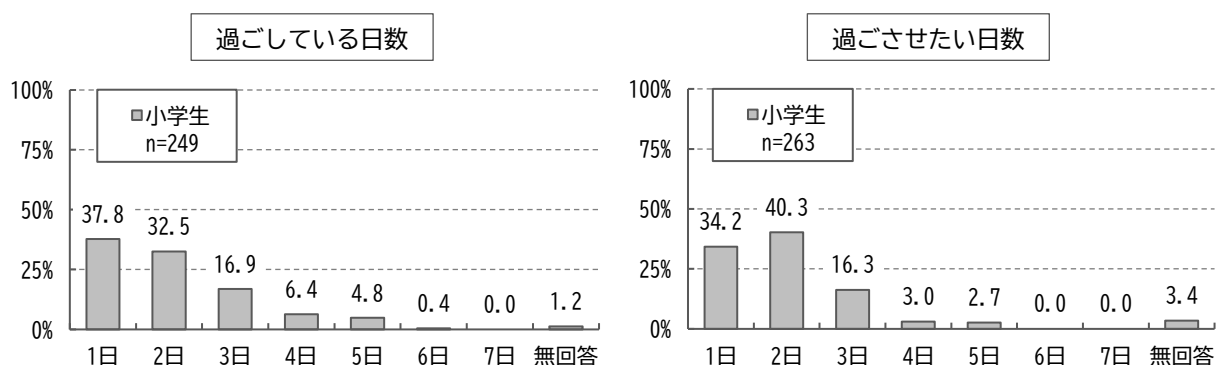
○「祖父母宅や友人、知人宅」では、過ごしている日数、過ごさせたい日数いずれも「5日」（過ごしている日数33.3%、過ごさせたい日数28.6%）が最も高くなっています。

〔問13.2・問14.2〕 「祖父母宅や友人、知人宅」日数（1週当たり）



○「習い事」では、過ごしている日数は「1日」（37.8%）、過ごさせたい日数は「2日」（40.3%）が最も高くなっています。

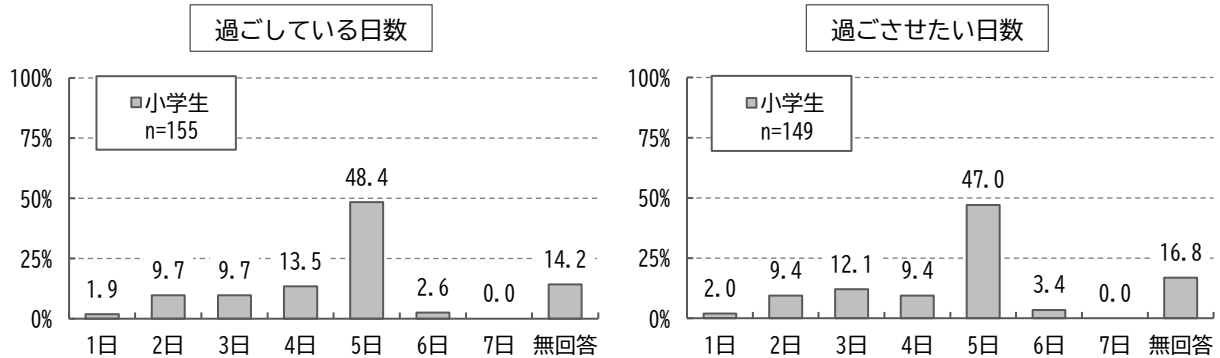
〔問13.3・問14.3〕 「習い事」希望日数（1週当たり）





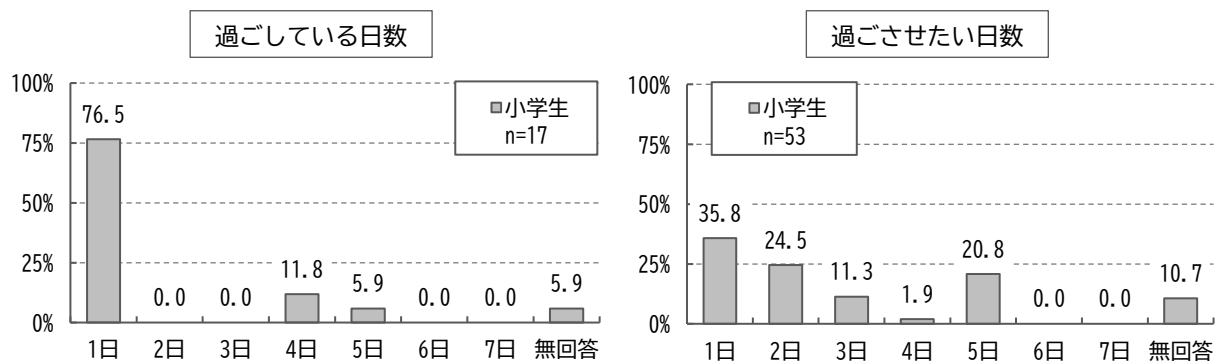
○「放課後児童クラブ（学童保育）」では、過ごしている日数、過ごさせたい日数いずれも「5日」（過ごしている日数48.4%、過ごさせたい日数47.0%）が最も高くなっています。

〔問13.4・問14.4〕 「放課後児童クラブ（学童保育）」日数（1週当たり）



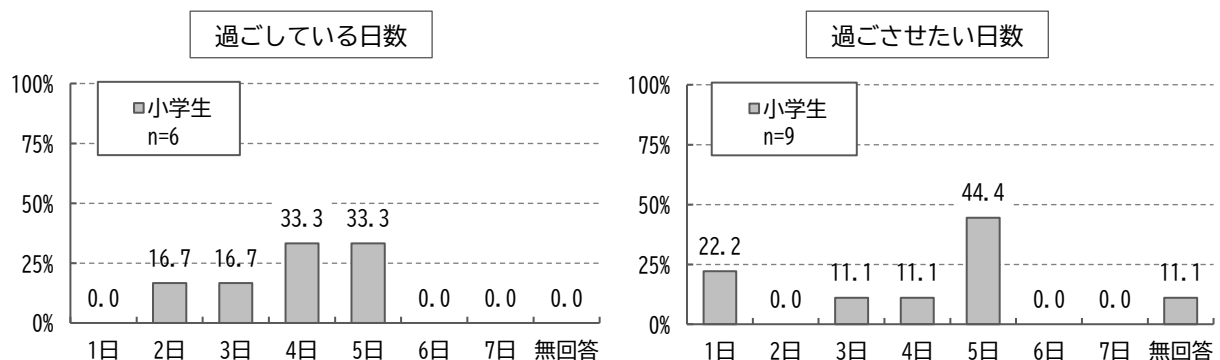
○「放課後子ども教室」では、過ごしている日数、過ごさせたい日数いずれもは「1日」（過ごしている日数76.5%、過ごさせたい日数35.8%）が最も高くなっています。

〔問13.5・問14.5〕 「放課後子ども教室」日数（1週当たり）



○「ファミリー・サポート・センター」では、過ごしている日数は「4日」「5日」（各33.3%）、過ごさせたい日数は「5日」（44.4%）が最も高くなっています。

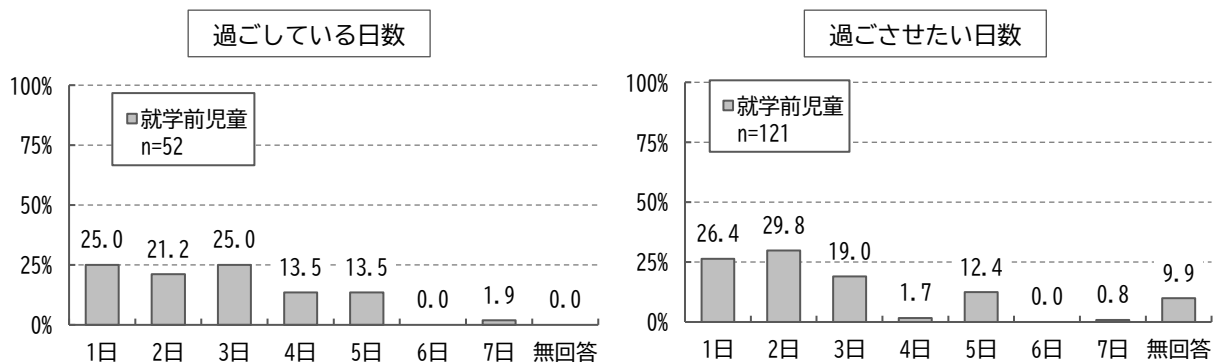
〔問13.6・問14.6〕 「ファミリー・サポート・センター」日数（1週当たり）





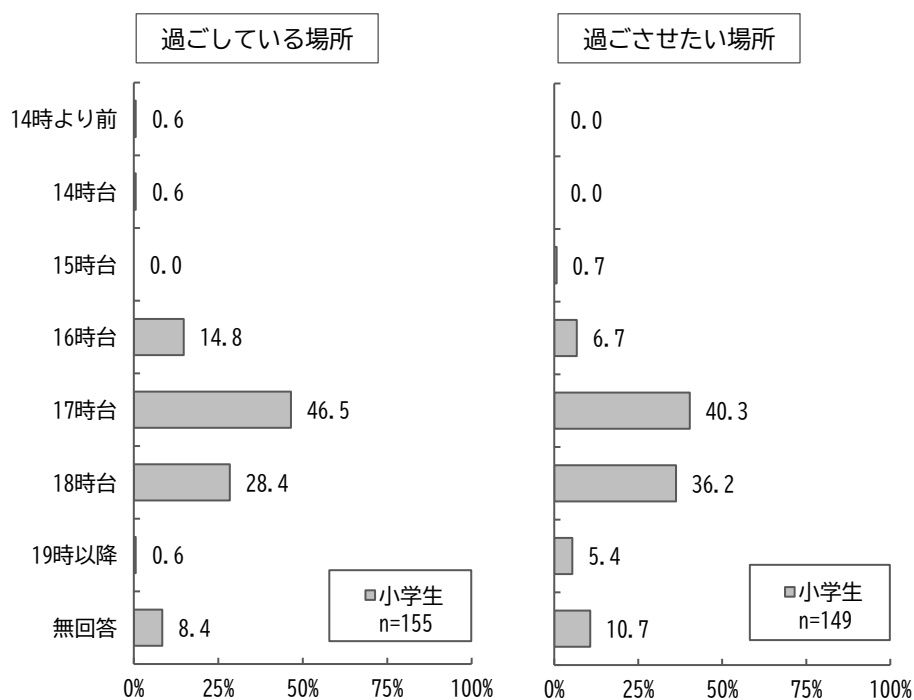
○「その他（公民館、公園など）」では、過ごしている日数は「1日」「3日」（各25.0%）、過ごさせたい日数は「2日」（29.8%）が最も高くなっています。

〔問13.7・問14.7〕 「その他（公民館・公園など）」日数（1週当たり）



○放課後児童クラブの下校時からの利用時間帯をみると、過ごしている場所、過ごさせたい場所いずれも「17時台」（過ごしている場所46.5%、過ごさせたい場所40.3%）が最も高くなっています。

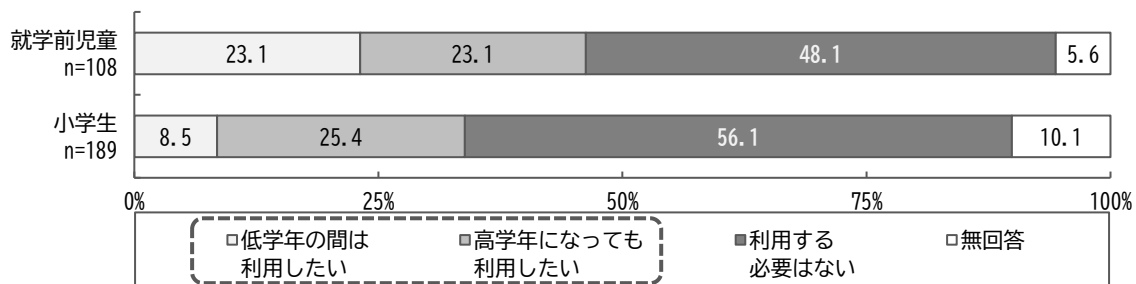
〔問13.4・問14.4〕 「放課後児童クラブ」下校時からの利用時間



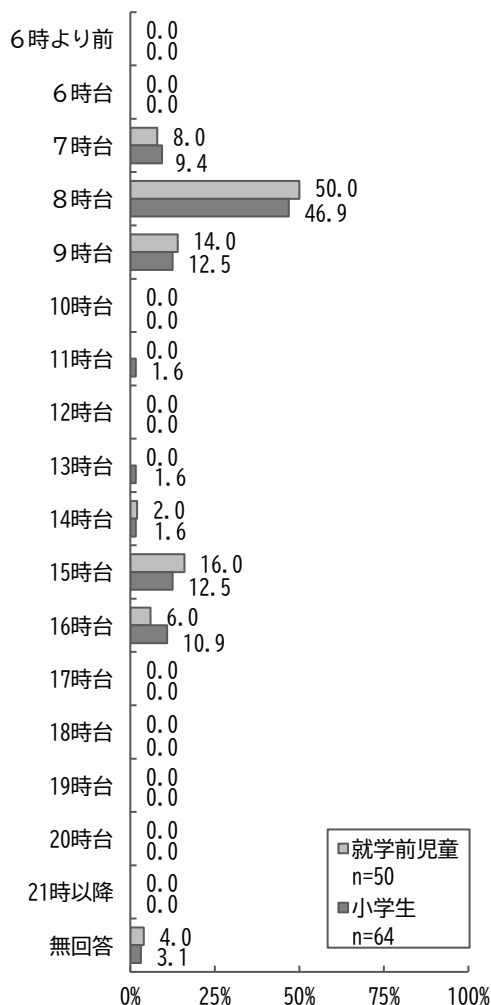
(2) 土曜日、日曜日、祝日・長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望

- 放課後児童クラブの土曜日の利用希望をみると、「低学年の間は利用したい」（就学前児童23.1%、小学生8.5%）、「高学年になっても利用したい」（就学前児童23.1%、小学生25.4%）となっています。
- 希望開始時間をみると、就学前児童、小学生いずれも「8時台」（就学前児童50.0%、小学生46.9%）が最も高くなっています。
- 希望終了時間をみると、就学前児童、小学生いずれも「18時台」（就学前児童46.0%、小学生42.2%）が最も高くなっています。

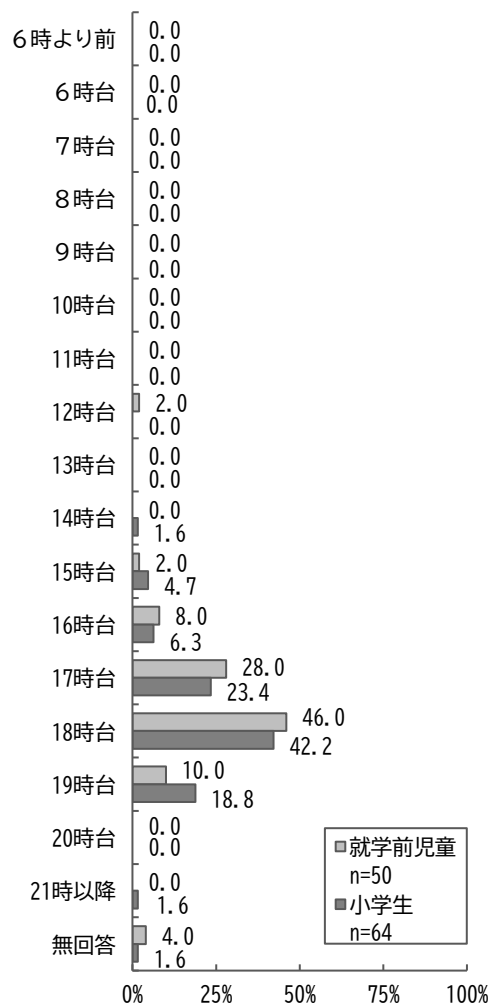
問27(1)[問15(1)] 放課後児童クラブの土曜日の利用希望（利用希望・利用者）



問27(1)[問15(1)] 希望開始時間



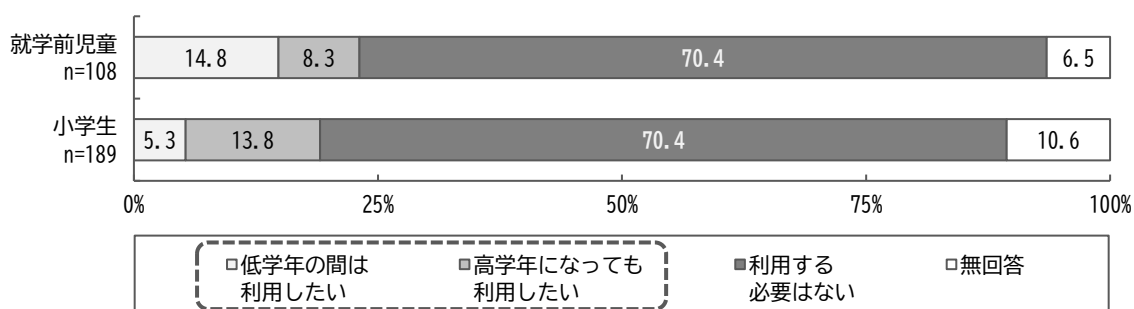
問27(1)[問15(1)] 希望終了時間



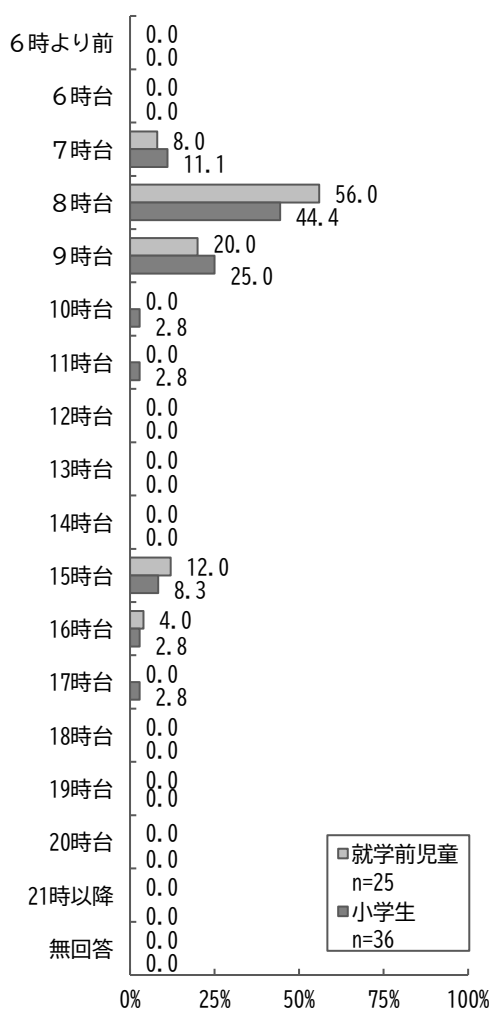


- 放課後児童クラブの日曜日、祝日の利用希望をみると、「低学年の間は利用したい」「高学年になっても利用したい」と回答した方は就学前児童23.1%、小学生では19.1%となっています。
- 希望開始時間をみると、就学前児童、小学生いずれも「8時台」(就学前児童56.0%、小学生44.4%)が最も高くなっています。
- 希望終了時間をみると、就学前児童、小学生いずれも「18時台」(就学前児童48.0%、小学生38.9%)が最も高くなっています。

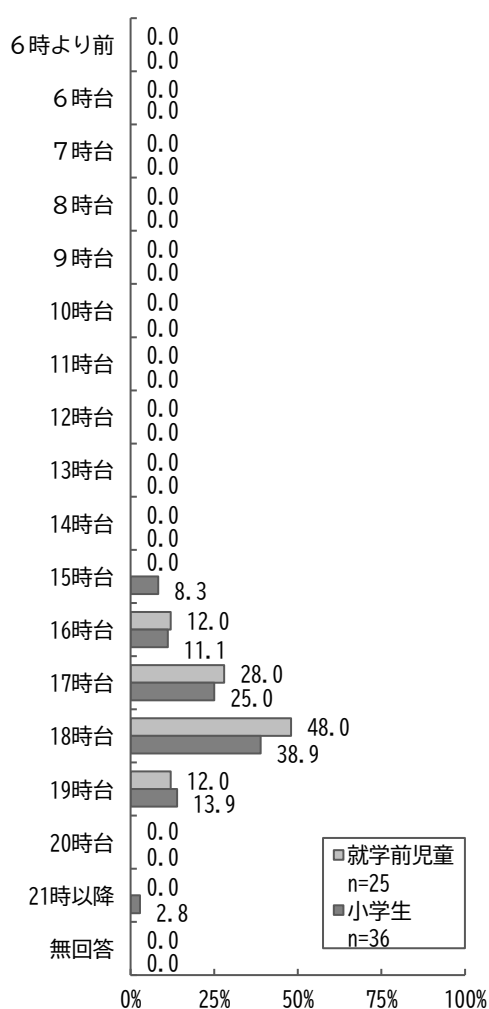
問27(2)[問15(2)] 放課後児童クラブの日曜日、祝日の利用希望（利用希望・利用者）



問27(1)[問15(2)] 希望開始時間

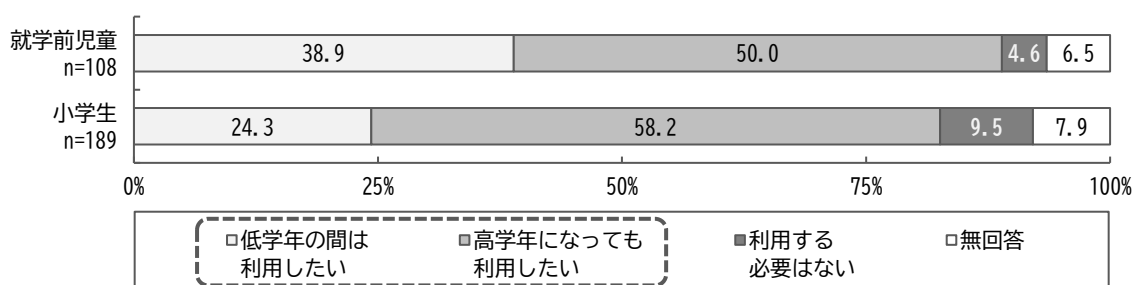


問27(1)[問15(2)] 希望終了時間

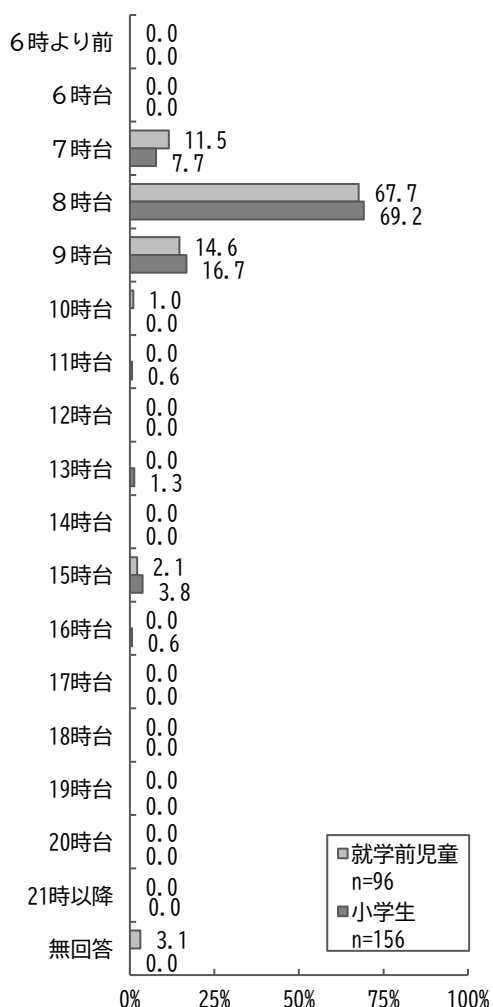


- 放課後児童クラブの長期休暇期間中の利用希望をみると、「低学年の間は利用したい」「高学年になっても利用したい」と回答した方は就学前児童88.9%、小学生では82.5%となっています。
- 希望開始時間をみると、就学前児童、小学生いずれも「8時台」(就学前児童67.7%、小学生69.2%)が最も高くなっています。
- 希望終了時間をみると、就学前児童、小学生いずれも「18時台」(就学前児童43.8%、小学生41.7%)が最も高くなっています。

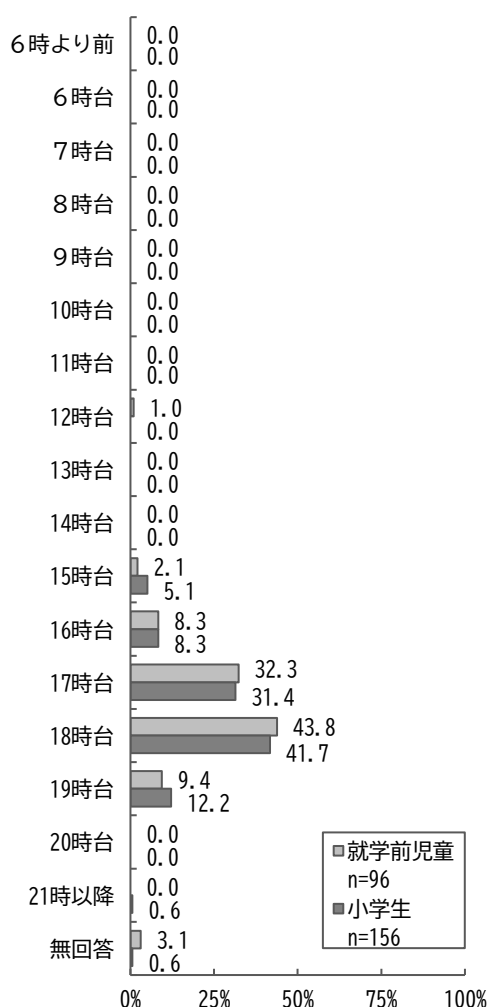
問28[問16] 長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望（利用希望・利用者）



問28[問16] 希望開始時間



問28(1)[問16] 希望終了時間

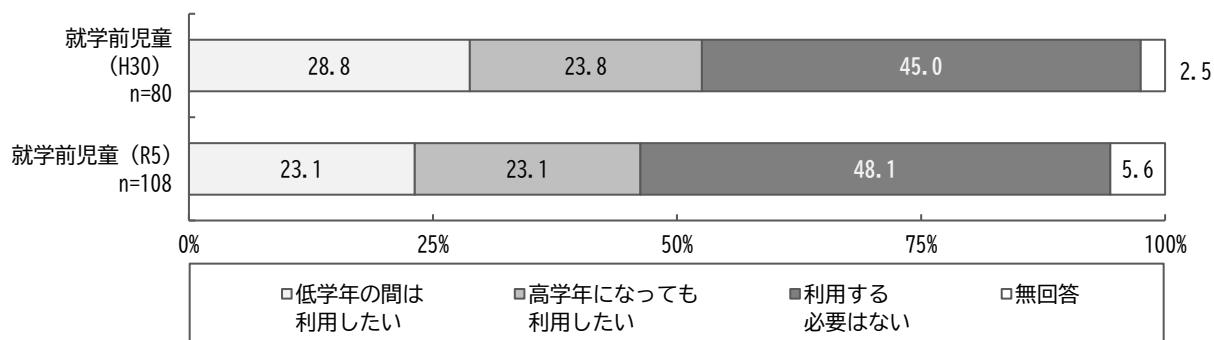




○放課後児童クラブの土曜日の利用希望を前回調査と比較すると、就学前児童、小学生いずれも利用希望（「低学年の間は利用したい」＋「高学年になっても利用したい」の合計）は就学前児童で6.4ポイント、小学生で6.1ポイント減少しています。

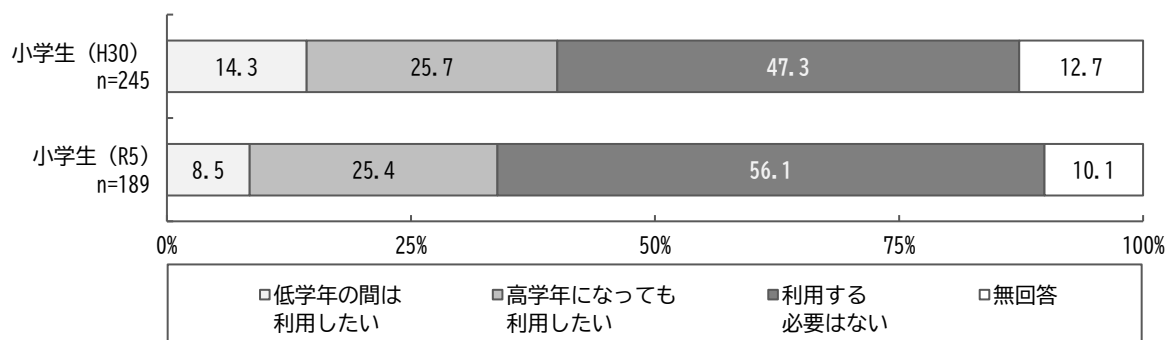
就学前児童

問27(1) 放課後児童クラブの土曜日の利用希望（経年比較）



小学生

〔問15(1)〕 放課後児童クラブの土曜日の利用希望（経年比較）

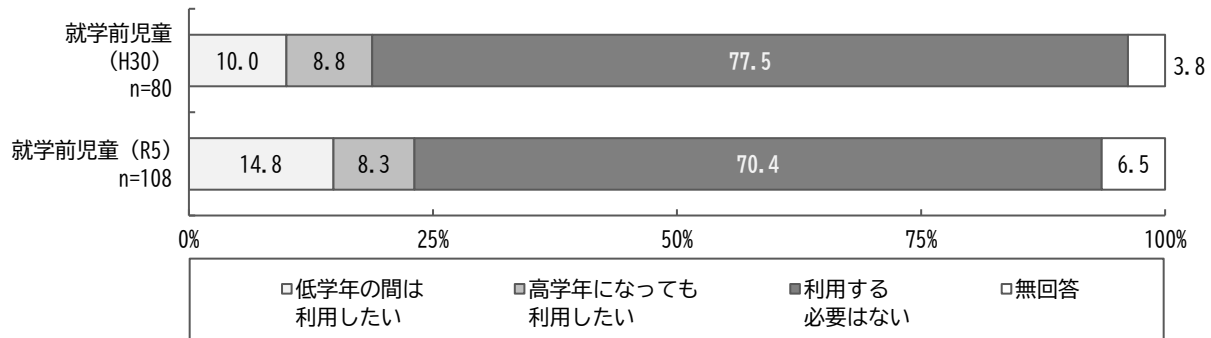




○放課後児童クラブの日曜日・祝日の利用希望を前回調査と比較すると、就学前児童、小学生いずれも利用希望（「低学年の間は利用したい」＋「高学年になっても利用したい」の合計）は、就学前児童で4.3ポイント、小学生で2.7ポイント増加しています。

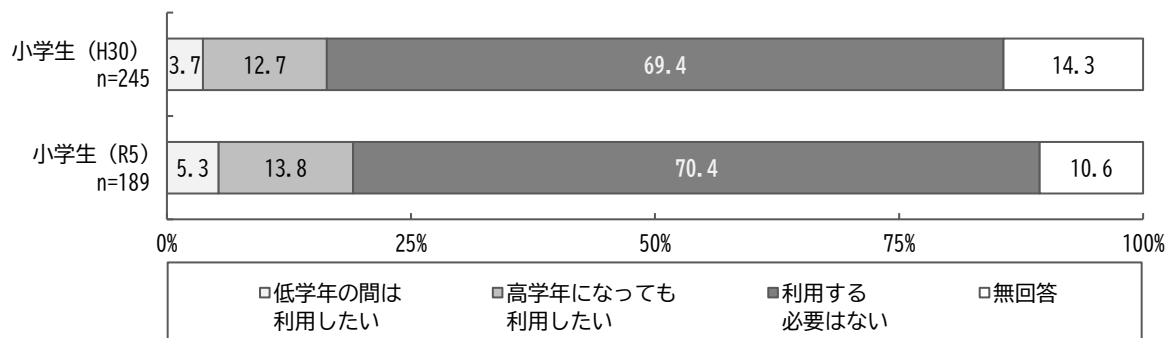
就学前児童

問27(2) 放課後児童クラブの日曜日・祝日の利用希望（経年比較）



小学生

〔問15(2)〕 放課後児童クラブの日曜日・祝日の利用希望（経年比較）

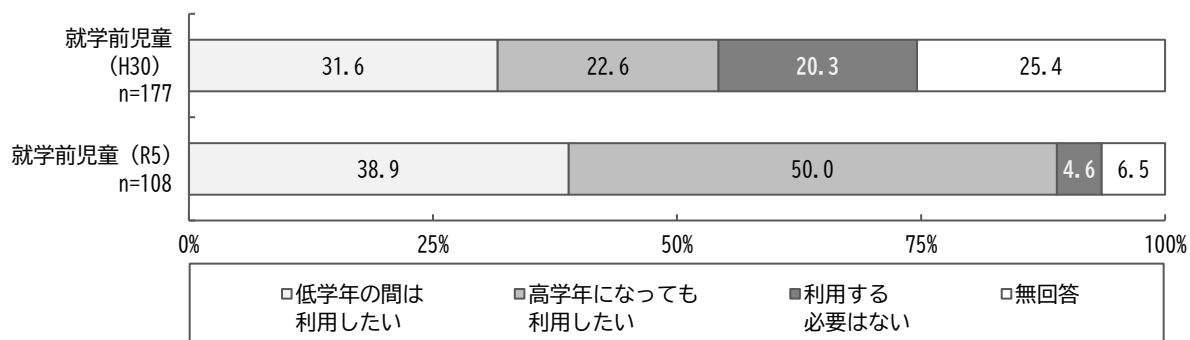




○放課後児童クラブの長期休暇期間中の利用希望を前回調査と比較すると、就学前児童、小学生いずれも利用希望（「低学年の間は利用したい」+「高学年になっても利用したい」の合計）は、就学前児童で34.7ポイント、小学生で53.4ポイント増加しています。

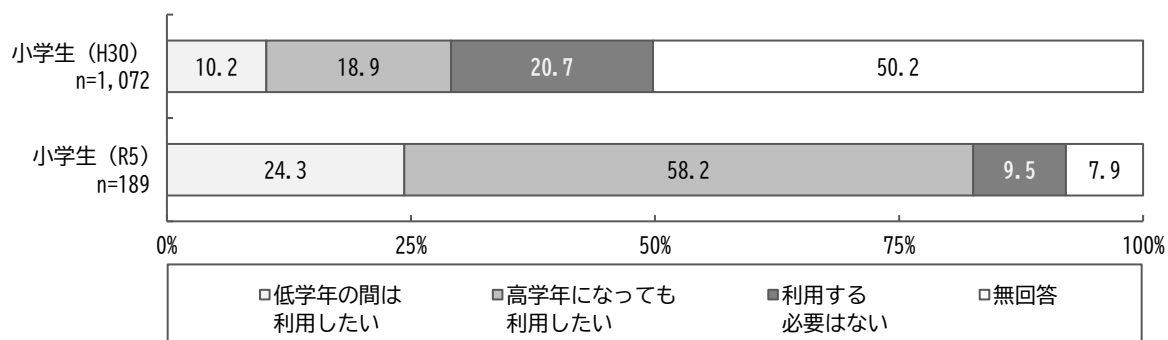
就学前児童

問28 長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望（経年比較）



小学生

〔問16〕 長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望（経年比較）

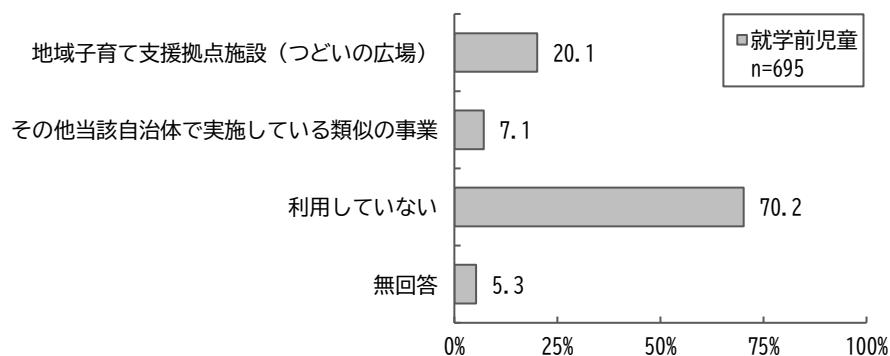


6 地域の子育て支援事業の状況と今後の利用希望

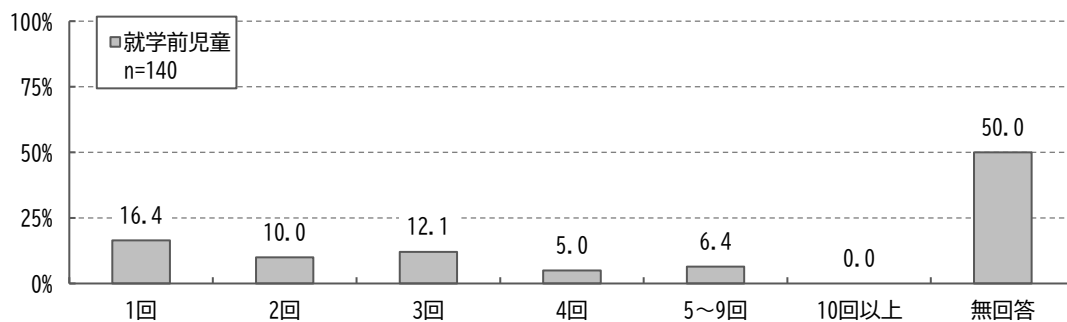
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

- 「地域子育て支援拠点施設（つどいの広場）」の利用割合は20.1%となっています。
- 「地域子育て支援拠点施設（つどいの広場）」利用者の1週当たりの利用回数をみると、「1回」（16.4%）が最も高くなっています。
- 「地域子育て支援拠点施設（つどいの広場）」利用者の1か月当たりの利用回数をみると、「1回」（21.4%）が最も高くなっています。

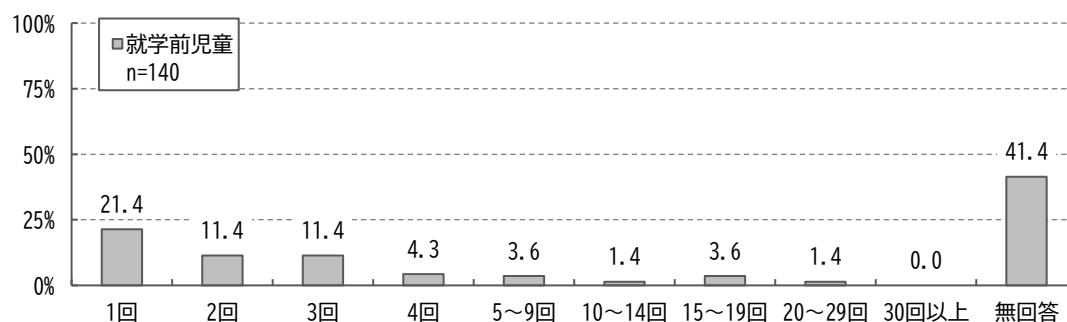
問16 子育て支援センターの利用状況



問16.1 地域子育て支援拠点施設（つどいの広場）の利用回数（1週当たり）



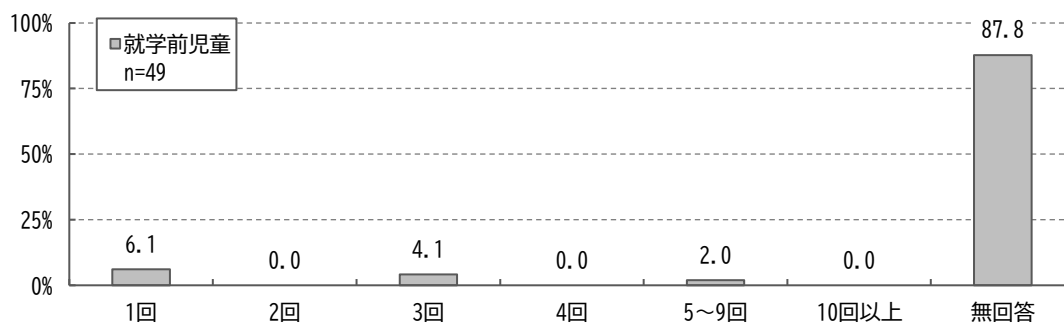
問16-1 地域子育て支援拠点施設（つどいの広場）の利用回数（1か月当たり）



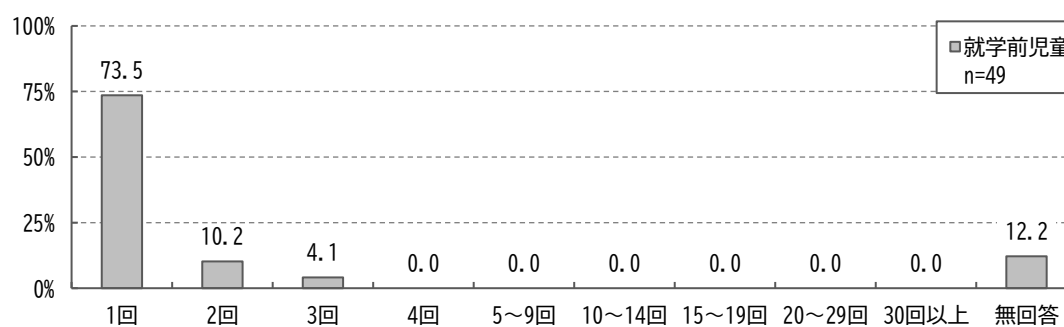


- 「類似の事業」利用者の1週当たりの利用回数をみると、「1回」(6.1%)が最も高くなっています。
- 「類似の事業」利用者の1か月当たりの利用回数をみると、「1回」(73.5%)が最も高くなっています。

問16.2 類似の事業の利用回数（1週当たり）



問16-2 類似事業の利用回数（1か月当たり）

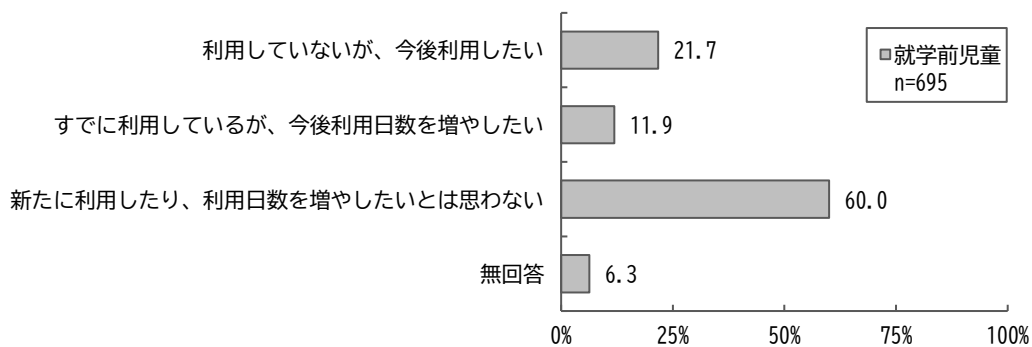


(2) 今後の利用意向

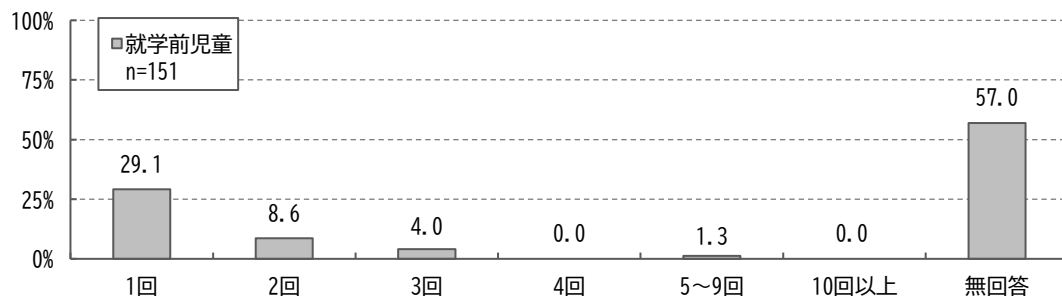
○地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向をみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が60.0%となっています。

○未利用者の今後1週当たりの利用希望回数をみると、「1回」(29.1%)が最も高くなっています。また、今後1か月当たりの利用希望回数をみると、「1回」(30.5%)が最も高くなっています。

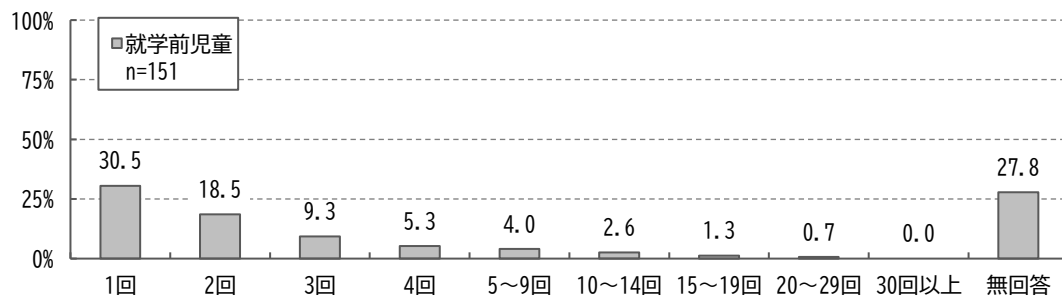
問17 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向



問17.1 未利用者の今後の利用希望回数（1週当たり）



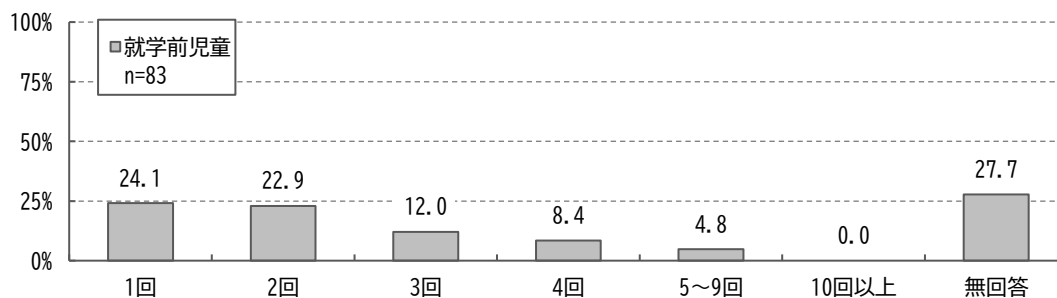
問17.1 未利用者の今後の利用希望回数（1か月当たり）



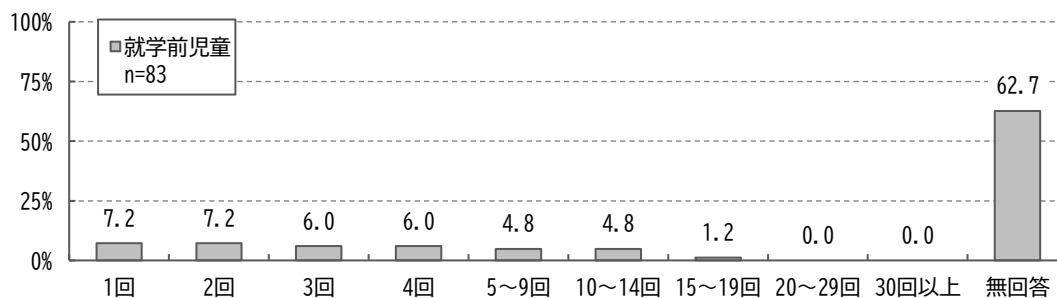


○既利用者が今後増やしたい1週当たりの利用希望回数をみると、「1回」(24.1%)が最も高くなっています。また、増やしたい1か月当たりの利用希望回数をみると、「1回」「2回」(各7.2%)が最も高くなっています。

問17.2 既利用者の今後増やしたい利用回数（1週当たり）



問17.2 既利用者の今後増やしたい利用回数（1か月当たり）



(3) 子育て支援事業の認知度、利用状況と今後の利用意向について

○子育て支援事業の認知度をみると、「子育て家庭優待パスポート事業」(88.2%)が最も高く、次いで「保健師による相談」(85.8%)、「授乳・育児相談(助成券)」(83.6%)となっています。

○子育て支援事業の利用状況をみると、「子育て家庭優待パスポート事業」(76.0%)が最も高く、次いで「乳幼児学級」(59.9%)となっています。

○子育て支援事業の利用意向をみると、「子育て家庭優待パスポート事業」(76.4%)が最も高くなっています。

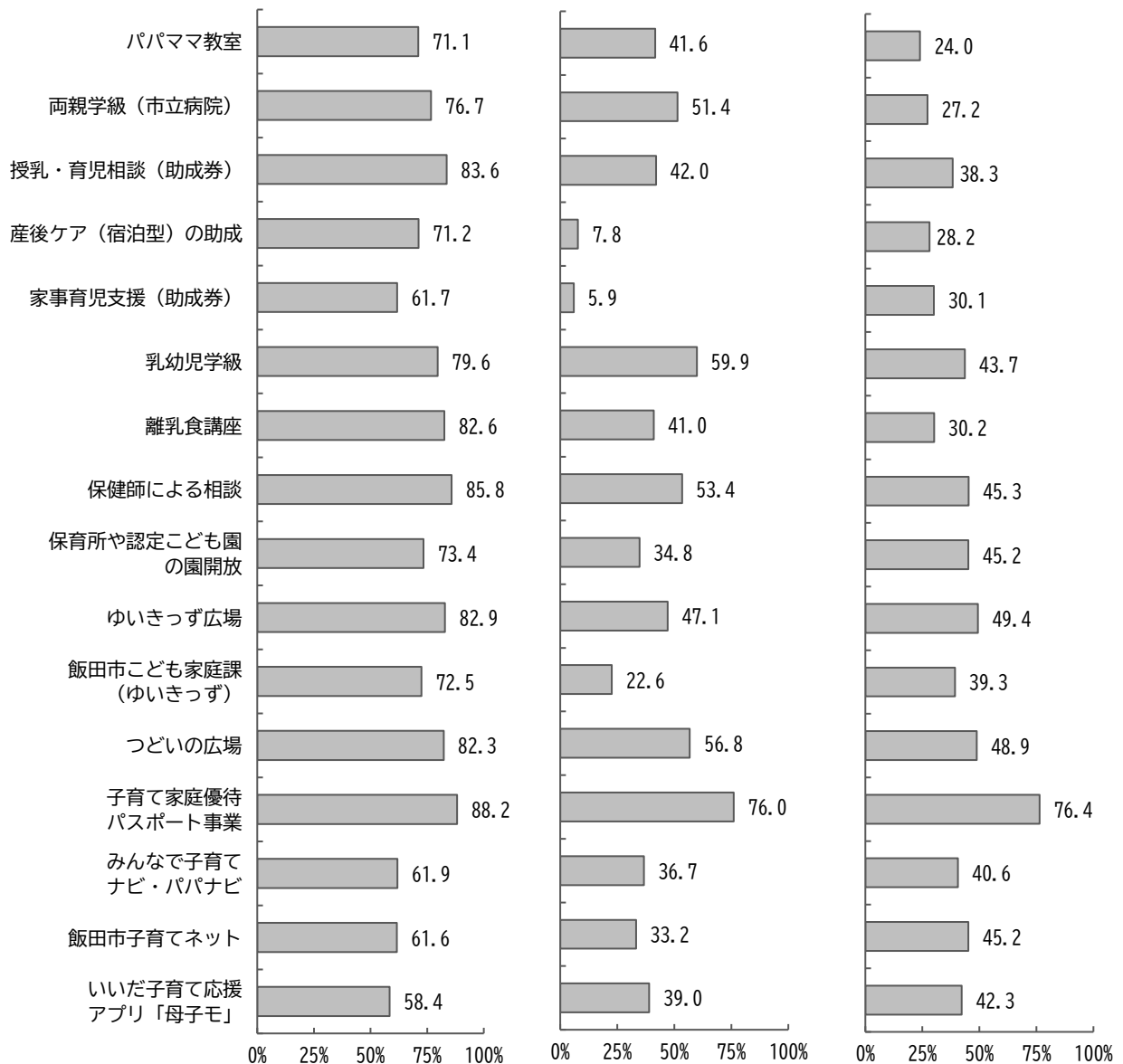
問18 子育て支援事業の認知度、利用状況、今後の利用意向

A. 子育て支援事業の認知度

B. 利用したことがある

C. 今後利用したい

就学前児童 n=695



第4章

育児休業制度の利用状況

第4章 育児休業制度の利用状況

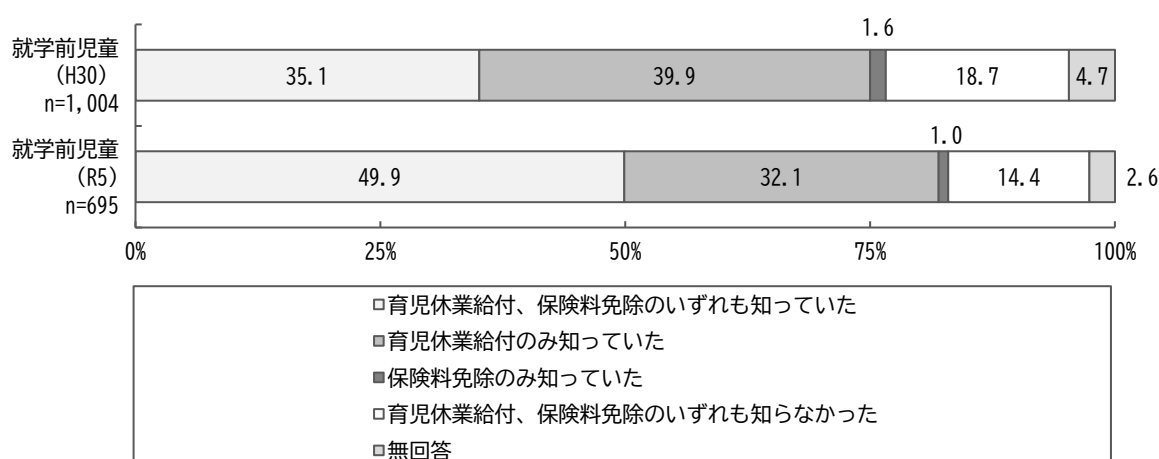
1 育児と仕事の両立支援制度について

(1) 両立支援制度の認知状況

○国の両立支援制度（職場における育児休業給付と保険料免除）の認知度をみると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」（49.9%）が最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」（32.1%）となっています。一方で「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」と回答した方が14.4%となっています。

○前回調査と比較すると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が14.8ポイント増加し、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が4.3ポイント減少しています。

問29 国の両立支援制度の認知状況（経年比較）

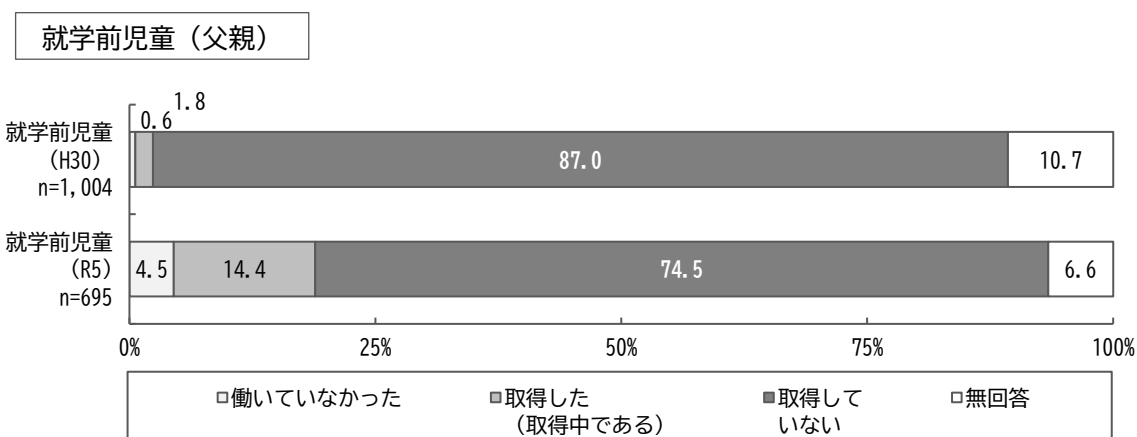
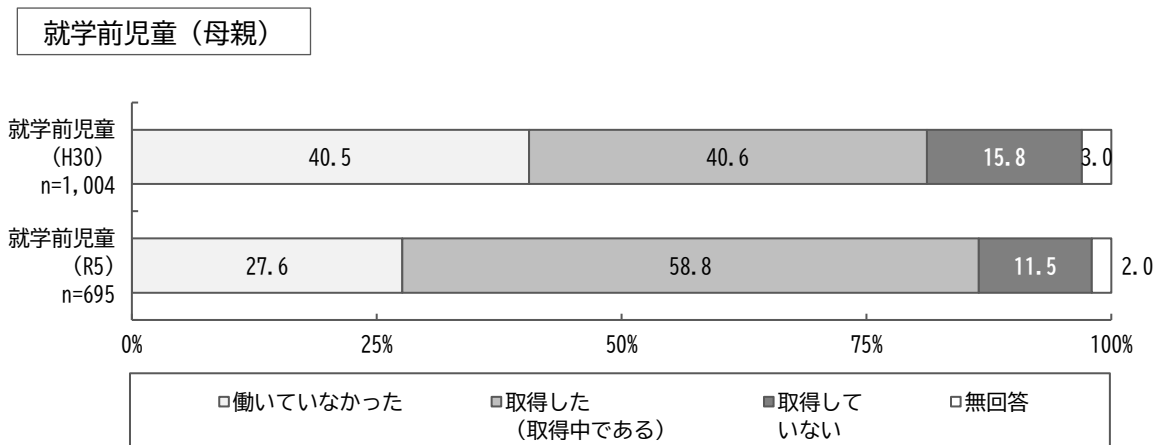




(2) 育児休業制度の利用状況

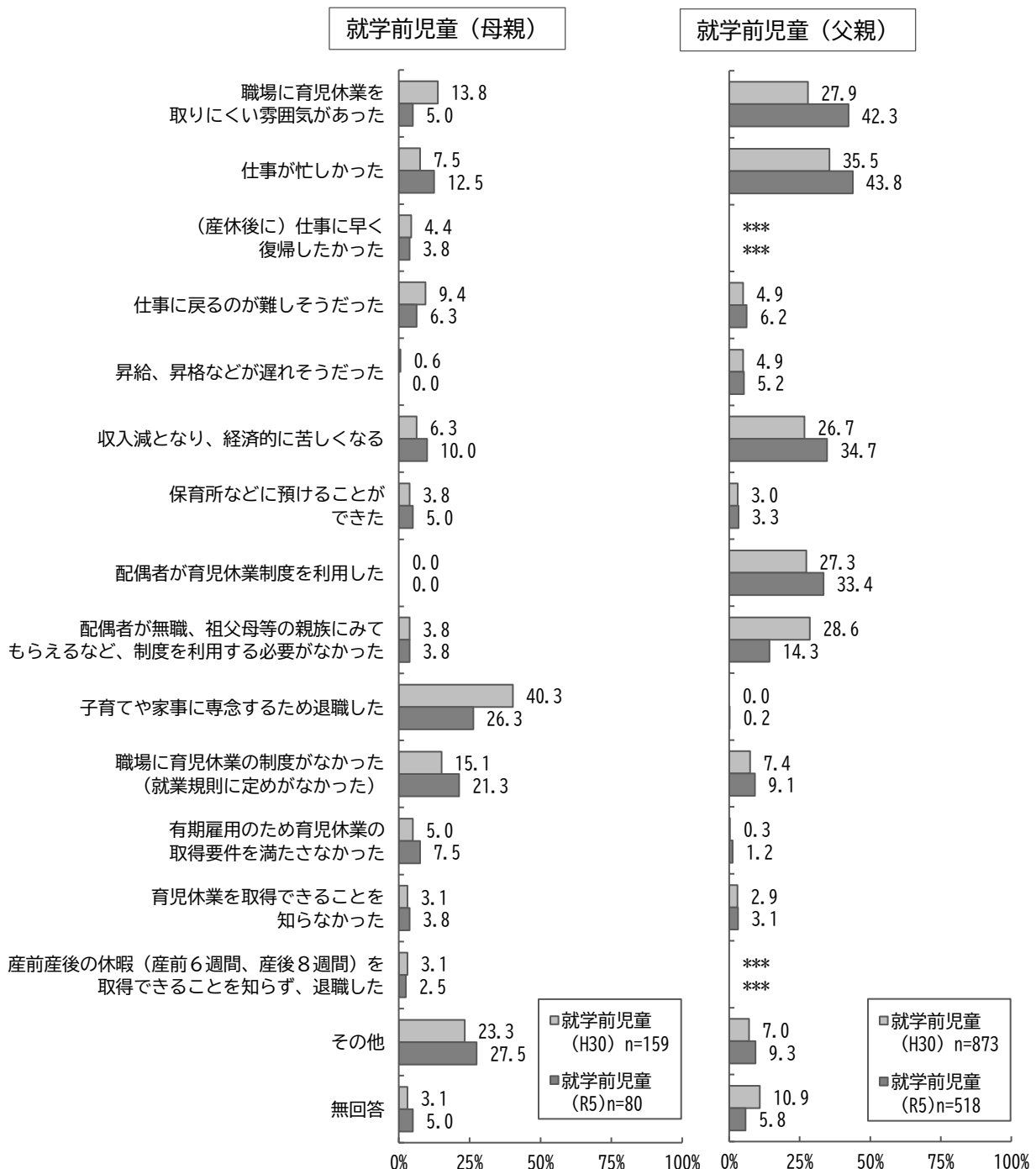
○育児休業制度の利用状況をみると、就学前児童では、「取得した（取得中である）」母親では58.8%、父親では14.4%となっています。前回調査と比較すると、「取得した（取得中である）」母親は18.2ポイント、父親は12.6ポイント増加しています。

問30 育児休業制度の利用状況（経年比較）



○育児休業を取得していない理由をみると、母親では、「子育てや家事に専念するため退職した」(26.3%)が最も高くなっています。父親では、「仕事が忙しかった」(43.8%)が最も高くなっています。また、「その他」の理由としては、母親・父親ともに「自営業のため」「フリーランスのため」と回答しています。前回調査と比較すると、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」は14.0ポイント、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が8.8ポイント減少、父親では「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が14.3ポイント減少し、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が14.4ポイント増加しています。

問30-1 育児休業を取得していない理由（経年比較）



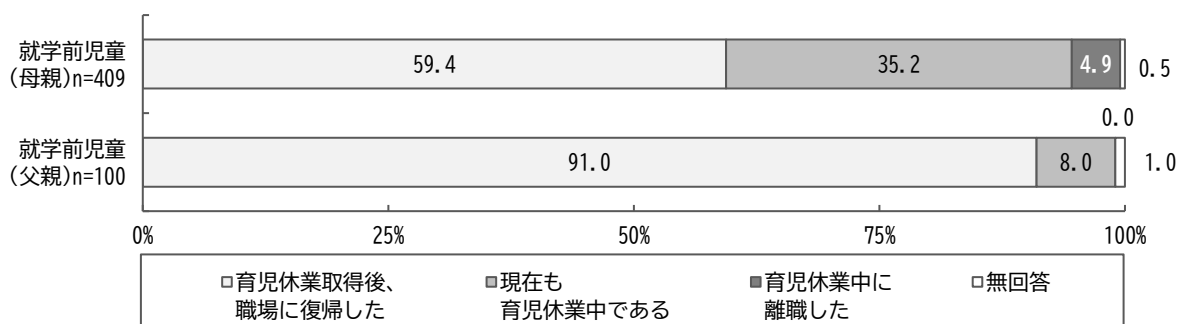


(3) 職場復帰の状況

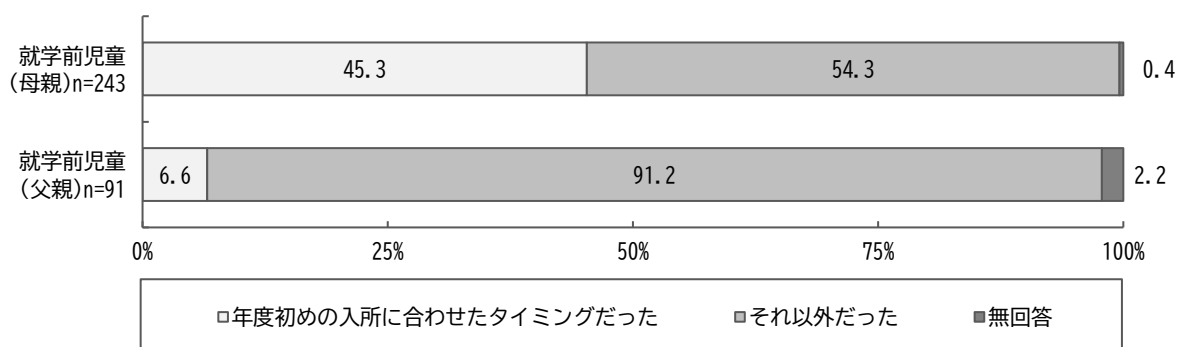
○育児休業取得後の対処をみると、母親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」(59.4%)が最も高く、次いで「現在も育児休業中である」(35.2%)となっています。父親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」(91.0%)が最も高くなっています。

○育児休業取得後に職場へ復帰した時期をみると、母親、父親といずれも「それ以外だった」(母親54.3%、父親91.2%)となっています。

問30-2 育児休業取得後の職場への対処



問30-3 育児休業後に職場へ復帰した時期

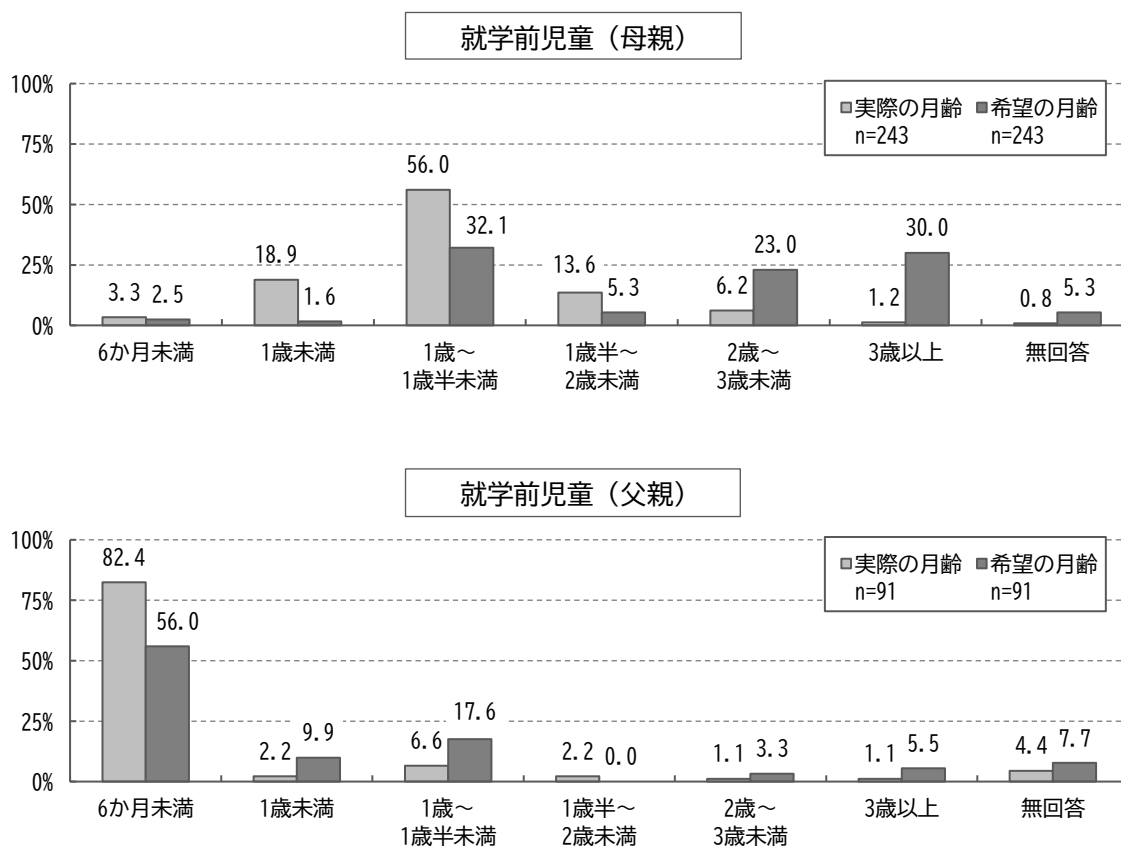


○母親が育児休業から復帰したときの子どもの実際の月齢と希望の月齢をみると、いずれも「1歳～1歳半未満」（実際の月齢56.0%、希望の月齢32.1%）が最も高くなっています。また、希望する期間のうち、「3歳以上」を希望した母親は30.0%となっています。

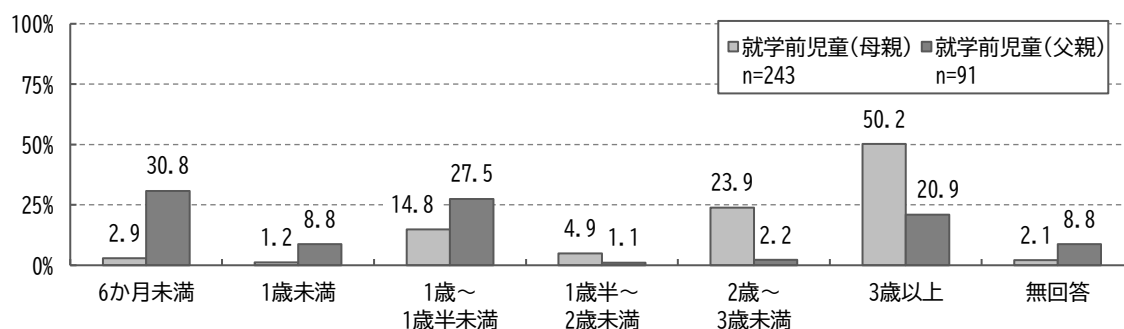
○父親では、実際の月齢、希望の月齢ともに「6か月未満」（実際の月齢82.4%、希望の月齢56.0%）が最も高くなっています。

○3歳までの育児休業制度があった場合に取得を希望する子どもの月齢をみると、母親では「3歳以上」（50.2%）、父親では「6か月未満」（30.8%）が最も高くなっています。

問30-4 育児休業から復帰したときの子どもの実際の月齢と希望する月齢



問30-5 3歳までの育児休業があった場合の子どもの希望する月齢

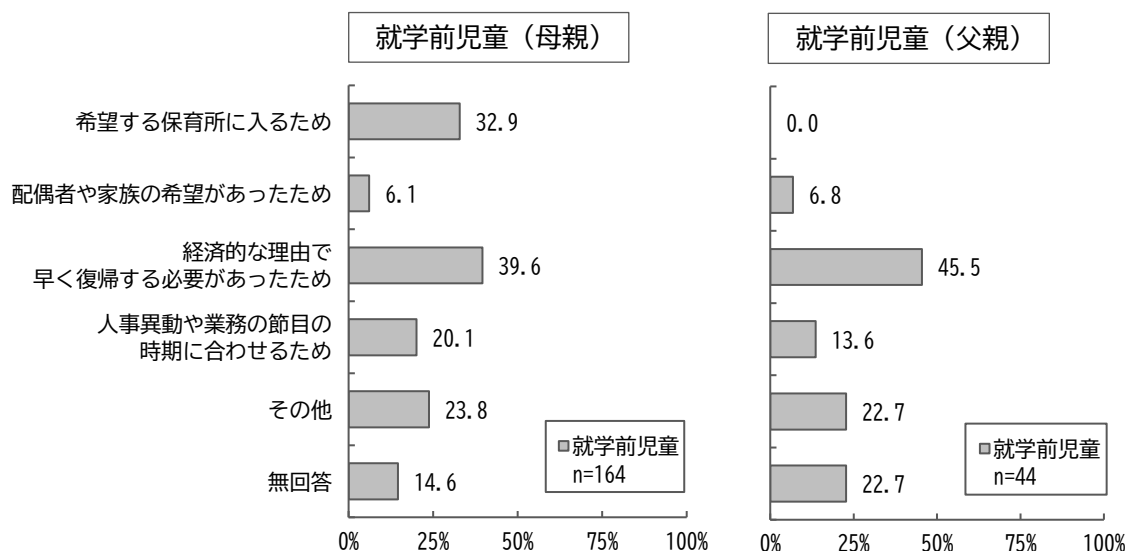




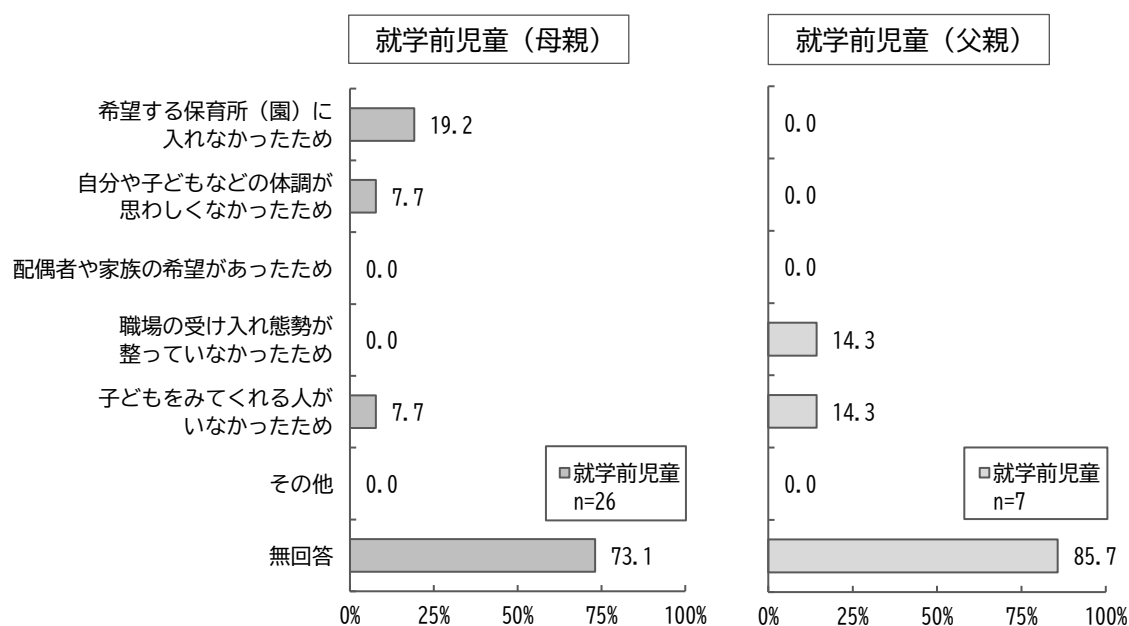
○育児休業から「希望の時期」より早く職場復帰した理由をみると、母親、父親いずれも「経済的な理由で早く復帰する必要があった」（母親39.6%、父親45.5%）が最も高くなっています。

○「希望の時期」より遅く職場復帰した理由をみると、母親では、「希望する保育所（園）に入れなかったため」（19.2%）が最も高くなっています。

問30-6(1) 育児休業から「希望の時期」より早く職場復帰した理由



問30-6(2) 育児休業から「希望の時期」より遅く職場復帰した理由

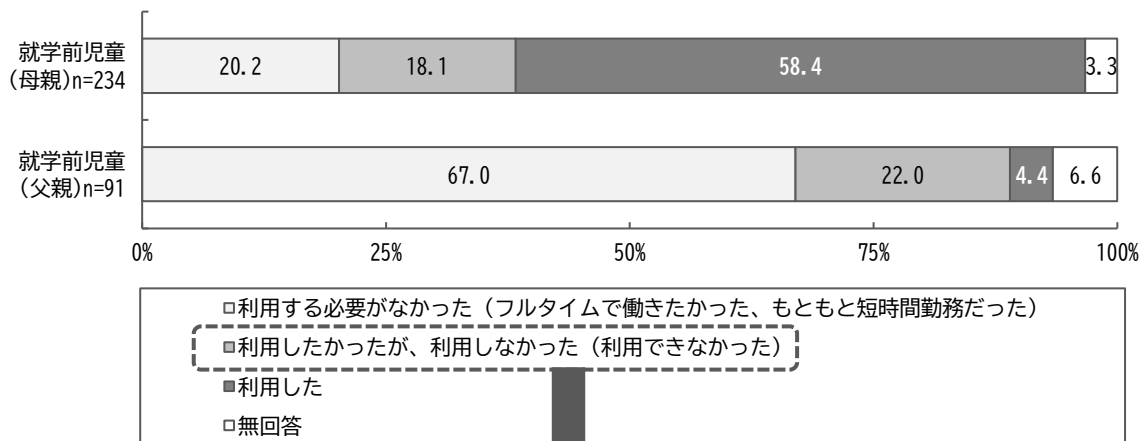


(4) 短時間勤務制度の利用状況

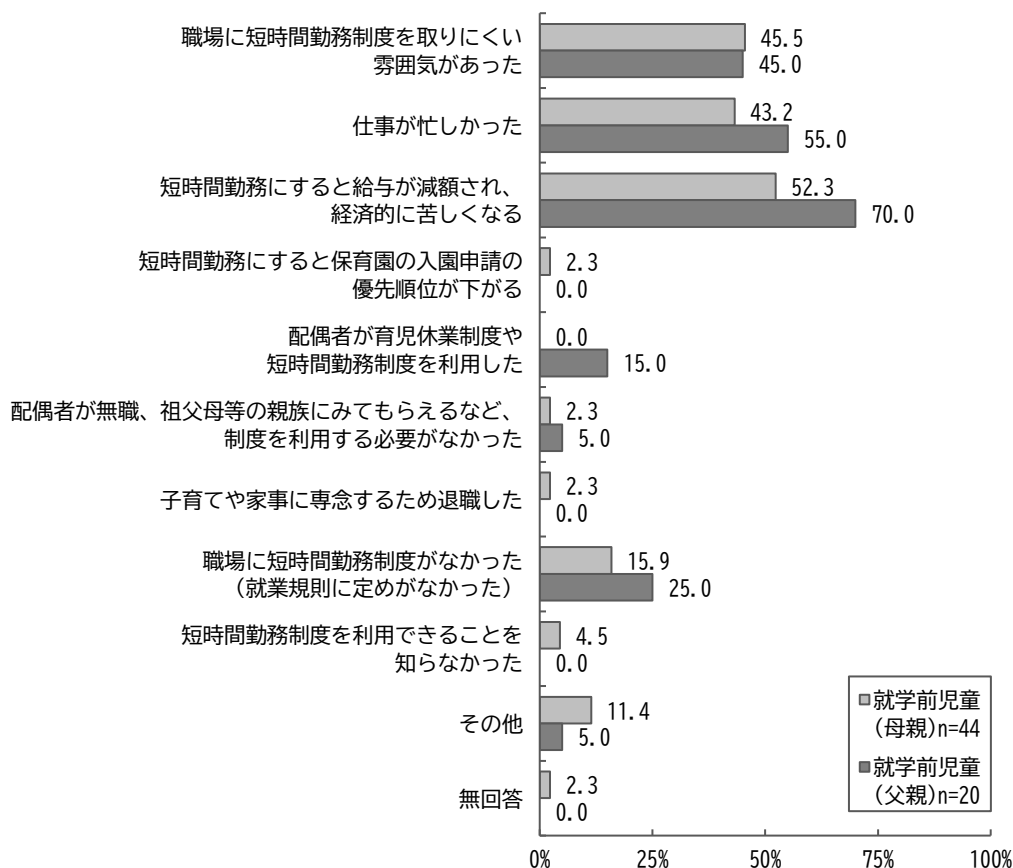
○職場復帰時における短時間勤務制度の利用状況をみると、「(短時間勤務制度を) 利用した」では母親が58.4%となっていますが、父親は4.4%に留まっています。

○職場復帰時に短時間勤務制度を利用しなかった理由をみると、母親、父親いずれも「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」(母親52.3%、父親70.0%)が最も高く、次いで母親では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」(45.5%)、父親では「仕事が忙しかった」(55.0%)となっています。

問30-7 職場復帰時における短時間勤務制度の利用状況



問30-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由

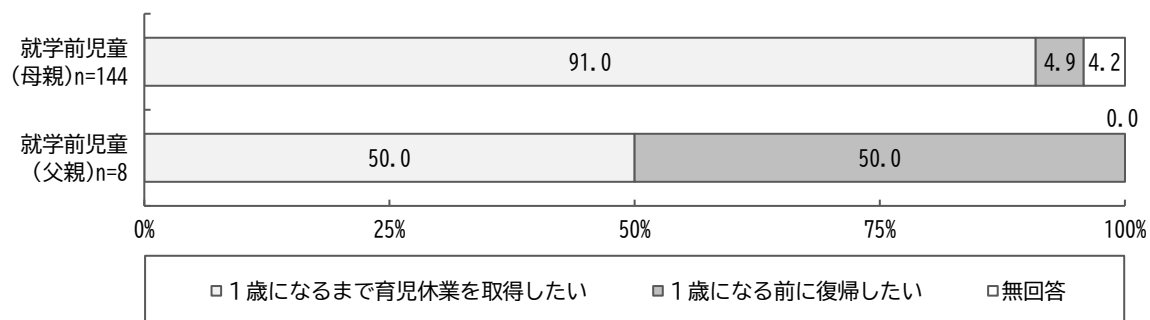




(5) 育児休業取得期間の希望

○ 1歳になった時に預け先が保障される場合の育児休業取得の希望をみると、母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が91.0%となっています。

問30-9 1歳になったときに預け先が保障される場合の育児休業取得の希望



第5章

子育て支援の充実

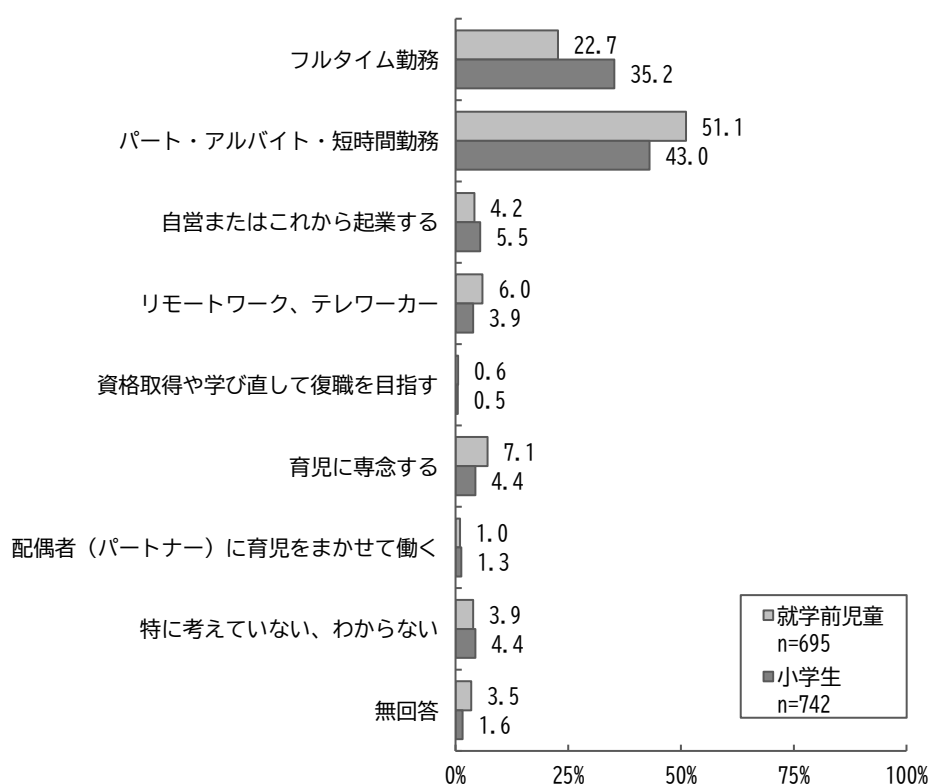
第5章 子育て支援の充実

1 子育てについて

(1) 子育て中の働き方について

○子育て中の働き方として希望するスタイルについてみると、就学前児童、小学生いずれも「パート・アルバイト・短時間勤務」（就学前児童51.1%、小学生43.0%）が最も高くなっています。

問31[問17] 子育て中の働き方として希望するスタイル



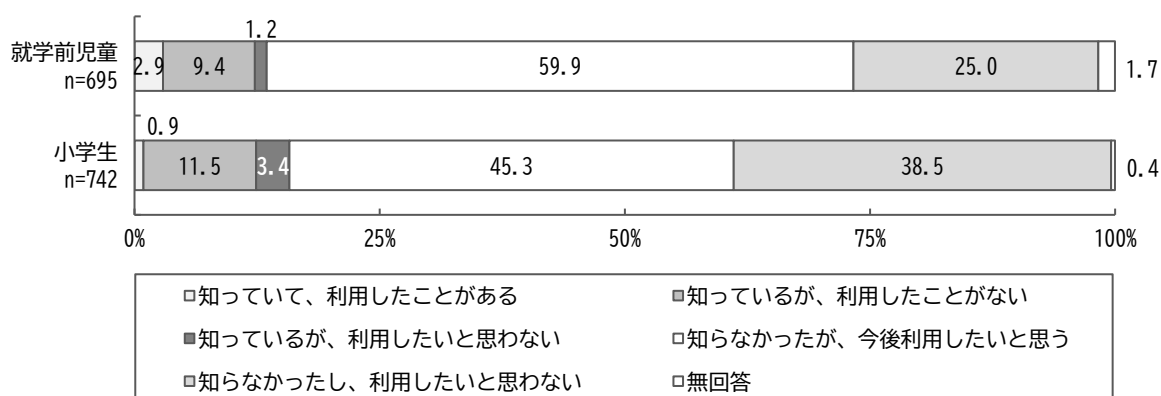


(2) 子育てのことについて

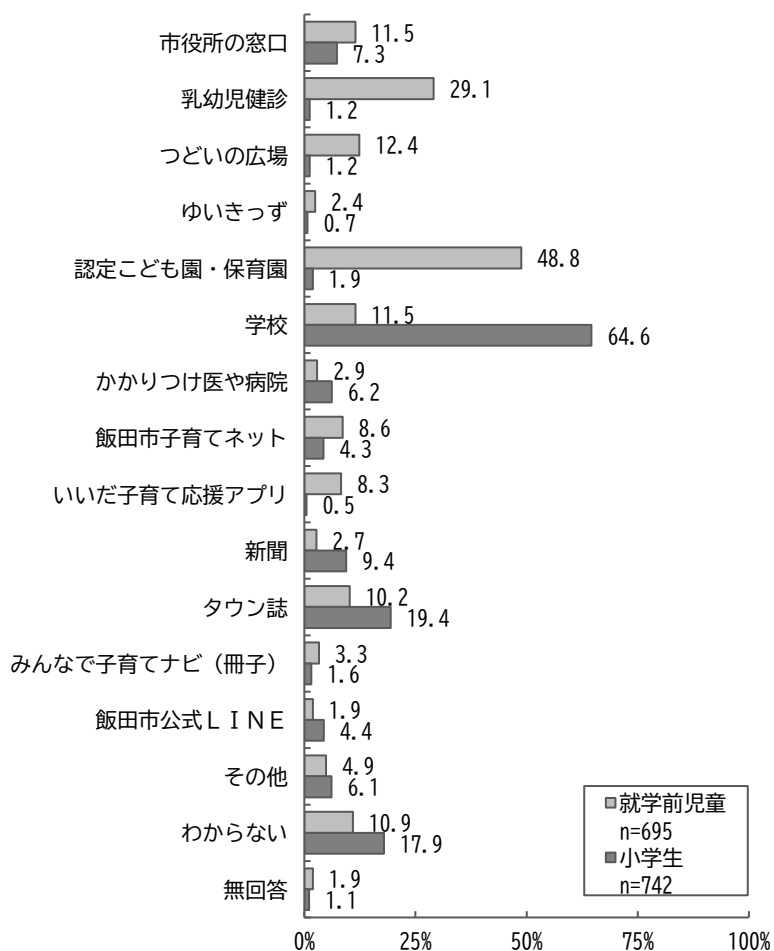
○児童手当や認定こども園等入所に関する手続きがマイナンバーカードを使用してオンライン手続きできることを知っているかについてみると、就学前児童、小学生いずれも「知らなかったが、今後利用したいと思う」（就学前児童59.9%、小学生45.3%）が最も高くなっています。

○市の子育てに関する情報の入手方法をみると、就学前児童では「認定こども園・保育園」（48.8%）、小学生では「学校」（64.5%）が最も高くなっています。

問32[問18] マイナンバーカードを使用したオンライン手続きを知っているか



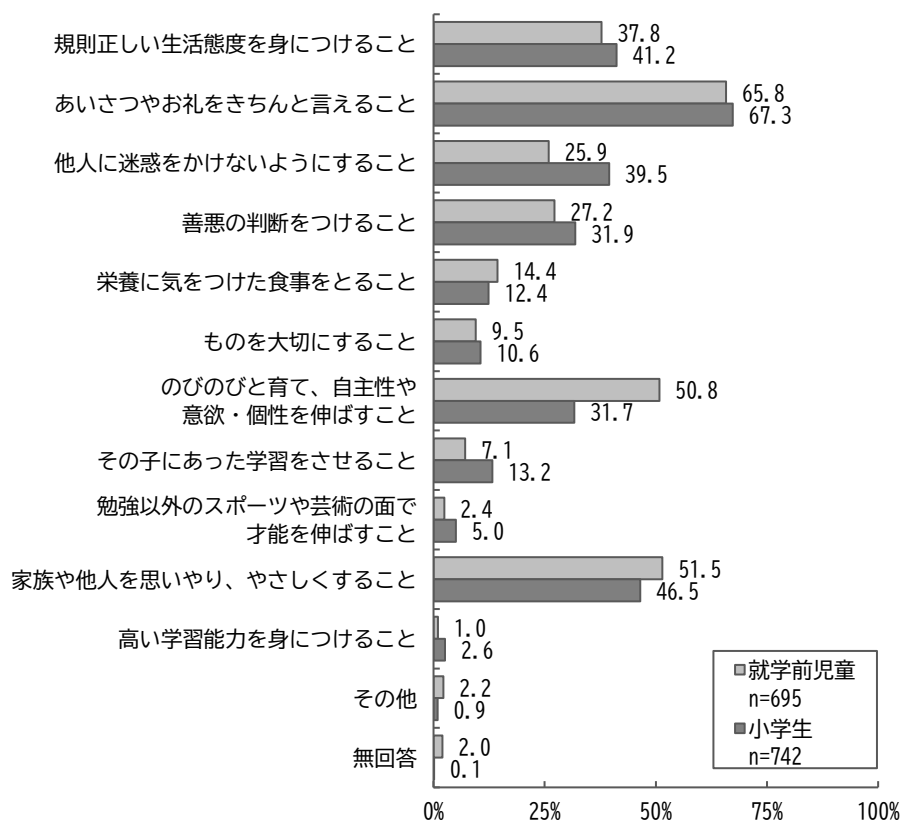
問33[問19] 市の子育てに関する情報の入手方法



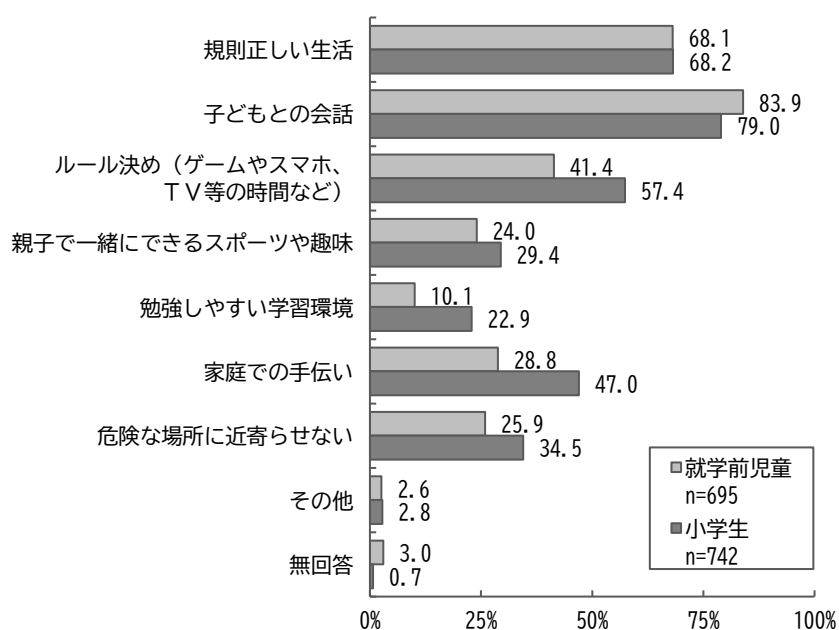
○子育てにおいて、大切にしていることをみると、就学前児童、小学生いずれも「あいさつやお礼をきちんと言えること」(就学前児童65.8%、小学生67.3%)が最も高くなっています。

○子どもと一緒に過ごす中で心掛けていることをみると、就学前児童、小学生いずれも「子どもとの会話」(就学前児童83.9%、小学生79.0%)が最も高くなっています。

問34[問20] 子育てにおいて、大切にしていること



問35[問21] 子どもと一緒に過ごす中で心掛けていること





(3) 子育てに関する悩みや不安

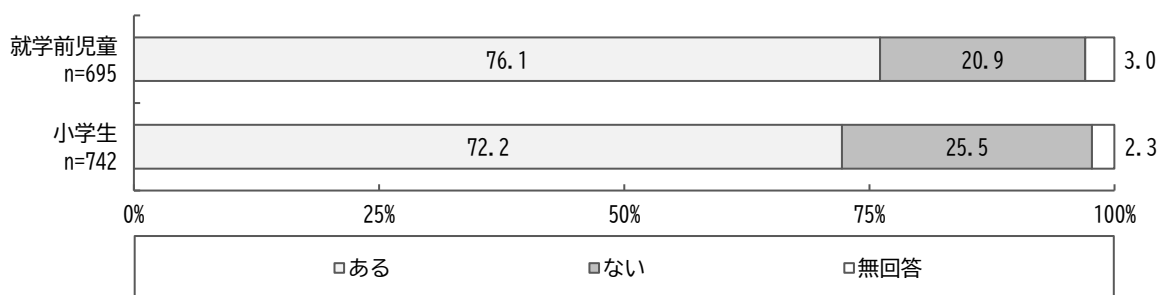
○子育てに関して不安感や負担感を感じるものの有無をみると、「ある」と回答した方が就学前児童では76.1%、小学生では72.2%となっています。

○これまでの子育ての中であったり思ったりしたことはあるかについてみると「こどものしつけのためには叩くことも必要だ」では、「あてはまる」（あてはまる+どちらかという）とあてはまるの合計）が就学前児童では17.7%、小学生では27.8%となっています。

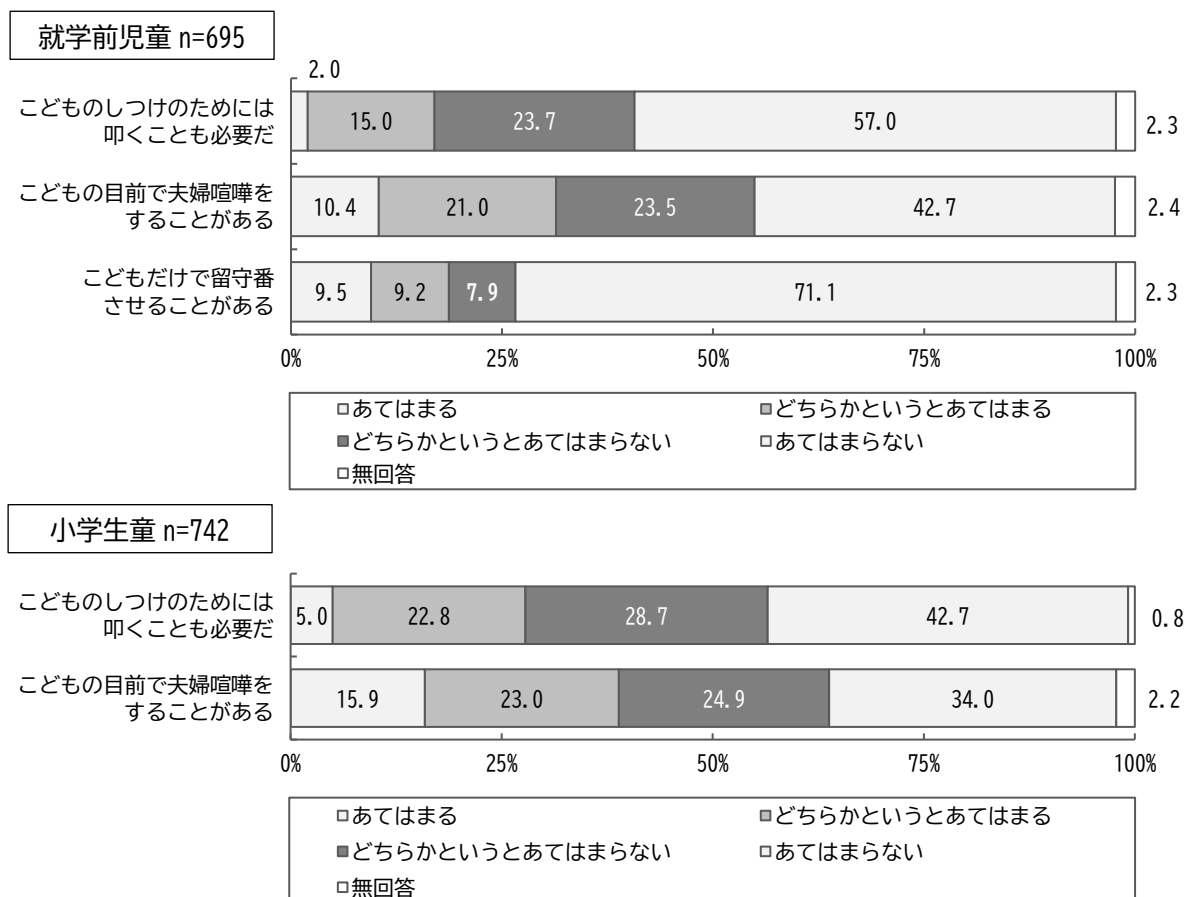
○「こどもの目前で夫婦喧嘩をすることがある」では「あてはまる」（あてはまる+どちらかという）とあてはまるの合計）が就学前児童では31.4%、小学生では38.9%となっています。

○「こどもだけで留守番させることがある」では「あてはまる」（あてはまる+どちらかという）とあてはまるの合計）が就学前児童では18.7%となっています。

問36[問22] 子育てに関して不安感や負担感を感じるものの有無

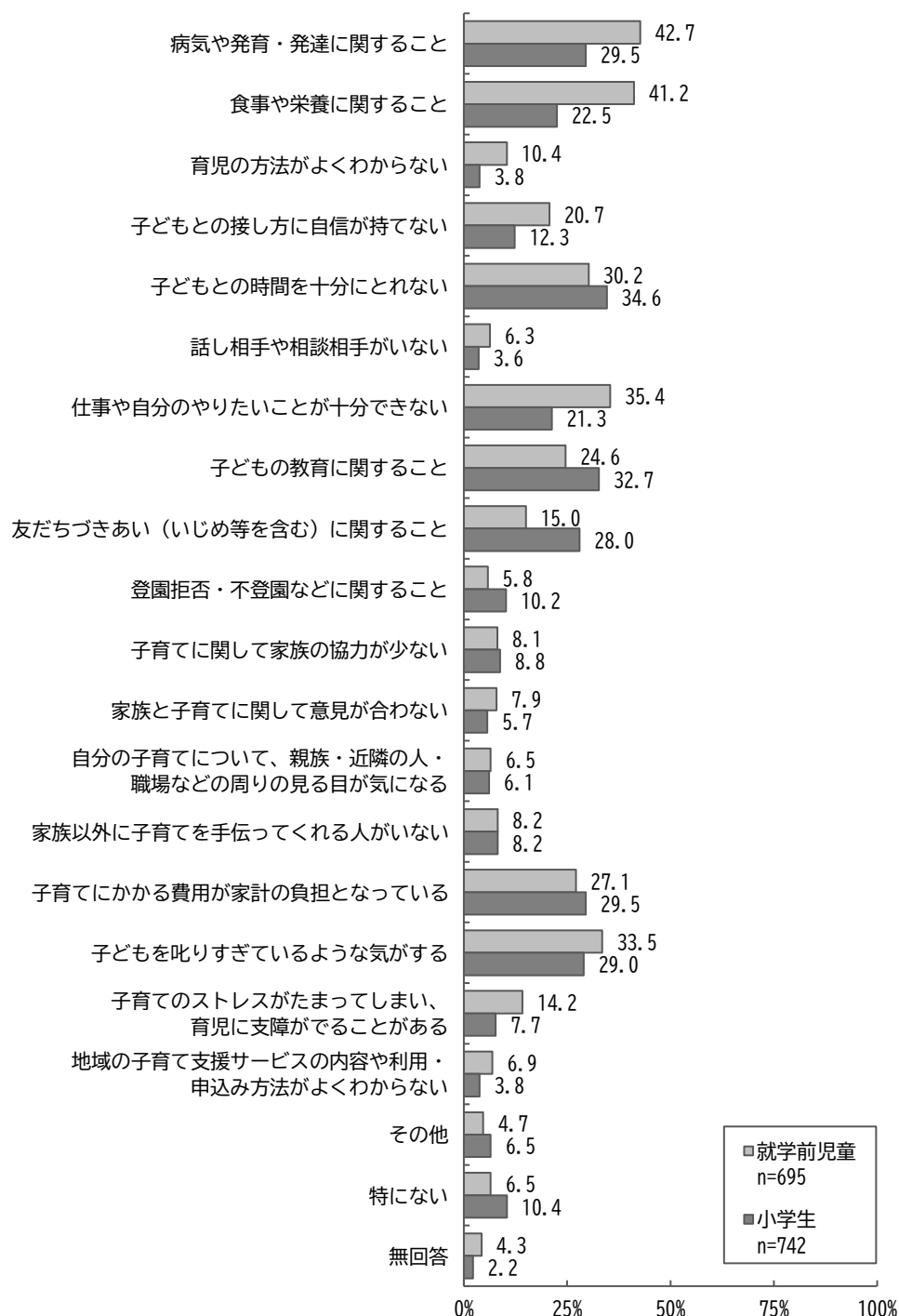


問38[問24] これまでの子育ての中であったり思ったりしたことはあるか



○日頃悩んでいること、気になることをみると、就学前児童では「病気や発育・発達に関すること」(42.7%)、小学生では「子どもとの時間を十分にとれない」(34.6%)が最も高くなっています。

問37[問23] 日頃悩んでいること、気になること





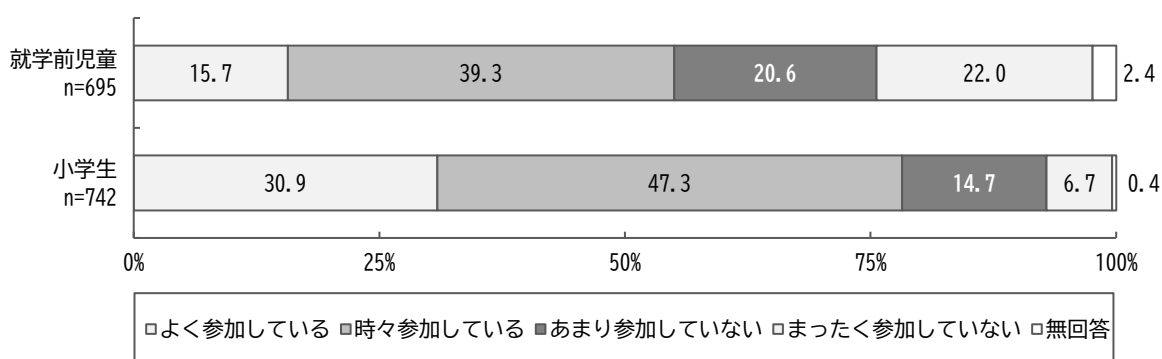
(4) 子育て家庭の暮らし向きについて

○地域の行事等に参加しているかについてみると、就学前児童、小学生いずれも「時々参加している」(就学前児童39.3%・小学生47.3%)が最も高くなっています。

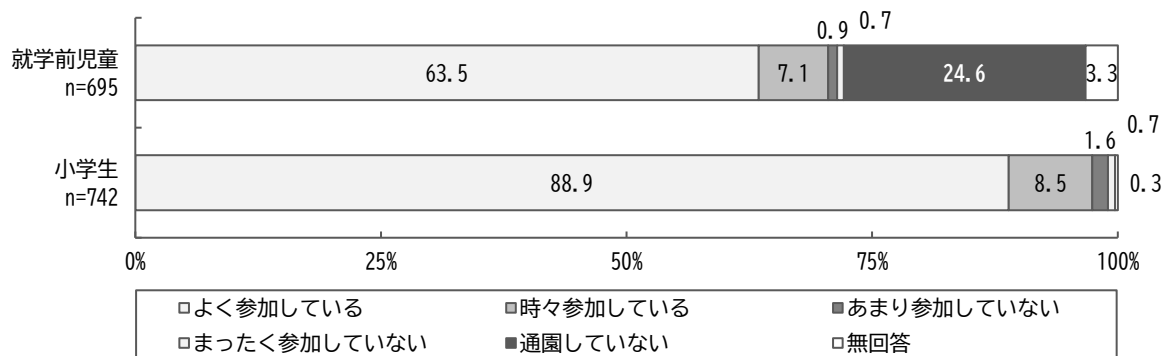
○子どもが通う園・学校の行事に参加しているかについてみると、就学前児童、小学生いずれも「よく参加している」(就学前児童63.5%・小学生88.9%)が最も高くなっています。

○同居している家族との間で、子育てや子どもの教育についてよく話をするかについてみると、就学前児童、小学生いずれも「よく話す」(就学前児童56.4%・小学生44.3%)が最も高くなっています。

問39①[問25①] 地域の行事等に参加しているか

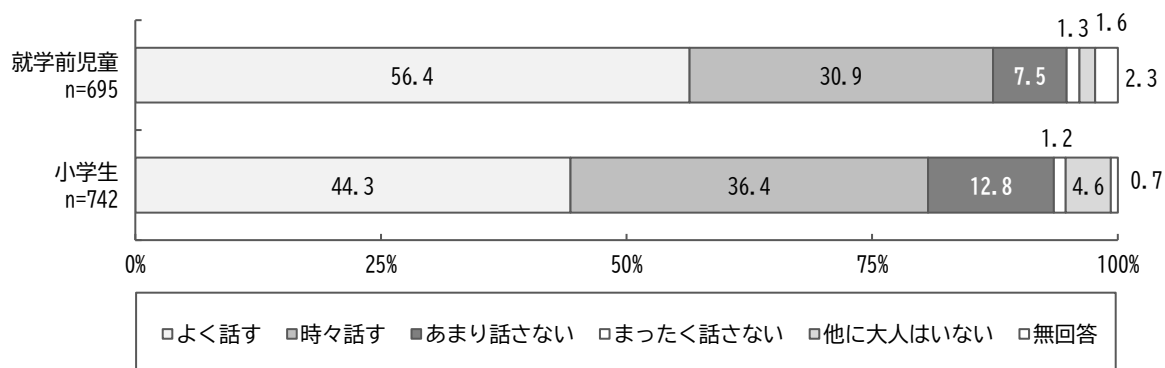


問39②[問25②] 子どもが通う園・通う学校の行事に参加しているか



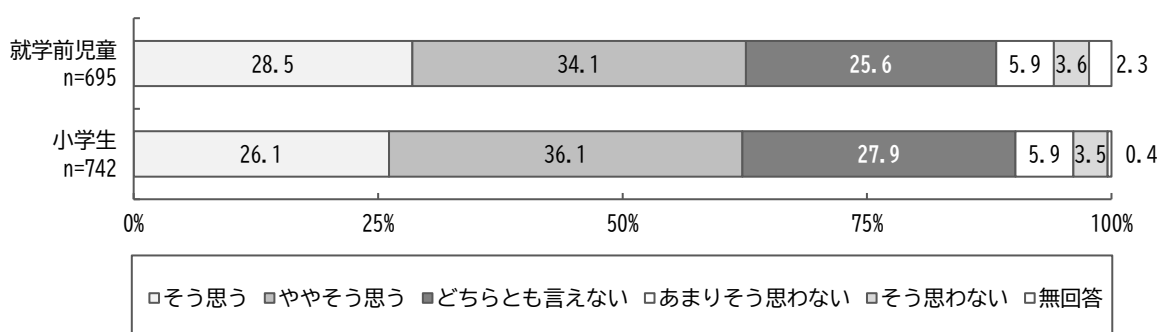
※「通園していない」の選択肢は就学前児童のみ

問39③[問25③] 家族で、子育てや子どもの教育についてよく話をするか

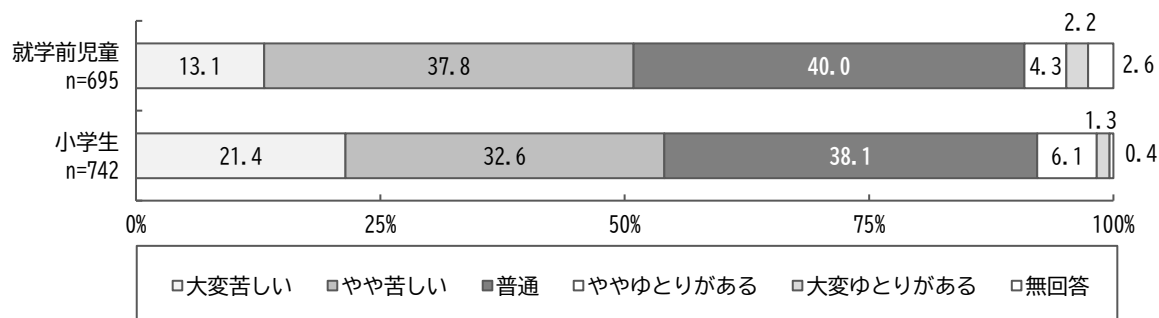


- 生活上の困難（失業や低所得、病気、要介護の状態など）を解決するために、地域の人々はお互いに協力することが望ましいかについてみると、就学前児童、小学生いずれも「ややそう思う」（就学前児童34.1%・小学生36.1%）が最も高くなっています。
- 現在の暮らしの状況についてみると、就学前児童、小学生いずれも「普通」（就学前児童40.0%・小学生38.1%）が最も高くなっています。
- お子さんが生まれてから現在までの間に、経済的な理由による料金滞納のために、電気、ガス、水道のいずれかを止められたことの有無についてみると、就学前児童、小学生ともに「なかった」（就学前児童95.3%、小学生94.7%）が最も高くなっています。一方、「あった」は就学前児童で1.4%、小学生で3.6%となっています。

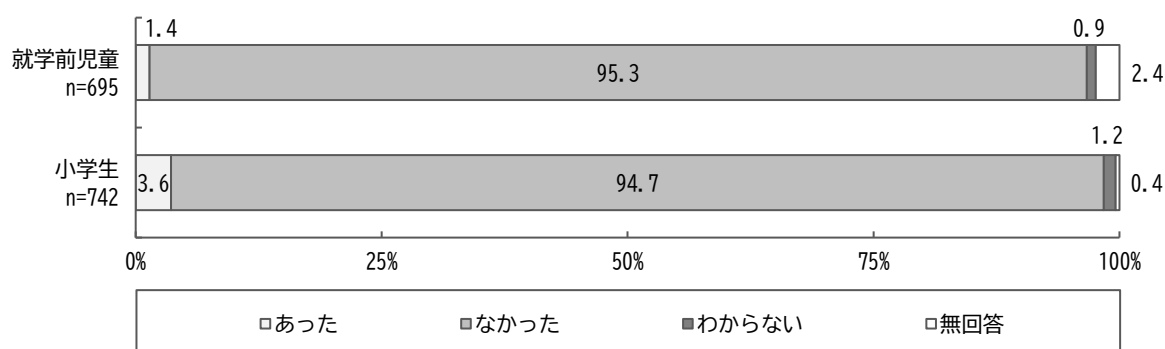
問39④[問25④] 生活上の困難を解決するために、地域の人々と協力することが望ましいか



問40[問26] 現在の暮らしの状況



問41[問27] 経済的理由の料金滞納で電気・ガス・水道を止められたことの有無

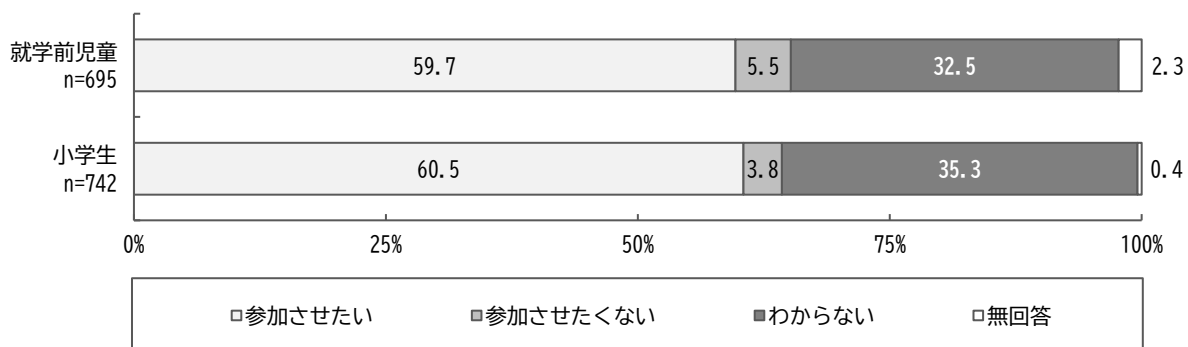




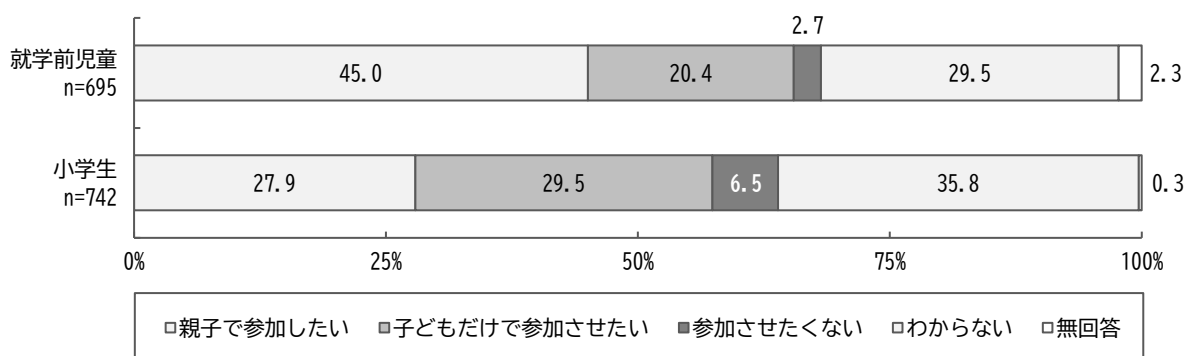
○ボランティア等による無料の学習塾に参加させたいかをみると、就学前児童、小学生ともに「参加させたい」（就学前児童59.7%、小学生60.5%）が最も高くなっています。

○地域に「子ども食堂」があったら、参加させたいかをみると、就学前児童では「親子で参加したい」（45.0%）、小学生では「わからない」（35.8%）が最も高くなっています。

問42[問28] ボランティア等による無料の学習塾に参加させたいか



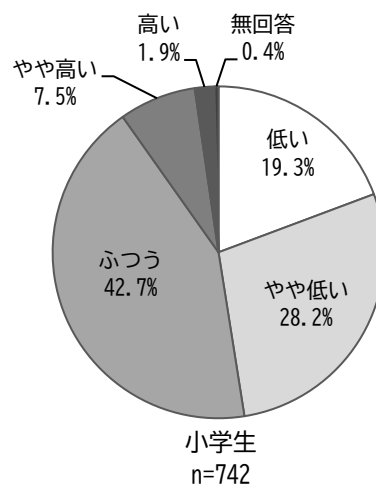
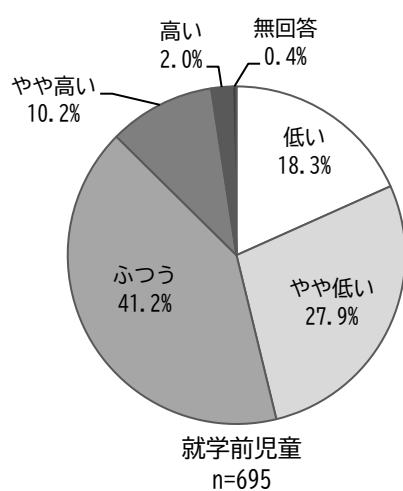
問43[問29] 地域に「子ども食堂」があったら、参加させたい



(5) 子育て環境や支援の満足度

○「子育ての環境や支援に対する満足度」が高いと感じる保護者（「高い」＋「やや高い」）をみると、就学前児童（12.2%）、小学生（9.4%）となっており、ふつうと感じる保護者は就学前児童では41.2%、小学生では42.7%となっています。一方、低いと感じる保護者（「低い」＋「やや低い」）をみると、就学前児童（46.2%）、小学生（47.5%）となっています。

問44[問30] 子育ての環境や支援に対する満足度



資 料 編

資料編

1 就学前児童保護者の調査票

就学前児童の保護者の方へ

子ども・子育て支援事業に関する ニーズ調査票

【調査ご協力をお願い】

皆さまには、日頃より市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

本市では、「子ども・子育て支援法」に基づき、令和2年3月に「第2期福山市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、様々な子育て支援事業に取り組んでいます。

この度、令和7年からの第3期（令和7～11年度）計画を策定するにあたり、保護者の方の子育て状況、ご要望やご意見、利用ニーズ等を把握するため、アンケート調査のご協力をお願いするものです。

本調査は無記名で行い、ご本人が特定されることはありません。率直なご意見をご記入ください。調査結果は、統計的に処理し、調査の目的以外に使用することはありません。

ご回答が多く、ご負担をおかけいたしますが、調査の趣意をご理解いただき、アンケート調査にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

飯田市長 佐藤 健

【ご記入にあたってのお願い】

1. アンケートは封筒の宛名のお子さんについて、保護者の方にご記入ください。
2. 選択肢がある場合には、番号を○印で開んでください。
3. 数字で年齢や時間（時刻）をご記入いただく質問は、枠内に具体的な数字をご記入ください。また、時間については24時間制でご記入ください。記入例：午後6時 → 18時
4. 設問によっては回答いただく方が限られている場合がありますので、ことわり書きや矢印に従ってお答えください。特にことわりがない場合は、次の設問にお進みください。

■インターネットでの回答

パソコン、スマートフォン又はタブレットのいずれかを用いて、下記のURL又は右下のQRコードを読み取りアクセスし、画面の案内に従って下記のID・パスワードを入力し、質問項目にお答えください。調査票を返送していただく必要はありません。

※英数字は二重入力を防止するもので、他人を特定するものではありません。

(URL) <https://survey.jp/s.php?clear=1&id=221>

QRコード

※回答を中絶した場合は再度QRコードを読み取り、上記のID・パスワードを入力し、再開してください。

■ご意見をいただくうえでご不明な点や調査に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

飯田市子育て支援課 電話 0265-22-4511（内線 5346）

いただいたご回答は、飯田市の子育て支援の充実に活かします

お住まいの地域についてうかがいます

問1 お住まいの地区はどこですか。【○は1つだけ】

1. 橋北	2. 橋南	3. 羽場	4. 丸山	5. 東野
6. 産光寺	7. 松尾	8. 下久堅	9. 上久堅	10. 千代
11. 熊江	12. 竜丘	13. 川路	14. 三穂	15. 山本
16. 伊賀良	17. 常	18. 上郷	19. 上村	20. 南信濃

お子さんご家族の状況についてうかがいます

問2 宛名のお子さんの生年月を数字でご記入ください。

西暦 20 年 月 生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人ですか。
※宛名のお子さんを含めた人数を数字でご回答ください。
※「4、4人以上」に○をつけた方は、具体的な人数を数字でご回答ください。

1. 1人	2. 2人
3. 3人	4. 4人以上 (人)

1

問3-1 理想の子ども数と実際の子ども数は違いますか。【○は1つだけ】

1. 理想より多い	2. 理想より少ない
3. 理想と実際と同じ（変わらない）	4. 不明

問3-1で「1.理想より多い」または「2.理想より少ない」に○をつけた方にうかがいます。

問3-2 あなたが思う理想の子ども人数は何人ですか。【○は1つだけ】

1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人以上
-------	-------	-------	-------	---------

問3-1で「2.理想より少ない」に○をつけた方にうかがいます。

問3-3 その理由は何ですか。【○は3つまで】

1. これから出産を予定しているから	2. その子について手がかけられるから
3. 子育てや教育にかかる費用が大きい	4. 仕事と子育ての両立が難しい
5. 身体的・精神的な負担が大きい	6. 高齢者や健康などの問題で出費が難しい
7. 住居が狭い	8. 子育てを手助けしてくれる人が近くにいない
9. 社会的慣習や環境問題など不安がある	
10. 保育園、認定こども園などの保育サービスが十分でない	
11. 子どもを育てるための家庭環境がよい	
12. 子育てよりも自分たちの生活を優先したい	
13. 子どもがあまり好きではない	
14. その他 ()	

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。【○は1つだけ】

1. 母親	2. 父親	3. その他 ()
-------	-------	------------

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶者の有無についてお答えください。【○は1つだけ】

1. 配偶者がいる	2. 配偶者がいない
-----------	------------

問6 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。【○は1つだけ】

※宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親
4. 主に祖父母	5. その他 ()	

2

お子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問7 お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（どこ）ですか。【○は全てはまるものすべて】 ※お子さんからみた関係でお答えください。

1. 父母ともに	2. 母親	3. 父親
4. 祖父母	5. 認定こども園（保育園・幼稚園も含む）	
6. その他 ()		

問8 お子さんの子育て（教育を含む）に、影響するとおられる環境は何ですか。【○は全てはまるものすべて】 ※お子さんからみた関係でお答えください。

1. 家庭	2. 地域
3. 認定こども園（保育園・幼稚園も含む）	4. その他 ()

問9 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。【○は全てはまるものすべて】

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	⇒ 問9-1ハ
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	⇒ 問9-2ハ
5. いずれもない	

問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。

問9-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。【○は全てはまるものすべて】

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きき心配である
3. 祖父母等の親族の精神的負担や精神的な負担が大きき心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある
6. その他 ()

3

43

6

7



問 17 問 16 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。【○は1つだけ】

※該当する選択肢にはおおよその利用希望回数（頻度）を数字でご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい
1 週当たり <input type="text"/> 回 程度 もしくは 1 ヶ月当たり <input type="text"/> 回 程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
1 週当たり更に <input type="text"/> 回 程度 もしくは 1 ヶ月当たり更に <input type="text"/> 回 程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 18 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお書きください。
 (①～⑧の事業ごとに、1～3のそれぞれに「はい」「いいえ」のいずれか1つに○)
 ※事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

事業名	1 知っている	2 これまでに利用 したことがある	3 今後利用したい
①パパママ教室			
先妻ママの会、パパの妊娠体験、産後ケアや子育て相談など赤ちゃんの育児を支援します。	はい	いいえ	はい
②両親学級（市立病院）			
ママの産後の心、お産の心、入院の心、育児についてなど育児の心で育児を支援します。	はい	いいえ	はい
③授乳・育児相談（助産師）			
助産師など授乳や育児に関する相談が受けられます。	はい	いいえ	はい
④産後ケア（産後ケア）			
産後ケア施設等に宿泊して心身のケアや育児のサポートが受けられます。	はい	いいえ	はい
⑤家事育児支援（助産師）			
産後ケア施設等に宿泊して心身のケアや育児のサポートが受けられます。	はい	いいえ	はい
⑥乳幼児学級			
子育てに関する悩みや、育児の心など育児に関する知識や技術を伝えます。	はい	いいえ	はい
⑦離乳食講座			
乳児の発達に合わせた離乳食の調理法を伝えます。	はい	いいえ	はい
⑧保健婦による相談			
乳児の発達、子どもの健康、育児の心など育児に関する知識や技術を伝えます。	はい	いいえ	はい
⑨保育所や認定こども園の園開放			
平日の保育所や認定こども園の園開放を利用して、親子で交流が深まります。	はい	いいえ	はい
⑩ゆいぽろ広場			
保育園の開放時間より、一層に遊びながら利用が可能な広場です。	はい	いいえ	はい

12

	1 知っている	2 これまでに利用 したことがある	3 今後利用したい
⑪飯田子ども家庭課（ゆいぽろ）	はい	はい	はい
発達、育児や子育ての心、育児や学校生活や育児に関する悩みなど、子育てにかかわる様々な悩みを相談できます。	はい	はい	はい
⑫つどいの広場	はい	はい	はい
平日0～3歳のおつさんが無料で利用できる子育ての広場です。交流、相談、講座などをとっており市内に12か所あります。	はい	はい	はい
⑬子育て家庭優待バス事業	はい	はい	はい
18歳未満の子といる世帯が優待カードを提示すると、市内の各施設で割引サービスを受けられます。	はい	はい	はい
⑭赤ちゃん子育てナビ・パパナビ	はい	はい	はい
子育てに関する情報を提供したり、子育てに関する悩みを相談したりするサービスもあります。	はい	はい	はい
⑮飯田子育てネット	はい	はい	はい
子育てに関するポータルサイトとして、子育てに関する情報を提供しています。	はい	はい	はい
⑯新しい子育て応援アプリ「母子モ」	はい	はい	はい
地域の情報や子育てに関する情報を、お子さまの成長を記録しながら活用できるアプリです。	はい	はい	はい

お父さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的な教育・保育」の利用希望についてうかがいます

問 19 お父さんの土曜口と日曜口・祝口に、「定期的な教育・保育」の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。【○はそれぞれ1つだけ】

また、希望がある場合は、利用したい時間帯を数字でご記入ください。

※「教育・保育」とは、認定こども園（幼稚園も含む）、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親戚・知人による預かりは含みません。

※利用希望がある場合は、利用したい時間帯を24時間単位でご記入ください。

※これらの事業の利用には、一定の利用料がかかります。（調査日現在）

(1) 土曜口

1. 利用する必要はない	利用したい時間帯 3. 月に1～2回は利用したい → <input type="text"/> 時～ <input type="text"/> 時まで → 「3.」は問 19-1へ
2. ほぼ毎週利用したい	
3. 月に1～2回は利用したい	

(2) 日曜・祝口

1. 利用する必要はない	利用したい時間帯 3. 月に1～2回は利用したい → <input type="text"/> 時～ <input type="text"/> 時まで → 「3.」は問 19-1へ
2. ほぼ毎週利用したい	
3. 月に1～2回は利用したい	

13

問 19 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 19-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

1. 月に数回仕事が入るため	利用したい時間帯 3. 月に1～2回は利用したい → <input type="text"/> 時～ <input type="text"/> 時まで → 「3.」は問 20-1へ
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	
4. リフレッシュのため	
5. その他 ()	

認定こども園（幼稚園も含む）を利用されている方（問 14-1 で「1.」「2.」に○をつけた方）にうかがいます。 → 該当しない方は、問 21へ

問 20 病気の子どもさんについて、夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の「教育・保育」の利用を希望しますか。【○は1つだけ】

また、希望がある場合は、利用したい時間帯を数字でご記入ください。

※時間（時刻）は、24時間単位でご記入ください。

※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用する必要はない	利用したい時間帯 3. 月に1～2回は利用したい → <input type="text"/> 時～ <input type="text"/> 時まで → 「3.」は問 20-1へ
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	
3. 休みの期間中、週に数回利用したい	

問 20 で、「3. 休みの期間中、週に数回利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 20-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

1. 週に数回仕事が入るため	利用したい時間帯 3. 月に1～2回は利用したい → <input type="text"/> 時～ <input type="text"/> 時まで → 「3.」は問 20-1へ
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため	
3. 親等、親族の介護や手伝いが必要なため	
4. リフレッシュのため	利用したい時間帯 3. 月に1～2回は利用したい → <input type="text"/> 時～ <input type="text"/> 時まで → 「3.」は問 20-1へ
5. その他 ()	

14

お父さんの病気の際の対応についてうかがいます （平日の教育・保育を利用する方のみ）

平日の「定期的な教育・保育」を利用していると答えた保護者の方（問 14 で「1. 利用している」に○をつけた方）にうかがいます。 → 利用していない方は、問 22へ

問 21 この1年間に、お父さんが病気やケガで保育園や認定こども園（幼稚園も含む）などの利用ができなかったことはありますか。【○は1つだけ】

1. あった → 問 21-1へ	2. なかった → 問 22へ
------------------	-----------------

問 21 で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問 21-1 この1年間に、お父さんが病気やケガで保育園や認定こども園（幼稚園も含む）などの利用ができなかったことはありますか。【○はあてはまるものすべて】

また、その日数は何日程度か数字でご記入ください。

※平日程度の場合は1日と数えます。

1年間の対応方法	日数	
1. 父親が休んだ	<input type="text"/> 日程度	→ 問 21-2へ
2. 母親が休んだ	<input type="text"/> 日程度	
3. （両方を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	<input type="text"/> 日程度	→ 問 21-5へ
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	<input type="text"/> 日程度	
5. ファミリー・リポート・センターを利用した	<input type="text"/> 日程度	
6. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> 日程度	
7. 育児保育「おひさまはるる」 [※] を利用した	<input type="text"/> 日程度	
8. その他 ()		

※1 育児保育「おひさまはるる」の利用には、子育て支援課で事前登録が必要となり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。また一定の利用料がかかります。
 対象年齢：生後6か月～小学校6年生まで、保育時間：月～金、8時～18時まで

問 21-1 で「1. 父親が休んだ」または「2. 母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問 21-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。【○は1つだけ】

また、その場合の日数はどれくらいありますか。数字でご記入ください。

※病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい	→ <input type="text"/> 日	→ 問 21-3へ
2. 利用したいとは思わない	→ 問 21-4へ	

15

16171819



問 25 または問 26 で「放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 29へ

問 27 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。
【○はそれぞれ1つだけ】 また、利用したい時間帯を数字でご記入ください。
※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日の利用希望

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	利用したい時間帯 □時～□時
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

(2) 日曜・祝日の利用希望

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	利用したい時間帯 □時～□時
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

問 28 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休学期間の放課後児童クラブの利用希望はありますか。
【○は1つだけ】 また、利用したい時間帯を数字でご記入ください。
※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	利用したい時間帯 □時～□時
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など 職場の両立支援制度についてうかがいます

※ここからは父親、母親について選択がある場合、それぞれについてお答えください。
ひとり親世帯の場合、該当する方のみお答えください。

問 29 現在、国には下記のような職場での支援制度がありますが、ご存じでしたか。
【○は1つだけ】

- | | |
|---|-----------------|
| 1. 育児休業給付 ^{※1} 、保険料免除 ^{※2} のいずれも知っている | 3. 保険料免除のみ知っている |
| 2. 育児休業給付のみ知っている | |
| 3. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らない | |

※1 「育児休業給付」
子どもが原則1歳（保育所にいる児童の実態が認められないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み

※2 「保険料免除」
子どもが3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み

20

問 30 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

【○はそれぞれ1つだけ】

母親	父親
1. 働いていなかった ⇒ 問 31へ	1. 働いていなかった ⇒ 問 31へ
2. 取得した（取得中である） ⇒ 問 30-2へ	2. 取得した（取得中である） ⇒ 問 30-2へ
3. 取得していない ⇒ 問 30-1へ	3. 取得していない ⇒ 問 30-1へ

問 30 で「3. 取得していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-1 育児休業を取得していない理由は何ですか。【○はあてはまるものをすべて】

母親	父親
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった	2. 仕事が忙しかった
3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった	3. 仕事に返るのが難しそうだった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった	4. 昇給・昇格などが遅れそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	5. 収入減となり、経済的に苦しくなる
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	6. 保育園などに預けることができた
7. 保育園などに預けることができた	7. 配偶者が育児休業制度を利用した
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	8. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	9. 子育てや家事に専念するため退職した
10. 子育てや家事に専念するため退職した	10. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	11. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	12. 育児休業を取得できることを知らなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった	13. その他（ ）
14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できなかったことを知らず、退職した	
15. その他（ ）	

問 30 で「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。【○は1つずつ】

母親	父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 30-3へ	1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 30-3へ
2. 現在も育児休業中である ⇒ 問 30-9へ	2. 現在も育児休業中である ⇒ 問 30-9へ
3. 育児休業中に離職した ⇒ 問 31へ	3. 育児休業中に離職した ⇒ 問 31へ

21

問 30-3～問 30-5は、

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。【○は1つずつ】

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月間療養して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」にあてはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、業務には希望する時期に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

母親	父親
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった	2. それ以外だった

問 30-4 育児休業からは、「実務」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の範囲内で、何歳何ヶ月のときまで取ったかったですか。
※数字で記入ください。

母親	父親
実際の取得期間 □ 歳 □ 月	実際の取得期間 □ 歳 □ 月
希望 □ 歳 □ 月	希望 □ 歳 □ 月

問 30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、

「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取ったかったですか。
※数字で記入ください。

母親	父親
□ 歳 □ 月	□ 歳 □ 月

問 30-4 で実際の希望と希望が異なる方にうかがいます。

問 30-6 希望の時間に職場復帰しなかったのは、どのような理由からですか。

(1) 「希望」より早く復帰した方 【○はあてはまるものをすべて】

母親	父親
1. 希望する保育園に入るため	1. 希望する保育園に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため
4. 人事異動や業務の前日の時期に合わせるため	4. 人事異動や業務の前日の時期に合わせるため
5. その他（ ）	5. その他（ ）

(2) 「希望」より遅く復帰した方 【○はあてはまるものをすべて】

母親	父親
1. 希望する保育園に入らなかったため	1. 希望する保育園に入らなかったため
2. 自分や子どもとの精神的負担が大きかったため	2. 自分や子どもとの精神的負担が大きかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他（ ）	6. その他（ ）

22

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。【○は1つだけ】

母親	父親
1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった ⇒ 問 30-3へ）	1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった ⇒ 問 30-3へ）
2. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） ⇒ 問 30-8へ	2. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） ⇒ 問 30-8へ
3. 利用した	3. 利用した

問 30-7 で「2. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。
【○はあてはまるものをすべて】

母親	父親
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった	2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が大幅減され、経済的に苦しくなる	3. 短時間勤務にすると給与が大幅減され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる	4. 短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した	7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）	10. その他（ ）

問 30-2 で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-9 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業（保育園への入所等）があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。【○は1つだけ】

母親	父親
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい	2. 1歳になる前に復帰したい

23

問31 子育て中の働き方として希望するスタイルはどれですか。【〇は1つだけ】

- 問 32 飯田市では、児童手当に関する手続き、認定こども園等入所に関する手続きについて、マイナンバーカードを使ってオンラインで手続きができます。このことを知っていますか。
- 【〇は1つだけ】

【○は1つだけ】

- 問33 市の子育てに関する情報をどのように入手していますか。【○は2つまで】

- 問 34 子育てにおいて、大切にしていることは何ですか。【○は3つまで】

- 24

- 問35 お子さんと一緒に過ごす中で心掛けていることは何ですか。【○はあてはまるものすべて】

- 問36 子育てに関して不安感や負担感を感じることはありますか。【○は1つだけ】

- 問37 子育てに関して、日常悩んでいること、気になることはどのようなことですか。

【○はあてはまるものすべて】

- 問 38 あなたは、これまでの子育ての中で次のようなことがあったり、困ったりしたことはありますか。

【①～③のそれぞれについて、○は1つだけ】

25

- 問 39 次のことについて、もっとも正しいと思うものはどれですか。

【①～④のそれぞれについて、○は1つだけ】

①地域の行事等に参加していますか。

- ②お子さんが通う園の行事（授業参観や運動会など）に参加していますか。

- ※同居している家族との間で、子育てや子どもの教育についてよく話をしますが、

- 子育てへの支援や子育ての課題を解決するために、地域の人々はお互いに協力することが望ましいと思いますか。

- 問40 あなたは、ご家庭の家計の状況をどのように感じますか。【○は、1つだけ】

- 問 41 あなたのご家庭では、完名のお子さんが生まれてから現在までの間に、経済的な理由による料金滞納のために、電気、ガス、水道のいずれかを止められたことがありましたか。

【○は1つだけ】

- 問42 世帯に、ボラソール等による無料で試験をしてくれる場所があったら、将来的に需要の多い

- 問43 地域に、造んだり勉強しあったり食事を食べるなど交流することの居場所「こども食堂」があったら、参加したいと思いますか。【○は1つだけ】

- 26

- 問 44 飯田市における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。【〇は1つだけ】

- 問 45 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してのご意見やご利用いただいているサービスについてのご意見がございましたら、自由に記入ください。

[illegible]

調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

同封の封筒（切手不要）に入れ、

3月25日(月)までに郵便ポストへ投函をお願いします。

2 小学生保護者の調査票

小学生の保護者の方へ

子ども・子育て支援事業に関する ニーズ調査票

【調査ご協力をお願い】


皆さまは、日頃より市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
本市では、「子ども・子育て支援法」に基づき、令和2年3月に「第2期飯田子ども・子育て支援事業計画」を策定し、様々な子育て支援事業に取り組んでいます。
この度、令和7年からの第3期（令和7～11年度）計画を策定するにあたり、保護者の方の子ども状況、ご要望やご意見、利用ニーズ等を把握するため、アンケート調査のご協力をお願いするものです。
本調査は無記名で行い、ご本人が特定されることはありません。率直なご意見をご記入ください。調査結果は、統計的に処理し、調査の目的以外に使用することはありません。
ご回答が多く、ご負担をおかけいたしますが、調査の趣意をご理解いただき、アンケート調査にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

飯田市長 佐藤 健

【ご記入にあたってのお願い】

1. アンケートは封筒の宛名のお子さんについて、保護者の方にご記入ください。
2. 選択肢がある場合には、番号を○印で囲んでください。
3. 数字で年齢や時間（時刻）をご記入いただく質問は、枠内に具体的な数字をご記入ください。
また、時間については24時間制でご記入ください。記入例：午後6時 → 18時
4. 範囲によっては回答いただく方が限られている場合がありますので、こわり書きや矢印に従ってお答えください。特にこわりがない場合は、次の範囲にお進みください。

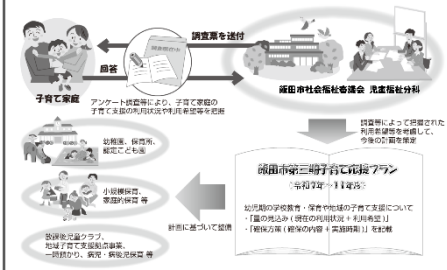
■インターネットでの回答
パソコン、スマートフォン又はタブレットのいずれかを用いて、下記のURL又は右下のQRコードを読み取りアクセスし、画面の案内に従って下記のID・パスワードを入力し、質問項目にお答えください。調査票を返送していただく必要はありません。
※誤数字は二度回答を防止するもので、他人を特定するものではありません。
(URL) <https://survey.jp/s.php?clear=1&id=222>


QRコード

※回答を中断した場合は再度QRコードを読み取り、上記のID・パスワードを入力し、再開してください。

■ご回答いただくうえでご不明な点や調査に関するお問い合わせは、下記までお願いします。
飯田市子育て支援課 電話 0265-22-4511（内線 5346）

いただいたご回答は、飯田市の子育て支援の充実に活かします



お住まいの地域についてうかがいます

問1 お住まいの地区はどこですか。【○は1つだけ】

1. 橋北	2. 橋南	3. 羽場	4. 丸山	5. 東野
6. 蓮光寺	7. 松尾	8. 下久堅	9. 上久堅	10. 千代
11. 飯江	12. 竜丘	13. 川路	14. 三穂	15. 山本
16. 伊賀良	17. 新	18. 上郷	19. 上村	20. 南信濃

お子さんご家族の状況についてうかがいます

問2 宛名のお子さんの学年を教えてください。【○は1つだけ】

1. 1年生	2. 2年生	3. 3年生
4. 4年生	5. 5年生	6. 6年生

問3 宛名のお子さんのきょうだいはいくらいますか。
※宛名のお子さんを含めた人数を数字でご回答ください。
※「4. 4人以上」に○をつけた方は、具体的な人数を数字でご回答ください。

1. 1人	2. 2人
3. 3人	4. 4人以上 () 人

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。【○は1つだけ】

1. 母親	2. 父親	3. その他 ()
-------	-------	---------------

問5 この調査票にご回答いただいている方の連絡先の有無についてお答えください。【○は1つだけ】

1. 電話番号がある	2. 電話番号はない
------------	------------

問6 お子さんの子育て（教育を含む）を主にしているのはどなたですか。【○は1つだけ】
※お子さんからみた関係でお答えください。

1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親
4. 主に祖父母	5. その他 ()	

お子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問7 日頃、お子さんをみてももらえる家族・知人はいくらいますか。【○はあてはまるものすべて】

1. 日常的に祖父母等の家族にみてももらえる	⇒ 問7-1へ
2. 緊急時もしくは用事の時に祖父母等の家族にみてももらえる	
3. 日常的に子どもをみてももらえる友人・知人がいる	⇒ 問7-2へ
4. 緊急時もしくは用事の時に子どもをみてももらえる友人・知人がいる	
5. いずれもない	⇒ 問8へ

問7で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。
問7-1 祖父母等の親族にお子さんをみてももらっている状況についてお答えください。
【○はあてはまるものすべて】

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてももらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きくなり心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的負担が大きくなり心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある
6. その他 ()

問7で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。
問7-2 友人・知人にお子さんをみてももらっている状況についてお答えください。
【○はあてはまるものすべて】

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてももらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きくなり心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的負担が大きくなり心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある
6. その他 ()

問8 お子さんの子育て（教育を含む）をするうえで、気軽に相談できる人はいくらいますか。
また、相談できる場所がありますか。【○は1つだけ】

1. いる／ある ⇒ 問8-1へ	2. いない／ない ⇒ 問9へ
------------------	-----------------

問8で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。
問8-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人は、誰（どこ）ですか。
【○はあてはまるものすべて】

1. 祖父母等の親族	2. 友人や知人	3. 近所の人
4. 子育て支援施設（つどいの広場）	5. 飯田市子ども家庭課（ゆいっす）	
6. 保健センター（保健師）	7. 地区の保健師	
8. 学校の先生	9. 主任児童委員・民生児童委員	
10. かかりつけの医師	11. 子育て関連担当窓口	
12. その他 ()		

問9 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。自由に記入ください。

2

3

120

お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

母親についてうかがいます

※父子家庭の場合は、記入不要です。⇒問11へ

問10 現在の就労（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。【○は1つだけ】

※就労日数と1日当たりの就労時間によって、フルタイムがパート・アルバイトか、を選択してください。

- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない

⇒問10-1へ

⇒問10-4へ

問10で「1.」～「4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問10-1 以下の（1）、（2）の設問にお答えください。

（1）1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間（残業時間を含む）を□に数字でご記入ください。

※日数や時間が一定でない場合はもっとも多いパターンをお答えください。

※産休・育休、介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり □ 日 1日当たり □ 時間

（2）家を出る時刻と帰宅時刻を、□に数字でご記入ください。

※時間が一一定でない場合はもっとも多いパターンをお答えください。

※産休・育休、介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時刻は、24時間制【例】09時頃、18時頃のように□でご記入ください。

家を出る時刻 □ 時頃 帰宅時刻 □ 時頃

問10で「1.」～「4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問10-2 仕事と子育ての両立について保護者の方どのような状況ですか。【○は1つだけ】

- 仕事を優先している
- やむをえず子育てより仕事を優先している
- 仕事と子育ての両立を図るよう努めている
- やむをえず仕事より子育てを優先している
- 子育てを優先している
- その他（ ）

4

問10で「3.」または「4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問10-3 フルタイムへの転換希望はありますか。【○は1つだけ】

- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）への就労希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）への就労希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）での就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問10で「5.」または「6.」（就労していない）に○をつけた方にうかがいます。

問10-4 就労したいという希望はありますか。【○はそれぞれ1つだけ】

また、該当する箇所に数字をご記入ください。

- 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- 1年より先、一番下の子どもが □ 歳になったころに就労したい
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

⇒希望する就労形態

① フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
② パートタイム・アルバイト等（①以外）
⇒1週当たり □ 日程度 1日当たり □ 時間程度

父親についてうかがいます

※母子家庭の場合は、記入不要です。⇒問12へ

問11 現在の就労（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。【○は1つだけ】

- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない

⇒問11-1へ

⇒問11-4へ

5

問11で「1.」～「4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問11-1 以下の（1）、（2）の設問にお答えください。

（1）1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間（残業時間を含む）を□に数字でご記入ください。

※日数や時間が一定でない場合はもっとも多いパターンをお答えください。

※産休・育休、介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり □ 日 1日当たり □ 時間

（2）家を出る時刻と帰宅時刻を、□に数字でご記入ください。

※時間が一一定でない場合はもっとも多いパターンをお答えください。

※産休・育休、介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時刻は、24時間制【例】09時頃、18時頃のように□でご記入ください。

家を出る時刻 □ 時頃 帰宅時刻 □ 時頃

問11で「1.」～「4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問11-2 仕事と子育ての両立について保護者の方どのような状況ですか。【○は1つだけ】

- 仕事を優先している
- やむをえず子育てより仕事を優先している
- 仕事と子育ての両立を図るよう努めている
- やむをえず仕事より子育てを優先している
- 子育てを優先している
- その他（ ）

問11で「3.」または「4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問11-3 フルタイムへの就労希望はありますか。【○は1つだけ】

- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）への就労希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）への就労希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）での就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問11で「5.」または「6.」（就労していない）に○をつけた方にうかがいます。

問11-4 就労したいという希望はありますか。【○はそれぞれ1つだけ】

また、該当する箇所に数字をご記入ください。

- 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- 1年より先、一番下の子どもが □ 歳になったころに就労したい
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

⇒希望する就労形態

① フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
② パートタイム・アルバイト等（①以外）
⇒1週当たり □ 日程度 1日当たり □ 時間程度

6

お子さんの病気の際の対応についてうかがいます

問12 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校に行くことができなかったことはありませんか。

【○は1つだけ】

1. あった ⇒問12-1へ 2. なかった ⇒問12へ

問12で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問12-1 この1年間に、お子さんが病気やケガで小学校を休まなければならなかった場合に、この1年間にいった対処方法はどのようなことですか。【○はあてはまるものすべて】

また、その日数は何日程度か数字でご記入ください。

※半日程度の場合も1日と数えます。

1年間の対処方法	日数	
1. 父親が休んだ	□ 日程度	⇒ 問12-2へ
2. 母親が休んだ	□ 日程度	
3. （両方を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	□ 日程度	
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□ 日程度	
5. ファミリー・サポート・センターを利用した	□ 日程度	⇒ 問12-5へ
6. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ 日程度	
7. 病児保育「おひさまはるる」※を利用した	□ 日程度	
8. その他（ ）	□ 日程度	

※1 病児保育「おひさまはるる」の利用には、子育て支援課で事前登録が必要となり、利用前にかかりつけ医の診察が必要となります。また一定の利用料がかかります。
対象年齢：生後6か月～小学校6年生まで、保育時間：月～金、8時～18時まで

問12-1で「1. 父親が休んだ」または「2. 母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問12-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。

【○は1つだけ】

また、その場合の日数はどれくらいありますか。数字でご記入ください。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □ 日 ⇒問12-3へ

2. 利用したいとは思わない ⇒問12-4へ

7



問12-2で「1. であれば施設・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問12-3 上記の理由で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるですか。
【○はあてはまるものすべて】

1. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業
3. その他（ ）

問12-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問12-4 そう思われる理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

1. 病気の子どもを他人に看顧してもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよいくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用方法がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他（ ）

問12-1で「3.」から「8.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問12-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看顧したい」と思いましたか。
【○は1つだけ】

また、その場合の日数はどれくらいありますか。数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで看顧したい ⇒ 日 ⇒ 問13へ
2. 休んで看顧することは非常に難しい ⇒ 問12-6へ

問12-5で「2. 休んで看顧することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問12-6 そう思われる理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

1. 子どもの看病を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないのので休めない
4. その他（ ）

8

お子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます

問13 お子さんは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。

【○はあてはまるものすべて】

また、それぞれ1週あたりの日数を数字でご記入ください。

※「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用している時間も数字でご記入ください。

1. 自宅	週 <input type="text"/> 回	日 <input type="text"/> 回	【利用している時間】 下校時から <input type="text"/> 時 ～ <input type="text"/> 時 まで
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 回	日 <input type="text"/> 回	
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習室など）	週 <input type="text"/> 回	日 <input type="text"/> 回	
4. 放課後児童クラブ（学童保育）※1	週 <input type="text"/> 回	日 <input type="text"/> 回	
5. 放課後子ども教室※2	週 <input type="text"/> 回	日 <input type="text"/> 回	
6. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 回	日 <input type="text"/> 回	
7. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 回	日 <input type="text"/> 回	

※1 放課後児童クラブ…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活を支援するものです。事業の利用には、一定の利用料がかかります。

※2 放課後子ども教室…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する施設です。保護者の就労の負担に抑えます。すべての小学生が利用できます。飯田市では、道平町小学校区・丸山小学校区・鹿光小学校区・下久保小学校区・幸丘小学校区で実施しています。

問14 お子さんについて、小学生のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。【○はあてはまるものすべて】

また、それぞれ希望する1週あたりの日数を数字でご記入ください。

※「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。

1. 自宅	週 <input type="text"/> 回	日 <input type="text"/> 回	【利用を希望する時間】 下校時から <input type="text"/> 時 ～ <input type="text"/> 時 まで
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 回	日 <input type="text"/> 回	
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習室など）	週 <input type="text"/> 回	日 <input type="text"/> 回	
4. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 <input type="text"/> 回	日 <input type="text"/> 回	
5. 放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 回	日 <input type="text"/> 回	
6. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 回	日 <input type="text"/> 回	
7. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 回	日 <input type="text"/> 回	

9

問13または問14で「4. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問17へ

問15 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。
【○はそれぞれ1つだけ】 また、利用したい時間帯を数字でご記入ください。

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日の利用希望

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない

利用したい時間帯
 時～ 時

(2) 日曜・祝日の利用希望

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない

利用したい時間帯
 時～ 時

問16 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休校期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。
【○は1つだけ】 また、利用したい時間帯を数字でご記入ください。

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない

利用したい時間帯
 時～ 時

10

すべての方に、その他のことについてうかがいます

問17 子育て中の働き方として希望するスタイルはどれですか。【○は1つだけ】

1. フルタイム勤務
2. パート・アルバイト・短時間勤務
3. 自営またはこれらから起業する
4. リモートワーク、テレワーク
5. 資格取得や学び直して復職を目指す
6. 育児に専念する
7. 配偶者（パートナー）に育児をまかせて働く
8. 特に考えていない、わからない

問18 飯田市では、児童手当に関する手続き、認定こども園等入所に関する手続きについて、マイナンバーカードを使ってオンラインで手続きができます。このことを知っていますか。

【○は1つだけ】

1. 知っていて、利用したことある
2. 知っているが、利用したことない
3. 知っているが、利用したいと思わない
4. 知らなかったが、今後利用したいと思う
5. 知らなかったし、利用したいと思わない

問19 市の子育てに関する情報をどのように入手していますか。【○は2つまで】

1. 市役所の窓口
2. 乳幼児健診
3. つどいの広場
4. ゆいせつ
5. 認定こども園・保育園
6. 学校
7. かかりつけ医や病院
8. 飯田子育てネット
9. いいた子育て応援アプリ
10. 新聞
11. タウン誌
12. みんなで子育てナビ(母子)
13. 飯田市公式LINE
14. その他（ ）
15. わからない

問20 子育てにおいて、大切にしていることは何ですか。【○は3つまで】

1. 規則正しい生活リズムを身につけること
2. あいさつやお礼をきちんと教えること
3. 他人に迷惑をかけないようにすること
4. 善悪の判断をつけること
5. 食事に気をつけた食事をとること
6. ものを大切にすること
7. のびのびと育て、自主性や意欲・個性を伸ばすこと
8. その子にあった学習をさせること
9. 勉強以外のスポーツや芸術の面で才能を伸ばすこと
10. 家族や他人を思いやり、やさしくすること
11. 高い学習能力を身につけること
12. その他（ ）

11

飯田市 子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査結果報告書

発 行 日 令和6年3月

発 行 元 飯田市 健康福祉部 子育て支援課
〒395-0044

長野県飯田市本町1丁目15 飯田市役所りんご庁舎

TEL 0265-22-4511（代表） FAX 0265-53-8867

<https://www.city.iida.lg.jp/>